	成27年度	事務事業振	返りシー	· <b>卜</b> (3	平成26年度	実施事業0	)振返り)		
1. 基本情報 事務事業							担当部	商工観光音	Х
すがずべ   0107010100020101   事務	事業名   商工総	務管理事務事業					担当課	商工振興調	
	業のまちづくり						グループ	商工観光政	対策G
施策名2商工業の振基本事業名1商工業者に	興 対する経営支援						電話番号 内線番号	45-5111 2511	
▲ 前八人主	八 ) 切胜百人级				単年度のみ			2011	
<b>算</b> 款 07 商工費			事業期間		単年度繰返		Ę		
予     芸訂     版云訂       算     款     07     商工費       科     項     01     商工費       目     日     01     商工総務費			根拠法令・条例		期間限定複	夏数年度(		~	)
評価区分 簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画						
2. 事務事業の概要・目的・指	標 <do></do>								
(1)事務事業の概要(具体的 【商工総務管理事務】	なやり方、手順、	詳細を記述)							
・商工業務を円滑に推進できるよ 【公用車管理事務】	う、部内・課内に	おける庶務経費(旅	<b>於費、需用</b> 費	貴等)の智	管理を行う。				
・課で所有する公用車の管理を行 【ローカルエネルギー館管理】	<b></b>								
<ul><li>ローカルエネルギー館の解体指</li></ul>	数去及び跡地整位	備を行う。							
【研修負担事務】 ・中小企業大学校など各種研修	機関での研修会	へ参加を行う。							
					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動指標 (事務事業の活動	量)			単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア公用車の車検管理				台	1	1	1	1	1
イ研修機関での研修会参加				回	0	0	0	1	1
<del>'</del>									
(2) 事務事業の目的									
② 対象	③ 対:	象指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	/ (左記	②対象の大きさを表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア課内の各種業務									
1									
<mark>ф</mark>									
④ 意図	⑤ 成:			 単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	/ (左記(	金意図の達成度を表	長す指標)	半世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア円滑に実施される									
1									
<del>ბ</del>									
(3) 上位の基本事業									
⑥ 基本事業の意図		本事業の成果指		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくの	(左記(	⑥意図の達成度を表	長す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 商工業者の経営が安定する									
1									
<mark>ゥ</mark>									
3. 事務事業の環境変化・市民	是意見等	4. 事業費の推移	ž	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会	などからの意見等)				(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
		B+ IB +	支出金 出金	千円			0	0	(
		薬   源   地	<u> </u>	千円			0	0	(
		費訳そ	の他	千円			0	0	(
		λ	財源	千円			51,155	672	672
		量 事業費		千円	0	0	51,155	672	672
		,							
5. 平成26年度の実績及び成									
(1)平成26年度の実績(取組)	く取組内容を数	値等により具体的に記載			F度の成果	<左記	の実績(取組)	こよる成果を記載	<b>或</b> >
【商工総務管理事務】 旅費 124千円 需用費 1	185千円 役務	費 2千円	<ul> <li>旅費</li> </ul>		費の執行に。	より、課の商	工業務を円	滑に推進で	きた。
【公用車管理事務】	61千円 公課		【公用〕	車管理事					
【ローカルエネルギー館管理】 委託料 3,533千円 工事請			【ローオ	フルエネ	ルギー館管となっていた	理】			
【研修負担事務】 実績なし			確保で		もに、跡地を				
2 - 22 - 2			【研修	負担事務	务】				

(2) を対するとは、	_	<u> </u>	-		10100020101	事務事業名	商工	総務管	理事務	事業	<u>担当</u> 部 担当 部		観光部 振興課
□ 商びついている □ 関係的に続くないでいない □ 成立のいていない □ 成立のいていない □ たびついていない □ たびでありたければならはいのですか? □ 公里である □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大の学ある □ 見出する余地は大のどい □ 新聞の事業はない □ 類似の事業はない □ 別はできない □ 日はできなのからでがに、 アウチの後を別はできまながの。 これが定しながら、これが変しながら、これが変しながら、でもの使り使用点の能域を目指す。) □ 中成29年度の方向性 □ のよるなのから、日かりの改善コスト版か、正れが定しながら、これが定しながら、でもの使り使用点の能域を目指す。) □ 中成29年度の方向性 □ 記述の事業がないとから、日かりで使じなら、これが定しながら、これが定しながら、手後管温経費及び公用が認いでができまあい。 □ 日はないでは、 原油脈がの場がになれたがとこれが、でもの時の使用点の能域を目指す。) □ 中のよるなの事がら、日かりの改善は別は影響がある。 コスト版か 選携 統合 体止 演乱 事務の事能の事態の事態がないです。 「おりのな事態がないでするの事態がないでするの事態がないです。 「おりのな事態がないでするの事態がないです	6.	振り	返り <	<see></see>							理E	<u> </u>	
□ 開係かられていている □ 結びついていない ② この3 業を対象が目的に対しませんか? □ 向上する余能はかなりある □ 向上する余能はたんだない □ 部間の自然を美図 又は意味イベトや発泉等を持つ他の事務 □ 部間の事業はありませんか? □ 部間の事業があり、核会なは遺療できない □ 類似の事業があり、核会なは遺療できない □ 類似の事業があり、核会なは遺療できない □ 別の事業があり、核会なは遺療できない □ 別はできる □ 日 前流できない □ 日 前流でをない □ 日 前流できない □ 日 前流でをない □ 日 前流でない □ 日 前		1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	吉びついています	すか?					
□ 見直す必要がある □ 見直すの姿がある □ 見上する余地は古かなりある □ 向上する余地は古かなりある □ 向上する余地は古かなりある □ 向上する余地は古かなりある □ 向上する余地は古かなりかる □ かます。				結びつ	いている								
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はまかりませんか? □ 向上する余地はまたんどない □ 向上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の	A			間接的	 ]に結びついてに	いる							
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はまかりませんか? □ 向上する余地はまたんどない □ 向上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の	的实			結びつ	いていない								
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見上する余地はまかりませんか? □ 向上する余地はまたんどない □ 向上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の上する余地はまたんどない □ の	当性	2	·この <sup>3</sup>	事業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	Dですか?						
□ 見画する素地はかなりある □ 向上する余地はあら程度ある □ 向上する余地はあら程度ある □ 向上する余地はあら程度ある □ 向上する余地はあと程度ある □ 向上する余地はあとせんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響のある □ 影響がある □ 影響のある □ 影響がある □ 影響のある □ 影響がある □ 影響のの事業はない □ 類似の事業があり、統合スは連携できない □ 類似の事業があり、統合スは連携できない □ 類似の事業があり、統合スは連携できない □ 類似の事業があり、統合スは連携できない □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 別域できない □ 記述できない □ のはできない □ の	_					J C 9 W L							
② 原来が向上する余地 同能性 はありませんか?		Н											
□ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおるだなない ② 庚止・休止の影響はありませんか?	_					\		_					
□ 向上する余地はほとんどない  ② 廃止・休止の影響はありませんか? □ 影響がほとんどない ③ 務知の事業はない □ 類似の事業はない □ 財政できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる □ 非済をありま(ドウリ)を工夫することで、本育食を制度できませんか? □ 削減できる □ 非済をありま(ドウリ)を工夫することで、人件費(国へ業務時間)を削減できまない。 第7歳を別の部分にや意味により人件資を削減できまなんか? □ 削減できる □ 非済をあり事(ドウリ)を工夫することで、人件費(国へ業務時間)を削減できまなからからからからがしたを禁止とより人件資を削減できまなんか。 □ 削減できる □ 削減できる □ 素務事業の収益 □ 公平・公正である □ 見当す必要がある  7. 1次件値結果 <plan>(組織決定) □ 企業の事の内容が一部の受益者に属っていませんか? □ 公平・公正である □ 見当す必要がある  7. 1次件値結果 <plan>(組織決定) □ 企業の主の内容 □ 公平・公正である □ 見当す必要がある □ スト版介・ 連携・ 教会 □ 公平・公正である □ 見当す必要がある □ スト版介・ できる成り使用金の結成をかずす。 (2.) 平成27年度の改革会は、中間の事業がないことから、円27年度に引き続き、公用事態料等維持監験のが結成を目指す。) □ たまのようの内容 □ (3.) 平成28年度の方向性 □ に無記す事業がないことから、円27年度に引き続き、これまで以上のコスト産減を持ち、半務管理経費及び公用事態料所能験のが構成を目指す。) □ 1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、</plan></plan>		3	00年70	「中上 9・	の示地(可能性)	) はめりませんが 	N ?						
□ 向上する余地はほとんどない ② 廃止・休止の影響はありませんか? □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響があるが、統合又は連携できるの書話。 □ 増組の事業はありが、統合又は連携できるい。 □ 増組の事業があるが、統合又は連携できるい。 □ 増組の事業があり、統合又は連携できるい。 □ 増組の事業があり、統合又は連携できるい。 □ 増組の事業があり、統合又は連携できるい。 □ 増組の事業があり、統合又は連携できるい。 □ 削減できない □ 削減できない。 □ 削減できない。 □ 削減できなが、 □ 削減できる □ 削減できない。 □ 削減できない。 □ 削減できる □ 別はまな変がある □ 見直す必要がある □ 公中・公正である □ 見直す必要がある □ 公中・公正である □ 見直す必要がある □ 兄び呼ばれていますか? □ 公中・公正である □ 兄び呼ばれていまなかっ □ 公中・公正である □ 兄び中の内容にある。 □ 兄びり方改善 コスト協力 コスト協力 連携 統合 休止 廃止 の方向性 □ に対似す場がない。 □ は対していては、原信協格の動同に左右されることから、できる説が使用量の格域と目指す。) □ のよる いたまで以上にコスト設成を持ち、事務管理経験とび公用車燃料を設めの内容に対していまない。 □ のよる いたまで以上にコスト設成を持ち、事務管理経験とび公用車燃料を設めの内容に対していては、原信協格の動同に左右されることから、できる説が使用量の格域と目指す。) □ のよる いたまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないま													
(3) 単成23年度の改革													
				同上す	る余地はほとん	<b>いどない</b>		_					
□ 影響が見らい行き・通辺・又は影照・(ペントや母衆等)を持つ他の事務	물	4	廃止•	休止の景	/響はありません 	<b>んか?</b> 							
□ 影響が見らい行き・通辺・又は影照・(ペントや母衆等)を持つ他の事務	効性			影響が	<b>ある</b>								
一	Œ												
□ 類似の事業があり、統合又は連携できるい □ 類似の事業があり、統合又は連携できる □ 情報を定く、好性に参加されて、市の負担を削減できませんか? □ 削減できない □ 削減できる □ 削減できまたり人件費を削減できませんか? □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 〈PLAN〉 (組織決定) □ 企業・経験・業の内容が (燃料費とついては、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) □ たいまで以上にコスト意識を持ち、事務管理経費、公用車燃料等維持経費の縮減を目指す。) □ に無似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料・搭送費の縮減を目指す。 □ 以相む、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5	類似の事業は	)目的(対 ありませ	<b>才象・意図)又は</b> ∙んか?(市以外・	形態(イベントや原の主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似る合の	事業がある場 事務事業名等			
□ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・				類似σ	事業はない								
(8) 事務事業の手段(やり方)を工実することで、事業者を削減できませんか? ・				類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
(2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				類似σ	事業があり、紡	合又は連携で	きる						
■ 削減できる・		6	·事務事	業の手具など、交	设(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません 或できませんか?	いか?	商工業務経費	務を円滑に推送 (旅費、需用費	進できるよう、音 等)のみであり	部内・課内におけ )削減できない。	る最低限の
事務事業の手段やリカ)を工夫することで、人件費(選べ業務時間)を削減 類似事業はなく、人件費を含まない事務事業であることから、削													
■ ・事務事業の再設(やり方)を工ますることで、人件費(差へ業務時間)を削減 (すっきませんか? ・順良以外の対応や委託により人件費を削減できませんか? ・順良以外の対応や委託により人件費を削減できませんか? ・ 順力ができる	င္ပ			削減で	 きる								
■ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 動薬できる □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN> (組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  ((本)事務事業の改革 ② (然)事務事業の改革 ((本)事務事業の改革 ((本)事務事業の改革 ((本)事務事業の改革 ((本)報信を申請していては、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) □ ((本)報信・取組目標 □ ((本)報信・取組目標 □ ((本)報信を申請していては、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) □ ((本)報信・取組目標 □ ((本)報信・取組目信・取組目標 □ ((本)報信・取組目信・取組目信・取組目信・取組目信・取組目信・取組目信・取組目信・取組目	効率		・事務事	業の手具	设(やり方)を工夫 <sup>・</sup>	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減			費を含まない	事務事業である	ことから、削
□ 削減できる  ③ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  (2) 平成27年度の改革改善の方向性 □ 公平・公正では、原油価格の動向に左右されることから、できる限9使用量の縮減をめざす。(燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限9使用量の縮減を目指す。) □ 公平・成27年度の改革改善の内容 取り組むへき課題  (3) 平成27年度の改革投資の治滅を目指す。  他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料/持経費の縮減を目指す。  (3) 平成28年度の方向性・取組目標  (3) 平成28年度の方向性・取組目標  (4) 事務事業の改革 といり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	性	<i>(</i> )	できませ ・職員以	以外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?		赤地///	τ Λ ,°			
<ul> <li>● 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか?また、受益者負担の公平性が確保されていますか?</li> <li>□ 公平・公正である</li> <li>□ 見直す必要がある</li> <li>7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定)</li> <li>(金利前年度の改革改量の方向性</li> <li>○ 公平・公正である</li> <li>□ 見直す必要がある</li> <li>7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定)</li> <li>(銀標標準度)</li> <li>(3) 事務事業の改革 (燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減をもざす。(燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。)</li> <li>(燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。)</li> <li>(地上類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用事燃料持経費の縮減を目指す。</li> <li>(3) 平成28年度の方向性・取組目標</li> <li>(3) 平成28年度の方向性・取組目標</li> <li>(3) 平成28年度の方向性・取組目標</li> <li>(4) 事務事業の改革 総続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性</li> </ul>				削減で	きない								
3													
7. 1次評価結果 < PLAN > (組織決定)	Ď	8											
7. 1次評価結果 < PLAN > (組織決定)	公平			公平・	公正である								
(1) 事務事業の改革 というな善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善の方向性 O これまで以上にコスト意識を持ち、事務管理経費、公用車燃料等維持経費の縮減をめざす。 (燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) (燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) 他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料・持経費の縮減を目指す。 (3) 平成28年度の方向性・取組目標	性			見直す	必要がある								
(1)事務事業の改革 機続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善の方向性 O これまで以上にコスト意識を持ち、事務管理経費、公用車燃料等維持経費の縮減をめざす。 (燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。) 位に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料・	7.	1次	評価結	果 く	PLAN>(組制	<b>微決定</b> )	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪			<b>»</b>
・	(1	) 車器	▼ 世 世 /	の改革	継続	わり方改善					統合	休止	廃止
これまで以上にコスト意識を持ち、事務管理経費、公用車燃料等維持経費の縮減をめざす。 (燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。)  位に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料を持経費の縮減を目指す。  他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料を持経費の縮減を目指す。  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1)事務事業の改革  と対方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 次善方向性					0	( )/// & E	=>(1 )/A)C	-2/1	44B - 3	Æ173	196 🖂		
(燃料費については、原油価格の動向に左右されることから、できる限り使用量の縮減を目指す。)  (2)平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)  他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料等 持経費の縮減を目指す。  (3)平成28年度の方  古性・取組目標  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1)事務事業の改革 改善方向性  総統  やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合  休止  廃止					これまで以上に	 ニコスト意識を持	 ち、事務管理経	<b></b> 費、公用	車燃料	等維持経費の	 縮減をめざす。		
単改善の内容 (取り組むべき課題)  他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料を持経費の縮減を目指す。  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1)事務事業の改革 機続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止	2	) 亚 印	527年1	生の改	(燃料費につい	いては、原油価格	各の動向に左右さ	されるこ	とから、て	きる限り使用量	量の縮減を目	旨す。)	
他に類似事業がないことから、H27年度に引き続き、これまで以上のコスト意識を持ち、事務管理経費及び公用車燃料を持経費の縮減を目指す。  8. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1)事務事業の改革 改善方向性  総続  やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合  休止 廃止	革	改善(	の内容										
持経費の縮減を目指す。	(4)	( · ) /\L	• • •	IA KZZ									
持経費の縮減を目指す。   1					他に類似事業	がないことから、	H27年度に引き	続き、こ	れまで以	上のコスト意識	我を持ち、事務	管理経費及び公	用車燃料
向性・取組目標    8. 2次評価結果 (担当部長評価)   (1) 事務事業の改革							7.547.475						
8. 2次評価結果 (担当部長評価)         (1)事務事業の改革 改善方向性       継続       やり方改善コスト拡充       コスト縮小       連携       株止       廃止				度の方									
(1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	(3)	)平成 生• 取	で28年) (組目を										
(1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	(3)	)平月 性•取	で28年) 【組目相										
大学 は 100 年 100 年 100 日本 100	(3)	) 平	(28年) (組目相										
改善方向性	向作	生・取	(組目相		<u> 当部長評価</u> )								
(2)総評	句 1	生·取 <b>2次</b>	評価結	果(担			コフト炉本	771	·縮小	<b>油堆</b>	<b>な</b> か	休止	廃止
(2)総評	向付 3. (1)	生·取 2次 ()事務	(組目相 評価結 務事業(	果(担			コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評	向付 3. (1)	生·取 2次 ()事務	(組目相 評価結 務事業(	果(担			コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
	向付 3. (1)	生·取 2次 ()事務	(組目相 評価結 務事業(	果(担			コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
	向(1) 改	生·取 2次 )事務 善方「	評価結 第事業(	果(担			コスト拡充	그スト	縮小	連携	統合	休止	廃止
	向(1) 改	生·取 2次 )事務 善方「	評価結 第事業(	果(担			コスト拡充	그자	縮小	連携	統合	休止	廃止

事務事業		車 淼					担当部	商	工観光部
事務事業	0107010100020101	事 務 事業名		商工総務	<b>务管理事務事</b> 簿	É	担当課		工振興課
9. コストの	の推移								
	(単位:千円)	平成26年	度 (決	質)	平成27年度	[ (当初予算)	)	平成28年度	(計画)
4 ±D		1 19,20		<del>#</del> /	1 19,27 7 13			1 次20千尺	(1) (2)
1 報 2 給									
4 共	<del>页                                    </del>								
<del>7</del> 賃	金								
8 報	賞 費								
9 旅	費			124			213		213
10 交	際費								
11 需	用 費			341			358		358
	肖 耗 品 費			134			135		13
炒				133			143		143
<u> </u>	き 糧 費								
_	印刷製本費			38					
_	光熱水費								
作				36			80		8
	有材料費								
食									
	医薬材料費			CO			CO		
2 役 「v:	務費			62			63		6
_	通信運搬費 - 生 製								
<u> </u>	<u>告料</u> 手数料								
<del></del>				62			63		6
	<u>未 険 料</u> 託 料			3,533			0		U
	料及び賃借料			3,333			- 0		
	事請負費			47,088			0		
16 原	材料費			11,000					
	財産購入費								
	品購入費								
	金補助及び交付金						23		2:
20 扶	助費								
21 貸	付 金								
22 補償	補填及び賠償金								
23 償還金	金利子及び割引料								
	<b>資及び出資金</b>								
25 積	立 金					·			
26 寄	附 金								
27 公	課費			7			15		1
28 繰	出 金						0.75		
計	3 f f f f f f			51,155			672		673
特児	国庫支出金			0			0		
	具支出金			0			0		
特定財源				0			0		
<mark>カ</mark> 源 る 訳 _				51 155			672		CE
	般 財源			51,155 51,155			672 672		67: 67:
	■			51,155			012		07
補助率	- 単 県								
補助									
	度補正∙流用∜	·····································		平成26年月	<b>度特定財源内</b> 詞	R			
	初予算		683		区分		名称		金額
補.	正予算		000						
	证第1号		000						

当初予算	683
補正予算	53,000
補正第1号	53,000
流用・充用	-1,092
予算合計	52,591

76	1%LUTIX   11 KL 741 MAP   10 V		
683	区分	名称	金額
53,000			
53,000			
-1,092			
52,591		合 計	0
	1		

	<u> </u>	成27年度	3	事系	务事	業振〕	区りシ	<u>-</u> -	(3	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
1. 基本情報												10 M 40	the total and the	-
事務事業 コード	0107010200020101 事務事	<mark>業名</mark> 商工	業振	興絲	総務管	管理事	務事業					担当部 担当課	商工観光音 商工振興部	
政策名	3 活力ある産業	をのまちづくり										グループ	商工観光政	
施策名	2 商工業の振り	•										電話番号	45-5111	
基本事業名 会計	10.4 20.4 10.5	対する経営支持	爰							単年度のみ		内線番号	2511	
予算 別 項	07 商工費						事類問題		l	単年度繰返		吏		
科項	01 商工費									期間限定複	复数年度(		~	)
<u>□□□□</u> 評価区分	02 商工業振興3 簡易評価	<sup>費</sup> <mark>評価対象</mark>		1	次評品	II.	<sub>根拠法令</sub> · 関連記							
# : III - : - : - : - : - : - : - : - : -	の概要・目的・指		_	1.	<b>伙</b> 計制	Щ								
	<b>業の概要</b> (具体的な	-		細を	·記述)									
【駐車場利用券	業務を円滑に推進で								自動発	· 券機用駐車	重券の印刷を	≥行う。		
①活動指標	【(事務事業の活動)	量)						単	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		<b>—</b> /								(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア駐車券印刷									枚	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
1														
ウ														
(2) 事務事	業の目的												'	
② 対象		3 🛪				N. C. Fr. milio	. ) He lar	. L 真	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	象にしているのか)	/ (左)	記(2)	対象	の大き	きさを表	きす指標	)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア課内の各種	業務 													
イ														
<mark>ゥ</mark>														
4 意図		<b>⑤</b> 成	果	指標	ļ į			ě	—— 单位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどう	うしたいのか)	/ (左記	24億	(図)	の達成	度を表	す指標	) -	- 12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア円滑に実施	される													
1														
ウ														
(3) 上位の	基本事業													
⑥ 基本事業	の意図					果指標		Ë	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよう	な成果に結びつくの	か) / (左訴	26億	気図の	の達成	度を表	す指標	) -	- 12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア商店街・通り	会が賑わう													
イ 環境が整い	買い物がしやすくなる													
<mark></mark>														
3. 事務事業	の環境変化・市民	意見等								24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	巻く環境変化、市民や議会な		4.	事:	莱費(	の推移		耳	单位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			Ш		I –		支出金	_	千円			0	0	0
			ll	事	財源		出金		千円 一			0	0	0
			l	事業費	内口		<u>方</u> の ff	_	F円 F円			0	0	0
			投		i)		· 財源	_	F円			212	216	216
			投入量		事	 業費	7.1 "	-	f円	0	0		216	216
			*											
				_										
E Wichoods	中の中郷フィクー													
	<mark>度の実績及び成り</mark> ■度の実績(取組)	<b>尺</b> <取組内容を	粉荷	空ノマト	り目はた	ない記事	> (0)	) JU =	toe	F度の成果	/+×	この実績(取組)(	ことの成果なおま	<b>北</b> >
【商工業振興総		NAMEL SAFE	外心っ		ノフマド午日	- 一口し相父				ド <b>及の成果</b> 総務管理事務		u> <del>へ/igt(以</del> XRIL)(	一分分次不包的	**
	0 T III						F1147		ニー・ノスリン	ニシャロ・エ す 第	NIC 10	- may 10% 744 2. Fr	2 m 2 - 1// 2//	- 2- 2

需用費 76千円 【駐車場利用券印刷事務】 需用費 136千円

| 「向工来版典総が官母事份| ・需用費の執行により、課の商工業振興業務を円滑に推進できた。 | 【駐車場利用券印刷事務] ・駐車場利用券を印刷し駐車場を適正管理することにより、中心市街地に出店している大規模店舗の駐車場確保が図られた。

	事務事第 コード	,		10200020101	事 務事業名	商工業扱	長興総務	<b>答理事</b>	務事業	担 当 部 担 当 認		観光部 振興課
6.	振り返り	) <: -	SEE>							理(	由	
	1 =	の事務	≸事業0	り目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?					
			結びつ	いている								
自	[	□   f	間接的	に結びついてに	いる							
的妥	[		結びつ	いていない								
A目的妥当性	2 :5	の事業	業をなり	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならないの	<b>のですか?</b>						
_	- 10		妥当で		9 6 9 70 1	_						
				<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
					\	w 0						
	O PX				) はありませんか	)						
				る余地はかなり								
				る余地はある種								
	L		同上す	る余地はほとん	<b>いどない</b>			_				
물	4 廃	止•休.	止の影	響はありません	<b>んか?</b> 							
B有効性		]	影響が	ある								
ıΞ			影響が	ほとんどない								
					形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 8ものを含む。)	の事務	類似事合の事	<ul><li>業がある場</li><li>務事業名等</li></ul>			
				事業はない								
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	)事業があり、統合又は連携できる								
	⑥ · 排	務事業	と かん	と(やり方)を工夫 けたに働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	きを削減できません ずできませんか?	いか?	類似事業減余地が		工場の適正管理	星を行う事業であ	ることから、
	- 'TH		ic、Xi 削減で		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	% CC & E1011; {		シングノナログ	- o- 1 0			
С			削減で									
C 効 率	- 3	務事業	の手段		することで、人件者	貴(延べ業務時間)	を削減	類似事業	<b>美はなく、人件</b>	-費を含まない	事務事業である	ことから、削
率性	(7) でき	きません	か?		件費を削減できま			余地がな	\$V \ <sub>0</sub>			
	[	] j	削減で	きない								
		] j	削減で	きる								
D					盆者に偏っている 確保されていま							
D公平性	6	_	_	公正である	HE INCAUCU.	, 13 ·						
性				必要がある								
,	1 1/2 ST /	<b>布針</b> 用		PLAN>(組制	(4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.							
<b>′</b> ·	I WITT	本四年				【参考】前	年度の改革	改善の方	向性≪			<b>&gt;</b>
	事務事		改革	継続 —————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
以 型	ゴリカド	-J  ±		0								
革改	平成27 女善のP り組む・	内容		これまで以上に (できる限りペー	ニコスト 意識を持 ーパーレス化に〕	ち、事務管理経 取り組み、用紙、	費の縮減トナーの	wを目指で 節減に多	<u>す。</u> 予める。)			
(3) 向性	) 平成28 生•取組	3年度		他に類似事業	がないことから、	H27年度に引き	続き、これ	れまで以	上のコスト意識	畿を持ち、事務	管理経費の縮減	<b>杖を目指す。</b>
	o ve stre	正企士田		사 하기트 등교(도)								
• · ·	2次評価	山村茅	(担	当部長評価)							Д.,	
	事務事		改革	継続 —————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
₩ <sup>2</sup>	- 7J [H] [:											

事務	事業ード	0107010200020101	事 務 事業名		商工業振	興総務管理事務	§事業	担当担当		□観光部 □振興課
9. =	ストの							,	1-3	- 3200 C Reli
		(単位:千円)	平成26年	E度 (決	<b>央</b> 算)	平成27年月	度 (当初予算)	)	平成28年度	(計画)
1	報	- 一	1774=1	~	. 431 /	1774=111.	~ \_   3 7 7 17		1777-172	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
2	給	料								
3		手当等								
5	共	済 費 詳補 償 費								
7	_ <del></del>	金						0		
8	報	償 費								
9 10	<u>旅</u> 交	<u>費</u> 際 費								
11	需	<u>际</u> 用 費			212			216		216
	消	耗 品 費			76			76		76
	燃									
	食印	糧 費 刷製本費			136			140		140
		熱水費			100			110		110
	修	繕 料								
	鮪飼	材 料 費 料 費								
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広手	<u></u> 告 料 数 料								
	· 保									
13	委	託 料								
14 15		科及び賃借料 請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		i 購入費 補助及び交付金								
20	扶	助費								
21		付 金								
22		填及び賠償金								
23 24		<sup>利子及び割引料</sup> 及び出資金								
25		立 金								
26	寄	附 金								
27	<u>公</u> 繰	課 費 出 金								
28	計	ш <u>т</u>			212			216		216
		庫支出金			0			0		
財	定見	支出金			0			0		
財源内訳	源を	庫支出金支出金方債の他			0			0		
訳		般 財源			212			216		216
		計			212			216		216
<b> </b> *	輔助率	国県								
補	助	基本額								
平成		₹補正・流用も	<b>大況</b>		平成26年	度特定財源内	訳 記			
	当初	]予算		216		区分		名称		金額
	<b>補</b> 止	予算		0						
				$\blacksquare$						
				$\dashv$						
				_						

流用・充用

予算合計

216

合 計

1. 基本	情報									
事務事	業	0107010	01050201	重	<b>坐夕</b> 浴頭	費生活相談事業			担当部	商工観光部
I	ド	0107010	01030301	<b>尹</b> 孙尹:	*10 H13	貝工伯仰欧尹禾			担当課	商工振興課
政策:	名	01	快適	で魅力ある	るまちづく	り			グループ	商工観光政策G
施策:	名	05	交通	安全•防狐	2の推進				電話番号	45-5111
基本事	業名	03	消費	生活の安	全性向上				内線番号	2511
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費			事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 H	元 年度~)
予算科目	項	01	商工	費			利申	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	01	商工	総務費			根拠法令·条例等	消費者安全法		
1111年11日	(分		煙淮部	平価	<b>証価対象</b>	<b>9</b> 1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

消費者が安全で安心して消費生活が送れるようにするため、専門的知見に基づき適切で迅速な苦情の処理や斡旋を行う。また、悪質商法にだまされないように各種団体からの申請により出前講座を実施している。他にも、市報への掲載、FMきりしま、ケーブルTVを活用した消費生活関連情報を掲載し、注意喚起を実施している。

霧島市消費生活センター(霧島市役所 国分シビックセンター6階 商工振興課内)にて消費生活相談員2名が、平日 8:15~16:30までで受付・相談を実施している。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	消費生活相談開設日数		日	245	244	241	243	243
1	市センターで受ける消費生活相談件数	(延べ)	件	818	869	812	820	820
ゥ	出前講座開催回数		П	7	34	26	30	32
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	消費生活に関連して不安を感じている人 (悪徳商法等で被害を受けた者含む)	消費生活に関連して不安を感じている人の数 ⇒(代替)相談者数	人	818	869	812	812	812
1	消費生活に関連して不安を感じている人 (悪徳商法等で被害を受けた者含む)	消費生活に関連して不安を感じている人の数 ⇒(代替)相談者数	人	818	869	812	812	812
ゥ								
<b>4</b>	・ <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	消費生活センターに相談する	斡旋または助言した件数	件	811	862	809	800	800
1	出前講座を受ける	出前講座受講者数	人	242	1,082	1,473	1,330	1,350
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	安心した消費生活をおくることが出来る。	消費者相談件数(県センターと市センターの 相談総数)	件	1,159	1,243	1,163	1,160	1,160
1	安心した消費生活をおくることが出来る。	消費者相談件数(県センターと市センターの 相談総数)	件	1,159	1,243	1,163	1,160	1,160
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

消費者被害の件数が増え、県の消費相談(S 52年頃~)だけでは対応できないことから、日元 年に旧国分市(旧6町なし)で相談窓口を設置。 近年、相談件数は800件台で推移とており、これ はH20年度より消費生活専門相談員(臨時職員等 )を雇用し相談の質が高まったこと、補助事業等 を活用しセンターの周知を行ったことが理由と思 われる。政府も相談窓口を一本化した消費者庁 を設置するなど消費者に対する関心は高く、県 内の同規模市と比較しても相談員を最低3人は 置いて欲しいと県から要請されている。

А	車当	生建	m±	<b>推移</b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	-T-2		,001	圧リン			+ 四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	5,574	3,320	2,248	0	2,248
	事業費	財源内訳	地	7.	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	σ.	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,909	2,009	2,507	4,932	2,684
量		哥	業	費			千円	7,483	5,329	4,755	4,932	4,932

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

【相談件数】812件 【広報・出前講座回数】 出前講座 27回 広報きりしま 16回 FMきりしま 6回 ケーブルテレビ 11回

相談員研修等を通し専門的知識の向上が図られ、消費生活専門相談員(臨時職員)の相談の質が高まった。また広報や出前講座等、周知に力を入れることでにより、基礎的な知識を持つ住民の方々が増えてきた。

事	務	事業 -ド	010701010105	0301	事 務 事業名	消	費生活	相談事	業	<u>担</u> 担		部 課		<u>朗光部</u> 辰興課
6.			SEE>		7***1					1世		由	尚上t	火央沐
	_		務事業の目的は、	基本	事業の意図に約	古びついています	か?		あ法等で被害を センターに相		と者を	含め消費		
			結びついている					費生活	をおくることがと	出来る。	ᄔᅜᄞᄜ	生と文	番り つここ	く女心した何
A			間接的に結びつ	いてい	 \る									
的亞			結びついていなし	۸,										
A目的妥当性	<b>(2</b> )	·この	事業をなぜ市が行	わなけ	ればならないの	<b>りですか?</b>		国は平	ス成16年に消 るため、国・地	費者基	本法を	定定め、	消費者の利	引益の擁護・増
ıΞ		• 祝金	を <mark>投入して達成する</mark> 妥当である	る日的	16977			計画に	ごという。 定めている。 務に関し事業	費者基	本法	第19条	に地方公	共団体が商品
			<del>- タョ</del> (める  見直す必要があ					解決の	足進に努めなり	ければ	ならなり	いと記載	はされている	5。
	<u> </u>				<i>(++1)++/+</i>	. 0		平成2	5年度消費者	意識基	本調金	査より「消	当費生活セ	ンターの名前
	3)		「向上する余地(可			N°?		業務内然として	容を知っている 低い。周知方	5人」は 法のエ	:3割に :夫によ	満たず、 にり相談(	、センター( 件数の増ん	の認知度が依 こ繋がると考え
			向上する余地は					られる。						
			向上する余地は											
			向上する余地は	ほとん	どない			皮山肉	P休止は市民の	の消費・	老問題	の独宝	を増上され	トステレにかる
B	4	廃止∙値	木止の影響はあり	ません	か?			光止、	WITH WILL	//旧頂	日间燈	砂灰百	で増入でい	- accicaa.
B有効性			影響がある											
ıΞ			影響がほとんどフ	ない										
	<b>⑤</b>		)目的(対象・意図) ありませんか?(†				の事務	類似る	事業がある場 事務事業名等					
		•	類似の事業はな	١١										
			類似の事業はあ	るが、	統合又は連携	できない								
			類似の事業があ	り、統	合又は連携で	<b>≛</b> る								
	6	·事務事	▼業の手段(やり方)を など、交付先に働き	エ夫でかけて	することで、事業費	貴を削減できません 或できませんか?	か?		発生する新た 生意喚起が必					
			削減できない		1 11 11 702 2177				め、これ以上					
ç			 削減できる											
C効率性		・事務事	業の手段(やり方)を	工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		<b>戦員を雇用して</b>	、人件	費を抑	うえてい	るためこれ	以上削減余均
性	(7)	できませ・職員じ	んか? 以外の対応や委託に。	より人作	井費を削減できま	せんか?		がない。						
			削減できない											
			削減できる											
D	8		「業の内容が一部の 受益者負担の公平					相談第	き務であり、受	益者負	担はな	ょじまない	( ) <sub>0</sub>	
D公平性		•	公平・公正である	5										
性			見直す必要があ	る										
7.	1次	評価結	果 <plan></plan>	(組績	決定)	[dediction	年度の計	革改善の方	南椎《	484	まんし	力改善		>
(4)	± 7	7t = - # /	27. ₹ 継続	Ē.	やり方改善				連携				休止	廃止
		務事業 <i>の</i> 方向性	000年		つり万以音	コスト拡充	コスト	、和自力、	<b>建</b> 烷	η	統合			7-
革改	善	成27年原 の内容 lむべき	度の改 国民生活	センタ	マー等で開催され	l ったポスター、チ れる研修会に、き	L ラシの酢 予算の許	 巳布を積 □す限り参	極的に行い、液 注加することで、	▲ 肖費生注 、相談↓	舌セン	■ ターのさ 当職員と	らなる周矢 もに、相談	Ⅰ □を図る。また 炎事業に係るス
		成28年月	度の方	への消	当費者教育を、	教育委員会と連打	携を取り	ながら進	めていく。					
同性	Ē•耵	文組目標 	<b>#</b>											
8	2次	評価結	果(担当部長記	平価)										
			纵结		1411-4-1-4			给	V= 1#-		+ ^		休止	廃止
		務事業の 向性	の改革	•	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	ň	统合		PI-AL	沃止
(2)	総	評												

	8事業	0107010101050301	事 務 事業名	"出 弗 .	生活相談事業	担当部	商工観光部
	ード	0107010101030301	事業名	/月頁:	工心怕談爭未	担当課	商工振興課
9. =	コストの	)推移					
		(単位:千円)	平成26年	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度(計画)
1	報	西州					
2	給	料					
3		員 手 当 等					
4	共	済 費					
5		害補償費					
7	賃	金		3,942	4,	040	4,040
8	報	賞 費		200		005	2005
9 10	旅	費 際 費		393		395	395
11	<u>交</u> 需	<u>际</u> 用 費		407		486	486
' '	_			69		69	69
	炒炒			03		- 55	0.0
	<u></u>						
		7刷製本費		338		417	417
	H						
	僧	多 繕 料					
	財	有材料費					
	愈						
		医薬 材 料 費					
12	役_	務 費		0		0	(
		通信 運搬費					
	戊						
	手						
13	_ 委	託 料					
14 15		料及び賃借料 事 請 負 費					
16		材料費					
17		財産購入費					
18		品購入費					
19		は 補助及び交付金		13		11	11
20	扶	助費					
21	貸	付 金					
22	補償	補填及び賠償金					
23		2利子及び割引料					
24		及び出資金					
25	積	立 金					
26	寄	附 金					
27	公	課費					
28	繰	出 金				000	1.000
	計	1 佳 士 山 ろ		4,755	4,	932	4,932
	特層	国庫支出金		0 2 249		0	0.040
財	特定財源			2,248		0	2,248
財源内訳	源って			0		0	
:訳		. 0 他 般 財源		2,507	Λ	932	2,684
		計		4,755		932	4,932
		HI		1,100	Τ,	0001	1,00

# 補助基本額 平成26年度補正·流用状況

補助率

当初予算	4,785
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	4,785

### 平成26年度特定財源内訳

10/10

1 MAZO TISCINI ALMININI	***	
区分	名称	金額
県支出金	地方消費者行政活性化補助金	2,248
	合 計	2,248

			₩ <del>ch</del> o	左车	<b>声</b>	EUS.	L	/ <del></del>	<del></del>	- 15.50		
1. 基本情報	,		平成2	/平度	事務事業振	区りン-	-	(半成26年度	実施事業	の振返り)		
事務事業										担当部	商工観光語	FIS
コード	010701020	1050301	事務事業名	商品量	量目立入検査事業					担当課	商工振興調	
政策名	01	快適	で魅力あるま	ちづくり						グループ	商工観光	y策G
施策名	05	交通	安全・防犯の	推進						電話番号	45-5111	
基本事業名	03	消費	生活の安全性	上向上						内線番号	2511	
子 会計	<b>├</b> 一般:	会計				事業		□単年度の∂	74			
算款		商工	•			期間		■単年度繰過		度 H	12 年度	~)
		商工	•				_	□期間限定	复数年度(		~	)
1			業振興費			根拠法令·条例		量法				
評価区分		商易割		価対象	1次評価	関連計	<b>山</b>					
2. 事務事業	の概要	手目	的∙指標	<do></do>								
(1)事務事	業の概	要(,	具体的なやり	方、手順	、詳細を記述)							
→(帀)検査結	果の報	告→(	(市) 商品量目	検査事績	は証明における計量 京立・(県)立入検査の 多実績報告書の提出 別査、③表示に関する	0			前の決定→(	市) 立入検査	至の実施(試	買·立入)
								24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動指標	事務	事業	の活動量)				単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 立入事業者	<b>首数</b>						戸			8	8	8
イ 立入店舗の	計量商	品検査	個数				個			355	355	355
<mark></mark> ტ												
(2)事務事	業の目	的										l.
② 対象			1	③ 対	象指標		34 /L	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対	象にして	こいるの	のカュ)	(左言	2②対象の大きさを表	きす指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア取引若しくが者	は証明に	おける	計量をする									
1												
ウ												
4 意図					果指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をど	うしたい	のか)	)	(左記	④意図の達成度を表	きす指標)	,-,-	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア取引又は記	E明すると	:き正し	/図る									
1 取引又は証	E明すると	き正し	く図る									

ゥ

7	/ 工世の基本事業							
6	基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(5	らにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	甲型	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	安心した消費生活をおくることができる							
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

本事業は、県が策定した「消費者基本計画」 に基づき、消費者の消費生活の安定・向上のた め計画的に進められている施策のひとつである

。 平成21年に国において、消費者庁及び消費 者委員会が創設され、消費者安全法が施行さ れた。このような中、県では平成22年に消費者 行政推進室を設置し、消費者行政の充実・強化 を図っている。

4	車道	生物	ທ‡	<b>推移</b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	7.7			E15			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			20	20	20
量		事	業	費			千円	0	0	20	20	20
_												

## 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

立入事業者数(戸数) 8件 →うち適正戸数 7件、不適正戸数 1件

立入店舗の計量商品 355個 →うち適正個数 352個、不適正個数 3個

中元時期に行った立入検査で、1戸の事業者で扱っていた商品のうち3 個が不適正という結果であり、改善事項通知措置を行った。

(2) 東京・東京・東京 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	事	事務事業 コード	01070	10201050301	事 務 事業名	商品量	<b>冒立入検</b>	<b>查事業</b>	担当部担当課		観光部 振興課
特がついている	6. :	振り返り・	<see></see>	<b>&gt;</b>							TO CAPIT
□ 開接的に結びついている □ 結びついてはない ② ごのできなせきが持ちがおければならないのですか? □ 見ます必要がある □ 見ます必要がある □ 見まする余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はためである □ 同上する余地はからを記し □ 形像のある。 □ 形像が見るとびない □ 影視の事業はありませんか? □ 影視の事業はありませんか? □ 別域の事業はありませんか? □ 別域できる □ 関係できない □ 別域できる □ 日 別域できる □ 日 別域できる □ 日 日 対域を必要があるを表により人作者の組みで表は長いますか? □ 別域できる □ 別域できる □ 日 日 は で リカル と リカル で リカ		① この事	■務事業(	の目的は、基本	事業の意図に終	結びついています	か?				
□ 開接的に結びついている □ 結びついていない ② このできなが自然的なわなければならないのですか? □ 株金を従入しておぼする目的ですか? □ 周上する余能はかなりある □ 周上する余能はかなりある □ 同上する余能はかなりある □ 同上する余能はかなりある □ 同上する余能はかなりある □ 同上する余能はかなりある □ 同上する余能はかなりある □ 同上する余能はためでは ● 経帯がある □ 見よずる余能は大心では ● 経帯がある □ 思報が表えたどない ■ 経域の事業はありませんか? □ 影響の事業があり、検索なは連携できない □ 類似の事業はありませんか? □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない □ 財政できない。 □ 財政できない □ サンバでは、対政では、対政では、対政では、対政では、対政では、対政では、対政では、対政			結びつ	いている			_				
□ 受害のある □ 見面す必要がある □ 見面す必要がある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はあるがでない。 □ 影響がほとんだない。 □ 影響がほとんだない。 □ 影響がほとんだない。 □ 影響の事業はあるが、統合又は連携できない。 □ 弱似の事業はあるが、統合又は連携できない。 □ 間域の事業はあるが、統合又は連携できない。 □ 間域できない。 □ 削減できない。 □ のまな無力がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見面す必要がある □ ときりのでを表すが適にかり前えを停むなよが指導を行か、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもかいな変をののが高性・取組目標 □ のが高度を呼ばがある □ のがある □ のがある □ のが高度を呼ばがある □ のが高度を呼ばがなる □ のが高度を呼ばが	A				 いる						
□ 受害す必要がある □ 見画す必要がある □ 見上する余地はななりある □ 向上する余地ははなんどない □ 向上する余地ははたんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 野似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 野似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 野似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 所以できない □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できない □ 別域と対応機能を対ではままなが、と見かは表しのできまながあるを対しまながあるを対しまながあるを対しまながある。 □ はり前後を受けるの改善を確全の方式を対し、必要が取ると対しまながある。 □ はり前を持つない。必要が取ると対しまながある。 □ はり前を発力がある。 □ はりがながは、からなできまない。 □ はりがながは、からなできまながあるを対し、できまながあるを対し、できまながあるを対しまながある。 □ はりがながは、からなできまながあるを対しまながあるを対しまながあるがし、まながあるがし、必要が取ると対しまながあるがし、必要が取ると対しまながあるがし、必要が取ると対しまながあるがし、必要があるを対しまながあるがし、必要があるを対しまながあるを対しまながあるを対しまながあるがし、必要があるを対しまながあると対しまながあるといいながあるといいながあるといいながあるといいまながあるといいまながあるといいながあるといいまながあるといいまながあるといいながあるといいながあるといいまながあるといいまながあると	的影		結びつ	いていない							
□ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 向上する余地はおなりある □ 向上する余地ははたんどない □ 向上する余地はほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 野城の事業はあるが、統合又は連携できない □ 帰城の事業はあるが、統合又は連携できない □ 帰城の事業はあるが、統合又は連携できない □ 帰城できない □ 剛成できない □ 別域が表別できない。 □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見面す必要がある □ 日本の本を自由の必要を目のかまままなが、	当	② · この:	事業をな	ぜ市が行わない	ければならないの	のですか?					
□ 見直す必要がある  ③ 成果が向上する余地はかなりある □ 向上する余地はあるを収集ある □ 向上する余地はあるを収集ある □ 向上する余地はあるがませんか? □ 影響がある □ 影響があるが、	I <u>T</u>	176.32			9 C 9 TO ?		_				
② 原来が向上する余地(可能性)はありませんか?											
□ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおる程度ある □ 向上する余地はおるとととない ②		③ 成里#			)けなりません.#	h\ 2					
□ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない □ 終置がある □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響がほとんどない □ 影響の事態がまとんがで、(本)の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できるい □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できる。 □ 別域できない □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる ※ 要素素のの理解が一部の受益者に偏っていませんか? □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる ※ 変素素の内容が一部の受益者に偏っていませんか? □ 乳はいのなどや影により人性臭を削減できませんか。 ※ 変素素の内容が一部の受益者に偏っていませんか? □ 乳はいのがない影により人性臭を削減できませんか。 ※ 変素素素の内容が一部の受益者に偏っていませんか。 ※ 変素者者自己の全性性が解決されていますか? □ 公平・公正である □ 兄妻者の妻別のなが、(本)のではの解決されていますか? □ 公平・公正である □ 公本を表がらない、(本)の表に陥む。 □ 公平・公正である □ 公平・公正である □ 公平・公正である □ 公平・公正である □ 公平・公正である □ 公本を表がらない、(本)の表に陥む。 □ 公本を表がらない、(本)の表に陥む。 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		_				· ·	_				
□ 向上する条地はほとんどはい  ② 後止・休止の影響はありませんか?  □ 影響がある  □ 影響がある  □ 影響がある  □ 影響の事態が衰失を必ずの?(情域・意図)又は影響(ペントや音楽等)を持つ他の事務  □ 類似の事業があるが、統合又は連携できる  □ 類似の事業があり、統合又は連携できる  □ 所滅できない  □ 財滅できない  □ 所滅できない  □ 財滅できな・ □ 所滅できない  □ 所滅できない  □ 所滅できない  □ 所滅できない  □ 財滅できない  □ 財滅できない  □ 所滅できない  □ 別域できない  □ 財滅できない  □ 別域できない  □ 水流・炭差性質性の経域されていませんか?  ※大き、炭差性質性の必要者に続っていませんか?  ※大き、炭差性質性の必要者に続っていませんか?  ※大き、炭差性質性の必要者に続っていませんか?  ※大き、炭差性質性の必要がある  □ 見画す必要がある  □ とり方改善 コスト拡充 コスト縮小 達携 統合 休止 廃止  □ いり切りたり場後を持って、裕変に除む。  ② PF成27年度の改 高の内容  取り組むへき課題  □ いり用を作がから、必要率度を正確に始まえた検索を行い、事業者に対し、商品輩目の重要性を分かってらいがら、次での事業者が適正といり結果を得られるより結果を行う。  □ の指導を行う。  □ のおおまなを対し、 第二 はない はなをを行い、事業者に対し、 商品輩目の重要性を分かってらいがら、必要率を正確に始まえた検索を行い、事業者に対し、 商品輩目の重要性を分かってらいがら、必要率を正確に対するためではななを行い、事業者に対し、 商品輩目の重要性を分かってらいがら、必要率のより結果を行う。  □ のおは、 はない がは、 ななを対し、 第二 はない がは、 ななを がは、 ななな なななな											
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##											
□ 影響がある □ 影響がほとんどない □ 影響の目的(対象・室園)又は影響、イベントや音楽等)を持つ他の事務											
□ 影響が見た人どない  □ 類似の事業はない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 類似できない □ 利減できない □ 削減できる □ 非辞事業の手段(やり方)を工夫することで、具の交付金を受けて実施している事業である。また、やり方につては、原の定心に従って実施する必要があるため、事業費の手段(やり方)を工夫することで、人件長(基へ業務時間)を削減 できない □ 削減できる □ 非済事業の手段(やり方)を工夫することで、人件長(基へ業務時間)を削減 できない。 □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 別域できる □ 東直が必要がある  7. 1文件値結果 <plan>(組織決定) □ 公子・公正である □ 見直す必要がある  7. 1文件値結果 <plan>(組織決定) □ おおままな、受益者負担の公平にが確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1文件値結果 <plan>(組織決定) □ かりとした知識を持って、検査に臨む。 □ 2. 1 平成21年度の改善な変の内容 取り組むべき課題) □ 公中成21年度の改善な変の内容 取り組むべき課題) □ 公本の方向性 □ 公本の方向は □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</plan></plan></plan>	B 有	0 11			บ <i>ม</i> า :		_				
(1) 野菜の   一	<b>劝</b> 生						_				
□ 類似の事業はない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できる ⑤ 接際事の中限でい力・多工夫することで、事業性利度できませんか? ② 特際会なし、交付鬼に働きかげて、帝の負担を削減できませんか? □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できない □ 別域できない □ 別域できない □ 削減できない □ 別域できない □ 別域できない □ 削減できる □ 欠きがある □ 欠きがある □ 欠きがある □ 欠きがある □ 欠きがある □ 収割のである □ 収割の		_ 米百小八			形能(イベントや)	 	の事務 類	似事業がある場			
□ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 開放できない。 □ 削減できない □ 削減できなる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できなる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できなる □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見直す必要がある □ 見はず必要がある □ 見がした知識を持っていませんか? また、受益者負債の公平性が確減をれていますか? □ レーカリとた知識を持って、検査に発む。 □ ルカリカ改善 コスト拡充 コスト施小 連携 統合 休止 廃止 以前の指導を何方。 □ いの指導を何ぎたがら、必要率項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらいがら、全ての事業者が適正とい可能果を作られるよう指導を行う。 □ 単純事業の改革 機械 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 関連 様子 のは 単純 様子 のは 単純 様子 様子 様上 廃止 単着 有能 単純 単純 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		5 事業は	はありませ	けんか?(市以外	の主体が実施する	るものを含む。)	合	の事務事業名等			
□ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・毒殊事業の再段(やり力)を工夫することで、事業費を削減できませんか? ■ 削減できない □ 削減できる  ■ 料理事業の利益や最起により人件費を削減できませんか? ■ 削減できない □ 削減できる □ 見値す必要がある □ 見値す必要がある □ 見値す必要がある □ 見値す必要がある □ しつかりとした知識を持っていませんか? □ 公平・公正である □ 見値す必要がある □ しつかりとした知識を持って、検査に凝む。 2.) 平成27年度の改 放金部の内容 取り組むべき課題) □ パッ・全での方向性 □ 以前に多いがら、企要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらいがら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。 3.) 平成28年度の方向性・取組目標 □ は一部長評価 □ 別事務事業の改革 □ 見かに対し、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					/		_				
(***) ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **											
●   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							かっ、県の	交付金を受けて:	実施している事業	挙である。また。	やり方につい
□ 削減できる		6 補助	金など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	域できませんか?	てはり	県の定めに従っ <sup>・</sup>			
事務事業の手段やリカ)を工夫することで、人件費(温べ業務時間)を削減 できませんか?											
できませんか?	勿					曲 / 7-7 - 2 - 44- 7 f n ± 00 \ 1	the second	またへいては 順	の定めに従って	で宝梅する必要	がなるため
■ 削減できない □ 削減できる  ③ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) ② 事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 立かりとした知識を持って、検査に臨む。  2. 1、事務事業の改革 取り組むべき課題) □ 場の指導を仰ぎながら、必要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらいがら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。 □ 3. 2次評価結果 (担当部長評価) □ 3. 2次評価結果 (担当部長評価) □ 3. 2次評価結果 (担当部長評価) □ 2. 2、1、事務事業の改革 被善方向性 敬徳 なおうにない。 2. 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		(7) できまt	せんか?				が減は、	できない。	(V) NEWN (CINE'S)	、天旭りる仏女	11-00/201C00V
<ul> <li>⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか?         また、受益者負担の公平性が確保されていますか?         □ 公平・公正である         □ 見直す必要がある</li> <li>7. 1次評価結果 &lt; PLAN&gt; (組織決定)         (参考)前年夏の改革改集の方向性         ○        □</li></ul>					1170017777						
□ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 <plan>(組織決定)</plan>											
□ 公平・公正である □ 見直す必要がある  7. 1次評価結果 < PLAN > (組織決定)	ח	8 事務等	事業の内	容が一部の受益	益者に偏っている 	ませんか?					
7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定)  (2) 事務事業の改革	公立	0.72	~=		神体でんしいよ	.9 // :	_				
(2) 平成27年度の改革	性						_				
(2) 平成27年度の改革	,	1次評価級		PI AN>(細細	#決定)						
(3) 平成28年度の方向性  県の指導を仰ぎながら、必要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらいがら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1) 事務事業の改革		· OCHI IMAS	1714					1	T	/± ı.t.	
2) 平成27年度の改 直改善の内容 取り組むべき課題) 県の指導を仰ぎながら、必要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらい がら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。 3) 平成28年度の方 向性・取組目標  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  1) 事務事業の改革  継続  やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止					やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	<b>水正</b>	光正
2) 平成27年度の改 直改善の内容 取り組むべき課題)  県の指導を仰ぎながら、必要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらい がら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。  3) 平成28年度の方 同性・取組目標  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  1) 事務事業の改革 枚善方向性  総続  やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止					- 知識を捧って	松本に飾む					
駅の指導を仰ぎながら、必要事項を正確に踏まえた検査を行い、事業者に対し、商品量目の重要性を分かってもらいがら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。				U-311-19 EUR	- 和峨色行うし、	1英重に幅でい					
がら、全ての事業者が適正という結果を得られるよう指導を行う。 (3) 平成28年度の方 向性・取組目標  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1) 事務事業の改革 改善方向性  総統  やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止											
(3) 平成28年度の方 向性・取組目標  3. 2次評価結果 (担当部長評価)  (1) 事務事業の改革 改善方向性  松続  やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止				県の指導を仰がら、全ての事	叩ぎながら、必要 「業者が適正とい	事項を正確に踏 いう結果を得られる	まえた検査を るよう指導を行	行い、事業者に	対し、商品量目	の重要性を分が	ってもらいけ
3. 2次評価結果 (担当部長評価)   1)事務事業の改革   継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止   株正   株正   株正   株正   株正   株正   株正   株	3)	平成28年	度の方	,		= .4 =		-			
1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 牧善方向性	句性	生・取組目	票								
1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 牧善方向性											
1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 牧善方向性			- m	N to E Section							
1) 事務事業の改革		2次評価新	果(社								
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
2)総評	以 芒	기메									
(2)総評											
	(2)	総 評									
	_/	40- И1									

事務事		事 務事業名		商品量	目立入検査事業		担当担当		「工観光部 「工振興課
9. コスト	トの推移								
	(単位:千円)	平成26年	丰度 (》	<b>央算</b> )	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	度 (計画)
1 報									
2 給									
3 職4 共	<ul><li> 員 手 当 等</li><li> 済 費</li></ul>								
	害補償費								
7 賃									
8 報									
9 旅									
10 交				20			20		20
'' ዀ	消耗品費			20			20		20
	燃料費								
	食 糧 費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修 繕 料 賄 材 料 費								
	飼料費								
	医薬材料費								
12 役	務費			0			0		0
	通信運搬費								
	広告料								
	手 数 料 保 険 料						_		
13 委									
	用料及び賃借料								
	事請負費								
16 原									
	:有財産購入費								
	品購入費								
19 負担 20 扶	担金補助及び交付金 - ・ 助 費						-		
	付金								
	 償補填及び賠償金								
	還金利子及び割引料								
	資及び出資金								
25 積									
26 寄 27 公							_		
28 繰									
計				20			20		20
				0			0		
財源内	県支出金			0			0		
財源内訳	地 方 債 そ の 他			0			0		
訳 —	10			20			20		20
	計			20			20		20
→士 □⊥	玉								
補助	県								
	助 基 本 額								
	年度補正•流用∜	況			度特定財源内訳				
= =	当初予算 補正予算		20		区分		名称		金額
*	·用止   / 异		U						
		-							
			-						
			=						
	用・充用		0.0			<b>∧</b> =1			
	予算合計		20			合 計			0

					<u>~- · </u>	1 12	ナッカナ 不 灰火	<u> </u>	(1%20十尺 天池子)	K + 2 100 X = 77	
1. 基本	情報										
事務事	業	0107010	201050302	主	世 夕	計量品	岩定期検査・事前詞	国本主类		担当部	商工観光部
	ド	0107010.	201030302	争协争	木口	口里旬	6亿别快旦。事间	<b>川且</b> 尹未		担当課	商工振興課
政策	名	01	快適	で魅力あ	るまち・	づくり				グループ	商工観光政策G
施策	名	05	交通:	安全•防	犯の推:	進				電話番号	45-5111
基本事	業名	03	消費	生活の安	全性向	1上				内線番号	2511
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	手度 H	12 年度~)
予 算 科 目	項	01	商工	費				利申	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	02	商工	業振興費				根拠法令·条例等	計量法		
評価区	☑分		簡易評	平価	評価	対象	1次評価	関連計画			
	ماله ك										·

# 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do> (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

特定計量器の定期検査は、使用段階における計量器の適正さを担保するために、認証の有無、性能及び器差(誤差)を定期的に検査する制度で、「非自動はかり、分銅およびおもり」については県が2年に1回、区域ごとに実施するものである。対象者は、計量器を取引又は証明における計量に使用する者とされている。本市では平成26年度が該当年であり、定期検査を実施する際に元となるデータ作成のための事前調査、公的機関の受検対象者に対する検査手数料の予算措置、その他、周知・広報、会場手配など検査に係る事務を行った。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		7.4	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 受検対象者		件			312	312	312
1							
<mark>Ժ</mark>							
(2) 事務事業の目的				'	'	'	
② 対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	丰区	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 計量器を取引又は証明における計量 に使用する者							
1							
<mark>Ժ</mark>							
④ 意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	甲亚	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 正確な計量及び適正な計量管理							
1							
<mark>力</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	丰区	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 安心した消費生活をおくることができる							
1							
<mark></mark> ქ							

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

本事業は、県が策定した「消費者基本計画」 に基づき、消費者の消費生活の安定・向上のた め計画的に進められている施策のひとつである

。 平成21年に国において、消費者庁及び消費 者委員会が創設され、消費者安全法が施行さ れた。このような中、県では平成22年に消費者 行政推進室を設置し、消費者行政の充実・強化 を図っている。

4.	事美	美費	の‡	<b>作移</b>			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫 支	₹出	金	千円	(4.3),	(6.1317	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	力	<u> </u>	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	σ,	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			285	0	338
量		事	業	費			千円	0	0	285	0	338
_												
ı							Ţ					

### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

平成26年度は、2年に1回実施される各区域での計量器定期検査の 該当年であり、検査を実施するための事務を行った。

検査会場:市内7ヶ所 検査対象件数:312件

特に大きな問題等起こることなく、検査を実施することが出来た。

Ę	事務事		01070	10201050302	事 務 事業名	計量器定	期検査・	事前調査	查事業	担 当 部 担 当 課		観光部 振興課
6.	振り返	IJ <	SEE>	•						理由		
	1 =	の事剤	8事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	ナか?					
			<u></u> 結びつ	いている								
A			間接的	  に結びついてし	<b>、</b> る							
A目的妥当性			結びつ	いていない								
当性				ぜ市が行わなけ て達成する目的		<b>のですか?</b>						
_	1		妥当で		1 ( 9 % :							
				· ·必要がある								
	(3) ந <b>ர்</b>	果が「	白トする	 る余地(可能性)	はありませんか	)\ ?						
				る余地はかなり			_					
				る余地はある程			-					
				る余地はほとん								
				/響はありません								
B有効性					<i>01</i> 3. :		_					
勿性			影響が	`ぬる  `ほとんどない								
	_				形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似事等	だがある場			
	5 事	業はあ	りませ	んか?(市以外)	の主体が実施する	ものを含む。)	7 7 7	合の事務	業がある場 務事業名等			
				頁似の事業はない 								
				事業があり、統			<i>t</i> ) 2	事前調査	Fを外部委託	<b>任しているが、業</b>	務内容が専門	的であり、『
	6 :	補助金	など、交	手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか? 、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか? 或できない						する業者はない		
								,°				
C 効			削減で					事兴潮才	こナ、从 如 禾き	Eするなどして、	当時に対めて	\7
率性	(7) でき	きません	いか?	と(やり万)を工夫 なや委託により人(		費(延べ業務時間): せんか?	を削減	尹則剛生	【セル 可安正	L 9 公本こして、	FITM(に分の CV	<i>'</i> ⊘₀
			削減で		192111119 000							
			削減で	きる								
ח				容が一部の受益 担の公平性が								
D公平性	6	_	_	公正である	神体でもしている	.9 //:						
性			見直す	必要がある								
7.	1次評(	而結り	E < F	PLAN>(組織	(決定)							
				継続			年度の改革			I	休止	廃止
	事務事 善の方[		改革		やり方改善	コスト拡充	コスト統	<b>a小</b>	連携	統合	が正	<b>発工</b>
				□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ナ 字期於木の	該当年ではない	たみ 胜1	・事致い	ナルナal、、「	アは99年 産が討	ジェケッなスたい	ト スわたら
					よ、足別快宜のはなどに漏れがな		ため、特に	-争務とし	(17/21 /º -	P成28年及か該	(ヨ午でめるに)	り、てれれに四
革	)平成2 改善の[	内容										
(取	り組む	べき訳	果題)									
				F-1			T )	14 1.11 6				
				「計量器を取 ついて工夫を図		おける計量に使用	#する者=	検査対象	₹者」に対し	、100%検査を含	さけてもらえるよ	っに周知等
(3)	平成28	8年度	の方									
P] (	生・取組	日保										
							_					
8	<mark>2次評</mark>	而結上	1 (组	<b>」</b> と と と と と と と に と に も り も り も り も り も り も り も り も り も り も								
				継続		_=		5.4.	)±14	6± A	休止	廃止
	事務事		改革	PP至 市グC	やり方改善	コスト拡充	コスト統	首小	連携	統合	NVTT	完止
(2)	総 評											
_												

	事業 ード	0107010201050302	事 務 事業名		計量器定期	明検査·事前調査	<b></b>	担当担当		商工観光部 商工振興課	$\exists$
9. =	コストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年	F度 (決	(算)	平成27年月	度 (当初予算)		平成284	年度 (計画)	
1	報	西州									
2	給	料									
3		手当等									_
5	共 巛 重	済 費 付 付 費									$\dashv$
7	_ <del></del> 賃	金									ㅓ
8	報	償 費									
9	旅	費									$\dashv$
10 11	<u>交</u> 需	際   費     用   費			0			0			0
		耗品費									Ť
	燃										
	食	糧 費 刷製本費									_
		熱水費									$\dashv$
	修	繕 料									
	_	材料費									
	飼	料費									$\dashv$
12		条 的 科 負 務 費			3			0			3
	_	信運搬費									
	広										
	手 保				3			0			3
13	\体 委	陕 託 料			282			0		3	335
14	使用料	料及び賃借料									
15		請負費									
16		材 料 費 財産購入費						_			$\dashv$
18		,購入費									$\dashv$
19	負担金	補助及び交付金									
20	扶	助費									_
21		付 金 填及び賠償金									$\dashv$
23		利子及び割引料									$\dashv$
24		及び出資金									
25	積	立金									4
26 27	<u>寄</u> 公	附   金     課   費									$\dashv$
28	繰	出金									ᅱ
	計				285			0		3	338
	特區	庫支出金 支出金			0			0			$\dashv$
財源内訳	特定財源国 県 地 そ				0			0			$\dashv$
内即		の他			0			0			
叭	— ;	般 財源			285			0			338
		計国			285			0		3	338
	甫助率	県									$\dashv$
補	助	基本額									
平成		【補正·流用も	<b></b>	_	平成26年	度特定財源内	訳				_
	当初	]予算 [予算		338		区分		名称		金額	
	1.441.77	- 1 <del>71°</del>									$\exists$
											$\Box$
											$\dashv$
											$\dashv$
											$\Box$
											$\dashv$

流用・充用

予算合計

338

合 計

1 甘士梅	ake .			平成	27年度	Ę	事務	<b>事業振</b>	返りシー	<b>-</b> ト (	平成26年度	実施事業の	)振返り)		
1. 基本情 事務事業		010701020302	10101 事	務事業	<b>名</b> 海外1	貿易	の振	長興支援事	業				担当部	商工観光音	
コード 政策名					まちづくり		- 4/2						<u>担当課</u> グループ	商工振興部商工観光政	
施策名			<b>新工業</b> の	,,	,,,								電話番号	45-5111	1711 -
基本事業	$\overline{}$			者に対す	る経営支担	爰							内線番号	2515	
	計款	一般会 07 商	計 5工費						事業		〕単年度のみ I 単年度繰返		ĒН	20 年度	~)
科工	項		" <u>一点</u> 5工費						期間		· 中一及标题 〕期間限定複		. 11	~	´)
		11-	5工業扱						根拠法令・条件						
評価区分			準評価		平価対象		17	<b>欠評価</b>	関連計	画					
2. 事務事				U 201	<do> CDo&gt;</do>	× 24===	(m≱ =	24.7 p≥							
(1)事務 木市の立t									/ 宇定させ	スために	は、現在経済	薬が異器	ハアジアを	由心としたま	*国との経
済交流を促 しかし本市 で鹿児島県 ものである。 平成24年月 平成25年月	進強及 度度	、霧島市 霧の貿易 質易 担金:県 担金:県	市の商□ 『易振興 ・空 書 『 質 易 操	工業者に 興にはは を有する 協会30万	よる貿易を界があるたり治体が行った。ジェト	促進車の連門を	担貿協 見見 見見	こいく必要が、に関するノワ	ある。 ウハウがあ 興を図るこ 66万円	る「県貿 とができ	易協会」及び るため、これ	「ジェトロ鹿	児島」と一体	となって取り	)組むこと
① 活動指	標	(事務事	事業の活	舌動量)						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
アセミナー	等が	霧島市で	で開催され	れた回数						品	1	1	0	2	2
1															
ウ (a) <b>オ</b> ボ		<b>*</b> • • •													
(2)事務 ②対象	争习	長の日	K)		③ <b>対</b>	- <b>45</b> ±	날				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を	対象	にしてい	へるのか	z)				の大きさを表	きす指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア霧島市の				·	霧島市の西				.,	人	1,279	1,279	1,394	1,394	1,394
	10471				1,5 1-5 11	-3/14					1,210	1,210	1,001	1,001	1,001
1															
ウ															
4 意図					⑤ 成					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象を 海外貿易				音が軟				D達成度を表 研修会等が認			(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
アラ。	01-	JV - (J±)	1年 7 公郊	ROLLINIE.	催された回		± 9 ′ω	別  多女子が	多四 川 て   加	口	1	1	0	2	2
1															
<mark>ウ</mark>															
(3) 上位	のま	本事	業		l .										
⑥ 基本事	業	の意図			⑦基	本事	業	の成果指	票	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどの	ようれ	な成果に	結びつ	くのか)	(左記	16億	図の	)達成度を表	きす指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 商工業者	香の経	E営が安	定する。		制度資金の	り借入	(件数	t .		件	334	332	333	344	351
イ 商工業者	子の糸	経営が安	定する。	_	セーフティ	ネット	保証	制度の認定件	+数	件	59	16	10	64	66
ゥ															
3. 事務事	**	71番 (会)	赤ル。	カロ音!	目生						24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事業を						4.	事	集費の推移	3	単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
市内の商	工業	者の経	営を安ク	定させる	ため、国			国庫	支出金	千円	0	0	0	0	0
際空港を有 国との貿易・	$\sim 0$	理解を活	架め、多	そ心して行	貿易に踏		事	21	出金	千円	0	0	0	0	0
み切れる環 20年度から	境を 県貿	整える』 易協会	∆要がね ・ジェト	あったた≀ ロ鹿児島	め、平成 に負担		事業費	内	方 債	千円	0	0	0	0	0
金を支出して	てい	る。				坎	貝		の他	千円	0	0	0	0	0
						投入量		事業費	財源	千円	660	660 660	671 671	671	671 671
						崖		サポリ アポリ		117	000	000	071	071	071
						L									
5. 平成26															
(1)亚成2	OF	# A #	4 to / 10-	401	- Title (ATT all a police de	Maria de And		- H 11-11	(-)				の実績(取組)ル		

平成26年度負担金 鹿児島県貿易協会30万円、ジェトロ鹿児島37.1万円 計67.1万円

- ・研修等に参加した霧島市の事業者数…未把握 ・法人市民税の課税者数…2,649事業所

Ę		事業ード	01070	10203020101	事務事業名	海外貿	3易の捌	長興支援	事業		当 当	部課		現光部 長興課
6	_	J返り <	(SEE)		予不日					担	理	由	间上1	瓜兴味
<u>.</u>	_				車業の音図に約	古びついています	トかっ		の商業者が浴		ー 易に <sup>・</sup>		理解する環境	竟が整うことで、
	•				サネ の 心 囚 に 小	BO 20. C0. & 9	75. :	商工業	者の経営が安:	定する	D			
A			1,20	いている				-						
目的妥当性				に結びついてし	<b>^</b> る									
妥当				いていない	المالية حالية المالية	2-+4.0		古け	商工会議所・「		• <del>2/2</del> 17	三分子 しょ	「堆」て 充一	「衆孝の奴骨
性	2	·この事 ·税金る	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならない。 ]ですか?	りじゅか?		支援を行	岡工云磯別 う	句上云ため、	妥当	である。	E1秀し (、) 何 _	L来有り)柱呂
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	١?								生を目的とした こくい。しかし、
			向上す	る余地はかなり	  ある			の実施で	ける研修会等に	ここれる	までじ	【上にホ	責極的に参力	こくい。しかし、 方々が、2団体 ロすることで、知
			向上す	る余地はある程	 B度ある			- 識を習得 成果向	身することにつ 上の余地はある	ながり、 る。	. 経営	の安定	<b>官を図ること</b> か	ぶできるので、
			ーーー	 る余地はほとん	 どない			1						
_	<b>4</b> )		ᆂᆘᄱᄝ	/響はありません	.tv 2									を図る市内商
B有効性	4				<i>Ji</i> J. :			上業者7	ぶ不利益を被	っない。	<b>にりに</b>	する必	要がある。	
効性			影響が					-						
		粗似の		ほとんどない	II(台版 / ノバン / 以下	マック ナセッチ	の車数	¥⊼ /N 7	5 # 48 ± 7 ± 11					
	5			んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 らものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	g(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	か?	会・ジェ	トロ鹿児島が洗	や定して	こいる	。他市	担金額は鹿! とともに一律	凡島県貿易協 の金額であり
		-	削減で	きない				減額は難	難しく、負担の	削減は	でき	ない。		
င္ပ			削減で	 きる										
C効率性				攺(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	負担金	の支払事務に	は最低	限のも	っのでも	あり、削減の名	余地はない。
性	$\odot$	)できませ ・職員以	んか? し外の対応	なや委託により人作	件費を削減できま	せんか?								
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				同協会 て参加で	等の主催する できるので、公	5研修会 平・公〕	会・セ Eでは	ミナー らる。	には市内の南	<b>寄工業者が全</b>
公平性				公正である				-						
性			見直す	 必要がある				1						
7	1 1/1	7部/布結	且 /	PLAN>(組結	(本中)									
· ·	1 00	CHT IM THE	* \1			【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪	継続	売•や	り方改		<b>≫</b>
1. 1		務事業の	の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ŕ	<b>統合</b>		休止 ————	廃止
W :		,		0	0									
				等の周知を図る	「工会などの経え るとともに、新たる	斉団体にご協力 な事業展開を模	をいたた 索するヨ	ごき、所属 事業所等	の事業所に対 を紹介いただ。	tし当該 き、県賃	返団体 貿易協	が行う る会、ジ	海外貿易に ジェトロ鹿児島	関するセミナー とのマッチン
		成27年月	度の改	グを図る。										
		むべき	課題)											
						斉団体にご協力 な事業展開を模								
(3)	् चर	成28年月	⊭n±	グを図る。	DCC 01-( 15)17C	8. 千水风川已庆	/N / W 7	F /K// 1 1	2,4071 • 7070	C \ /\\ 9	< 30 M	07/0		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
		取組目標												
8.	2次	(評価結	果(担	当部長評価)										
	773774097						コスト	縮小	連携	#	· 统合		休止	廃止
	事務事業の改革													
								-						'
(2)	総	評												

事務コ	事業 ード	0107010203020101	事 務 事業名		海外貿	易の振興	支援事業	¥		当部当課		二観光部 二振興課	
9. =	ストの	 推移							<u>,_</u>		1-3-	- 330,000	
		(単位:千円)	平成26年	F 使 (注	上質)	亚。	<b>ポ27年度</b>	(当初予算)		亚月	成28年度	(計画)	
1	報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 130,20		\ <del>J.</del> /	1 /	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1 7	火20十尺	(піш/	
2	 給								$\rightarrow$				
3		1 手 当 等											
4	共	済 費											
5		補償費							-				
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費							$\dashv$				
9	<del></del> 旅								$\dashv$				
10	交	際費											
11	需	用 費			(	)			0				0
	消燃	耗品費											
	食												_
		刷製本費											
	_	熱水費											
	修	善				1							
	期 飼	材 料 費 料 費											_
		薬材料費											-
12	役	務費			(				0				0
		信運搬費											
	広												
	手保								$\rightarrow$				
13	<u>  ^</u> 委	<u> </u>							- +				$\dashv$
14		4及び賃借料											
15		請負費											
16		材 料 費 財産購入費							$\rightarrow$				
17 18		が性							$\dashv$				-
19		補助及び交付金			67				671				671
20	扶	助 費											
21		付 金											
22		填及び賠償金    利子及び割引料							$\rightarrow$				
24		及び出資金											
25	積	立 金											
26	寄	附 金				1							
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金							-				_
20	計	н ж			67				671				671
		庫支出金			(				0				
財	岩県	庫支出金支出金方債の他			(				0				
財源内訳	財漫を	<u>方債</u> の他			(				0				
訳		<u>の</u> 般財源			67				671				671
		計			67				671				671
ż	甫助率	国											
		<b>県</b> 基本額											
			P 3 D		Ψ choe 4	中性学	<b>叶油中型</b>						
十八		<b>補正∙流用</b> ∜ 〕予算		671	十八203	区分区分	財源内訳		名称			金額	
	補正	予算		0					H 1-11			45¢ H3¢	
				_									
				-									
				$\dashv$									
				_			-+				_		=

流用・充用

予算合計

671

合 計

ŀ	1. 基本	情報											
	事務事	業	0107010	203020102	車務車	<b>举</b> 夕	瑞士者	<b></b> と資金利	乙埔給車	华		担当部	商工観光部
	コート	· .	0101010	200020102	T177	*1	[D] -1-3	尺貝亚们	1 11111111 1	*		担当課	商工振興課
	政策4	名	03	活力	ある産業の	のまち	づくり					グループ	商工観光政策G
	施策律	名	02	商工	業の振興							電話番号	45-5111
	基本事業	業名	01	商工	業者に対	する組	E営支援	호				内線番号	2515
	予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
	算	款	07	商工	費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 <sup>4</sup>	F度 S	40 年度~)
	予算科目	項	01	商工	費					MIL	□ 期間限定複数年度	(	~ )
	目	目	02	商工	業振興費					根拠法令·条例等	霧島市商工業資金利子補	前給補助金交付	†規則
	評価区	分		標準評	平価	評価	対象	1次	評価	関連計画			

## 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内商工業者の育成及び商工業の振興を目的に、制度資金の借入者に対し、補助金を交付する。 【対象者】霧島市内に事業所を有し、商工会議所又は商工会に加入かつ市税を完納している商工業者。 【対象資金】商工会議所または商工会を通じて利用した鹿児島県制度資金などが対象。ただし借入期間が1年未満の資金などは対象外。 【補助額】単年度補助。原則的には、毎年1月から12月の借入金額の1%(千円未満切捨)とし、補助額は20万円を上限に交付。 しかし、経済状況を考慮し、平成20年12月10日からは毎年期間限定で規則を変更しながら、暫定的な措置として借入金額の2%補助を実施。補助

額上限は40万円。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
アが補助件数		件	334	332	333	344	351
1							
<del>j</del>							
(2)事務事業の目的							
<ul><li>② 対象 (誰、何を対象にしているのか)</li></ul>	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 <b>度</b> (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市内に事業所を有し商工会議所又は商工会 に加入しかつ市税を完納している商工業者	商工会議所・商工会会員数	名	2,504	2,552	2,557	2,557	2,557
1							
<mark>ゥ</mark>							
<ul><li>④ 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 制度を知って利用する	補助件数/商工会議所·商工会会員数	%	13	13	10	13	14
1							
<mark>ੈਂ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 <b>度</b> (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 商工業者の経営が安定する	制度資金の借入件数	件	334	332	333	344	351
イ 商工業者の経営が安定する	セーフティネット保証制度の認定件数	件	59	16	10	64	66
<del>р</del>							

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

合併前の牧園町において、昭和40年に牧園町商工業振興資金融資規則が制定されており、これと同様の利子補給補助事業が開始され、商工業者への補助が始まった。平成17年の1市6町の合併により、補助率の統一が行われ拡充することとなった。未曾有の不景気により、平成20年12月10日からは、借入金額の2%、補助額上限は40万円と、補助率と額の上限をあげた。借入をして補助を受けた商工業者からは、借入時の負担軽減が図られたとの声が寄せられている。 Ń۵.

А	1000	* #	Ωŧ	<b>推移</b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	<b>*</b> **		,VJT	生物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	61,109	60,321	59,817	48,754	48,754
量		事	業	費			千円	61,109	60,321	59,817	48,754	48,754
_												
l	T '											

## 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

- ·補助対象事業所数…333件 ·補助金総額…59,817千円

多額の債務を抱える商工業者は、本事業を活用することにより実質的に 負担軽減が図られることとなり、軽減された分を事業の運営に回せるなど 、経営の安定化を図る一助となった。

-	事務等		01070	10203020102	事 務 事業名	商工業	資金和	刂子補絲	合事業	担扣	<u>当</u> 部 当 課		観光部 振興課
6.		-	<see></see>	•	7781					15	理由		IX <del>火</del> ix
	-				事業の意図に終	<b>きびついていま</b> す	<sup>-</sup> か?						入しかつ市税を で、商工業者の
				いている					安定する。	3 73 ° (1917)	文化 XH-J	(小川川 りること	(、向工来40)
A		_		に結びついてい									
的記				いていない									
目的妥当性	<u></u>	•この <sup></sup>	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?							の経営支援を行
性	2			て達成する目的	ですか?				がある。また、事 がるため、公共				ある市民の受益
			妥当で										
			見直す	<sup>-</sup> 必要がある 				木車:	業についてけ!	平に 周4	知活動を	行っていろが	本事業のことを
	3	成果か	「向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٧?		知らない		の周知	をさらに	強化することで、	利用促進につ
			向上す	る余地はかなり	ある			-210 01	C*>( //X/X/11/11	///	51507 D1	1/20/00	
			向上す	る余地はある程	度ある								
			向上す	る余地はほとん	どない								
В	4	廃止•	休止の影	/響はありません	か?			すべき	ものであるが、	厳しい	本来商 経営状況	工業者の自助努 Rの中、商工業	ろうにより対応 者にとって本事
B有効性		•	影響が	<b>ある</b>				美の有	無の差異は大	さい。			
性			影響が	ほとんどない									
	⑤	類似の	り目的(対	対象・意図)又は んか?(市以外の	形態(イベントや原)主体が実施する	啓発等)を持つ他	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
		<b>→ / / /</b>		事業はない	) T	7007211007			7 32 7 44 4 3				
				事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似の	 )事業があり、統	ーーーー 合又は連携で	 きる							
	<b>6</b>	-事務事	事業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	を削減できません なできませんか?	か?	規則にできない		を交付	寸するもの	のであるため、事	耳業費の削減は
		*相助3	<sub>E</sub> なこ、文 削減で		、中の貝担を削減	ぱらさませんか?		C G/4 V	·o				
С		_	削減で										
C効率					ナることで、人件者	と (延べ業務時間)	を削減				金の交付	けに係る最低限	の事務であり、
性	7	できませ	とんか?	なや委託により人作				人件費	の削減余地は	無い。			
			削減で	きない									
			削減で	きる									
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				すること	を補助対象の	要件と	している	会議所・商工会が、本市商工業	の総合的育成
公平				公正である		,		の観点	から重要な要作 ていないため、	牛であり	り、会議月	听・商工会に加.	入することは妨
性			見直す	· 必要がある									
7.	1次	評価結	果く	PLAN>(組績	決定)					AND	and the state of		
	•		, T	継続				革改善のフ			売・やりフ	休止	廃止
		务事業の 方向性	の改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	i	統合	冰止	<b>廃止</b>
				○ 	一 〇	- 本工类≠。 <i>σ</i>	国をロナ、	- h +-7	NLUMA	·7 > 1	な田 ナンフラ	印用に出す。図ス	。提出時期、提
						ス間工業有**V. 実に事務事業を				a_c	(大なる/	刊用促進を凶る	。挺山时朔、挺
		戊27年』 の内容	度の改										
(取	り組	むべき	·課題)										
				<del>-</del>	<b>デ</b> ー 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	The Table 150	. 国 / . `	-1.	ON LANGE OF S	· ·	-=1:	OITH (EVIC)	
				尚上会議所、	商工会と連携し	、、商工業者への	周知を	これまで	以上に強化す	ること	じ更なる	村用促進を図る	0.0
			度の方										
[P] <b>(</b> [	王・耶	双組目標	票										
8	2 Yz	評価結	里 /坦	当部長評価)									
												/+ .L	成正
		务事業の 向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	i	統合	休止	廃止
(2)	総	評											

\_\_\_\_

事務コ	事業ード	0107010203020102	事 務 事業名		商工業	資金和	<b>间子補給事</b>			担当部担当課		i工観光部 i工振興課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度 ()	<b>注</b> 質)		平成27年月	<b>並 (当初</b> :	予質)		平成28年度	E (計画)
1	報	<u> </u>	1 /3/20-	T/X (/	<del>八五</del> /		1 19,21 -1	2 (310)	J <del>A</del> /		1 19,20 - 13	(IIII)
2	<del>+V</del> 給	料										
3		員 手 当 等										
4	共	済 費										
5		居補償費										
7 8	賃 報	<u>金</u> 償 費										
9	<del>+k</del> 旅											
10		際費										
11	需	用 費				0			0			0
	_	耗品費				+						
	燃食											
		Ⅰ刷製本費										
	_	, 熱 水 費										
	修											
	賄											
	飼					+						
12		<ul><li>薬材料費</li><li>務費</li></ul>				0			0			0
'-						1						-
	広	告 料										
	手											
	保工					-						
13 14	委	託 料 料及び賃借料										
15		事請負費										
16		材 料 費										
17		財産購入費										
18		開入費			50.01	-			40.754			40.754
19 20	扶	動 費			59,81	<del>' </del>			48,754			48,754
21		付 金										
22		博及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24		及び出資金 立 金				-						
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
	計				59,81				48,754			48,754
	特層	庫支出金 : 支 出 金				0			0	_		
財涯	特定財源					0			0			
財源内訳	源を	の他				0			0			
計		般 財源			59,81				48,754			48,754
		計			59,81	7			48,754			48,754
補	献助率	国県				-						
補	助											
		を ・ 流用 は	大況.		平成26	上度站	定財源内	訳				
. //		可予算		,600	1 75020	区分			名称	ī		金額
	補ュ	E予算	1	,700								
	補」	正第7号	1	,700								
				-								
				-								

当初予算	55,600
補正予算	1,700
補正第7号	1,700
流用・充用	2,517
予算合計	59,817

1 /%20 T /X 19 AL #1 WAF :	· Mr ·	
区分	名称	金額
	合 計	0

1. 基本	情報										
事務事	業	0107010	002020105	主	<b>学夕</b> 電目	自由帝	工会活動支援	車柴		担当部	商工観光部
<b>⊐</b> —	ド	010/010.	03020103	<b>尹</b> 孙尹 2	木口 粉白	四川加-	上云伯勒又16	<b>尹</b> 未		担当課	商工振興課
政策:	名	03	活力	ある産業の	りまちづく	り				グループ	商工観光政策G
施策	名	02	商工	業の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	01	商工	業者に対	する経営ス	支援				内線番号	2515
予	会計	一般	会計					± ₩	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 S	35 年度~)
予算科目	項	01	商工	費				初申	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	02	商工	業振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	なび補助率に関	<b>引する要綱</b>
評価区	7分		標准部	平価	評価対象	象	1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市は霧島市商工会に対し、活動補助金を交付している。 (市の活動)商工会の補助金交付事務 (商工会の活動)会員の商工業者に対し、経営相談や講習会、人材・担い手の育成、特産品の開発等を行っている。 (補助金交付の流れ):申請→交付決定→事業実施→実績報告→補助金支出

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島商工会への補助額		千円	12,183	11,779	11,322	11,322	11,322
1	経営相談件数		件	6,753	6,612	4,339	4,339	4,339
ゥ	講習会実施回数		旦	35	35	30	30	30
(2	?)事務事業の目的							
	<b>対象</b> 惟、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島商工会会員	霧島市商工会の会員数	人	1,296	1,349	1,368	1,368	1,368
1								
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	経営指導員に相談することで経営に関 する知識が深まる	経営指導員等による相談指導件数	件	6,753	6,612	4,339	4,339	4,339
1	商工会が実施する講習会に参加する ことで経営知識が深まる	講習会参加者数/会員数	%	44	31	24	24	24
ゥ								
(3	)上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	商工業者の経営が安定する	制度資金の借入件数	件	334	332	333	344	351
1	商工業者の経営が安定する	セーフティネット保証制度の認定件数	件	59	16	10	64	66
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和35年5月20日に商工会法が施行され、同年9月に横川町、10月に隼人町・福山町、11月に牧園町・霧島町、38年6月に溝辺町商工会が設立され、管内の全てに商工会が設立されており、設立と同時に補助を行ってきている。商工会は平成19年4月1日に溝辺町商工会、横川町商工会、牧園町商工会、霧島町商工会、4人町商工会、福山町商工会の6商工会が合併し、霧島市商工会ととなった

4.	事美	模	の‡	能移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫支	送出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	<b>ナ</b>	<del>,</del>	債	千円	0	0	0	0	0
	費	記	そ			他	千円	0	0	0	0	0
投					源	千円	12,183	11,779	11,322	11,322	11,322	
投入量		事	業	費			千円	12,183	11,779	11,322	11,322	11,322
_												
ı												

### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

霧島市商工会活動補助金11,332千円を支出した。

- ○平成26年度会員数:1,368事業所 ○相談指導件数:4,339件
- ○講習会開催回数:30回

霧島市商工会との連携により、市内商工業者に対し経営支援や講習会の開催、人材・担い手の育成、特産品の開発の促進等を積極的に行い、経営の安定を図った。 また、事業実績報告の収支精算書において、補助金の充当事業と金額について提示を求め、補助金の適正化を図った。

=	事務を	事業 -ド	01070	10203020105	事務事業名	霧島市商	工会活動才	泛援事業		当 当 課		観光部
6		-	SEE>		<b>尹</b> 未也				担	理 由	問工:	振興課
٥.	_				事業の音図に終	古びついていますか		市商工会会員		指導員(		
					事未の心区(これ	BO 20, C0, & 9 7	ルルック	i講習会に参加 ○経営が安定す		で、経営	に関する知識	が深まり、商工
Α				いている	. Z							
目的				」に結びついてい 	'ক		_					
目的妥当性	_			いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	わばならない	<b>かですか?</b>	市は	、商工業の経営	学の安定	デを図るた	めの直接的な	支援ノウハウを
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	有して	おらず、効率も工業者へ総合	悪い。そ	そのため、	市と同様の目	的・公益性を持
			妥当で	ある			は妥当	<b>á</b> である。				
			見直す	必要がある			±	人において欠る	스 +ㅁ글k c	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	についての田々	ではませるとい
	3	成果が	(向上す)	る余地(可能性)	はありませんか	), S	効率的	会において経り りに行うことで相 と思われる。				
			向上す	る余地はかなり	ある		140)/	C.配424 VQ <sub>0</sub>				
			向上す	る余地はある程	度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない							
В	4	廃止•	休止の影	/響はありません	か?		な事業	会の円滑な事業 なが廃止・縮小さ	業運営なれるな	が阻害され ど、会員	れる。廃止・休」 である商工業者	上によって必要 ↑へのサービス
B有効性		-	影響が	ある			低下に	こつながる。				
性			影響が	「ほとんどない								
	<b>⑤</b>	類似の	目的(対	才象・意図) 又はう んか?(市以外の	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他の	事務類は	以事業がある場 )事務事業名等	霧島	商工会議	所活動支援事	業
		サ末は		事業はない	の主体が美胞する	のものを含む。)		市商工会と霧息	島商工会	議所の	根拠法令が違う	うために連携は
		_		事業はあるが、	統合又は連携	できない	できな	V,				
				事業があり、統								
	<b>6</b>	-事務事	業の手段	皮(やり方)を工夫。	することで、事業費	<b>貴を削減できませんか</b>		会は、既に可能				削減に努めて
		・補助金	削減で	付先に働きかけて	、中の負担を削減	<b>載できませんか?</b>	わり、	これ以上の経費	(少則/威	いている	v ' <sub>0</sub>	
C			削減で				-					
C 効率					することで、人件者	貴(延べ業務時間)を削						務を行っている
性	7	できませ	んか?	なや委託により人作			。判断	に必要な資料ル る人件費の削減			こ報告を求めて	おり、事務改
		-	削減で	きない								
			削減で	きる								
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				会においては会				
公平				公正である	TE PRE 10 CO O	. , , , ,	いる。	商工業者は誰で	でも受益	者になり	うるため公平公	正である。
性			見直す	· 必要がある								
7.	1次	評価結	男 く	PLAN>(組織	決定)				Atth As	- 1511-5	- Lab	
			·	継続			での改革改善の		1	を やり方	休止	廃止
		务事業の 方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	糸	充合	<u>м</u> ш	光工
				₩ 世紀年度		動補助金:11,322	<b>∠</b> m					
				平成27年度霧	島市商工会活	動補助金:11,322  動補助金:11,322  -して助言・指導を行	千円(前年と		全をなる	(†1) てお!	n	丁業者の活性
革	り 善く	成27年月 の内容		化が本市の経済	斉浮上の核とな	ると思われることか対する取り組みを進	っ、国・県の					
(取	り組	むべき	課題)	11 0 0 1 10 10 1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
				団の光のマニ	h 十会( 4. つユ - ウ	h++->	てはよりいって	町にわ ーノフ・	. III 3 - 3 -	7 = 1.7 >	フルケットリ	₩2.46.18 FI =
				国の進めるはしていく立場に	也万創生」は、5 ある商工会とは	地域の中小企業の注 、定期的な情報交	古性化か里 換を行い、約	要になってくると R密な連携を図	:思われ りながら	ることから 協力体制	o、それらの企業 引を構築してい	後を指導・助言 く。
		<b>戊28年</b>										
PJ	生•申》	双組目標	₹									
8.	<b>2次</b>	評価結	果(排	当部長評価)								
				継続	1411-4-1-4		_ = 1	V#144	ļ.,	+ ^	休止	廃止
		务事業の 向性	の改革	4FE 496	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	希	充合	NI-TT.	沃止
(2)	総	評										

\_\_\_\_

	事業 一ド	0107010203020105	事 務事業名		霧島市商	[工会活動支援事	業	担当担当		工観光部工振興課
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	E度 (決	2質)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1770=5	1 /2 (%)	<b>(3</b> 1-7	1770=1172	. (= 13 1 3+7		1772-5 172	(11)
2	<del>+k</del>									
3		手当等								
4	共	済 費								
5		補 償 費								
7	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費						_		
8	<del>粒</del> 旅							_		
10	 交							+		
11	需	用 費			0			0		0
		耗 品 費								
	燃									
	食	糧 費刷製本費						_		
		熱水費						+		
	修									
	_	材料費								
	飼									
L		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
	坦広	信運搬費告料								
	手									
	保									
13	委	託 料								
14		及び賃借料								
15		請負費     材料費						_		
16 17		M 科 및 財産購入費						+		
18		,購入費								
19		補助及び交付金			11,322		11	,322		11,322
20	扶	助 費								
21		付 金								
22		填及び賠償金    利子及び割引料						_		
24		及び出資金						_		
25		立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金			11.000			200		11.000
	計国	庫支出金			11,322		- 11	,322		11,322
г,	特県	支出金			0			0		
財源内訳	財地	方 債			0			0		
内記	_	の他			0			0		
D/C	— ;	般 財源			11,322			,322		11,322
		計			11,322		11	,322		11,322
<b>*</b>	甫助率	国県						$\overline{}$		
補	助									
		₹補正・流用も	· 犬況		平成26年	度特定財源内記	5			
	当初	]予算		,322		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				$\blacksquare$						
				$\dashv$						
				$\dashv$						
				_						

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報											
事務事	業	0107010	203020106	主	<b>坐</b> 夕 ∉	<b>恵</b> 白. 戒	打会議所活動	す経事	毕		担当部	商工観光部
	ド	010/010.	203020100	尹/力尹:	***	<b>务</b> 四 印	1.工云哦/川伯男	J 久1反 尹ラ	₹		担当課	商工振興課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり					グループ	商工観光政策G
施策:	名	02	商工	業の振興							電話番号	45-5111
基本事	基本事業名		商工	業者に対	する経常	営支援					内線番号	2515
予	会計	一般	会計					-	नार	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				争	業間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 S	35 年度~)
予 算 科 目	項	01	商工	費				791	[H]	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	02	商工	業振興費				根拠法令	今·条例等	霧島市補助金等の種類及	とび補助率に ほんしょう しょうしん かいかん しょうしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	<b>引する要綱</b>
評価区	公分		標準部	平価	評価が	対象	1次評価	関連	計画			

#### <Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市は霧島商工会議所に対し、活動補助金を交付している。 (市の活動)商工会議所の活動補助金交付事務 (商工会議所の活動)会員の商工業者に対し、経営相談や講習会、人材・担い手の育成、中心市街地活性化等を行っている。 (補助金交付の流れ):申請→交付決定→事業実施→実績報告→補助金支出

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島商工会議所への補助額		千円	6,617	6,397	6,156	7,306	7,306
1	経営相談件数		件	1,970	2,065	1,655	1,655	1,655
ゥ	講習会実施回数		п	21	14	18	18	18
(2	?) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島商工会議所会員	霧島商工会議所の会員数	人	1,208	1,203	1,189	1,189	1,189
1								
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	経営指導員に相談することで経営に関する知識が深まる。	経営指導員等による相談指導件数	件	1,970	2,065	1,655	1,655	1,655
1	商工会議所が実施する講習会に参加 することで経営知識が深まる。	講習会参加者数/会員数	%	32	18	22	22	22
ゥ								
(3	)上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	商工業者の経営が安定する。	制度資金の借入件数	件	334	332	333	344	351
1	商工業者の経営が安定する。	セーフティネット保証制度の認定件数	件	59	16	10	64	66
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和35年5月20日に商工会法が施行になり、 同年8月1日に国分市商工会が設立され、設立 と同時に補助を行ってきている。その後、国分商 工会議所を経て、平成17年11月に霧島商工会 議所となった。

4	車	生典	ω±	<b><u></u> </b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
٠.	चरत	K A	, U) Ţ	比19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般 財		源	千円	6,617	6,397	6,156	7,306	7,306
量		事業費					千円	6,617	6,397	6,156	7,306	7,306

### 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

霧島商工会議所活動補助金6,156千円を交付した。

- ○平成26年度会員数:1,189事業所 ○経営相談件数:1,655回
- ○講習会開催回数:18回

霧島商工会議所との連携により、市内商工業者に対し経営支援や講習会の開催、人材・担い手の育成、中心市街地活性化等を積極的に行い、経営の安定を図った。 また、事業実績報告の収支精算書において、補助金の充当事業と金額について提示を求め、補助金の適正化を図った。

틕	務調		01070	10203020106	事 務 事業名	霧島商工	会議所	活動支援事	業	担当担当			ニ観光 ニ振興	
6.		•	SEE>	<b>&gt;</b>	<b>予</b> 术日					-	理由	旧山山	- 派央	· i. x
	_				事業の意図に終	詰びついています	か?	霧島商工会議 所が実施する			営指導員			
			結びつ	いている				、商工業者の経				、胜口(内)	, OVH	<b>城が                                    </b>
1				りに結びついてい	<b></b> いる									
9			結びつ	いていない										
・妥当生	2			ぜ市が行わなけ		のですか?		市は、商工業有しておらず、	の経営	の安定を	と図るた	めの直接的	な支援	ノウハウ
Ξ.		•祝金	を投入し	で達成する目的 sass	」ですか?			有してわらり、 ち、商工業者へ うことは妥当で	<b>〜総合的</b>					
		_		- める  <sup>-</sup> 必要がある				)CCIA & I CI	χ)'ω <sub>0</sub>					
	<u></u>							商工会議所に	こおいて	て経営相	談や講習	習会について	の周	知活動を
	3)			る余地(可能性)		), ,		らに効率的に行 地はあると思わ		で相談件	数や講	習会参加率	が向上	:していく:
				る余地はかなり										
				る余地はある程										
			同上す	る余地はほとん	どない			商工会議所の	り田滑が	か運営が	旧宝され	1.ろ 廃止・休	: 11-1.7	トって心国
3	4	廃止・	休止の影	ド響はありません	しか?			な事業が廃止・低下につなが	・縮小さ					
			影響カ	<b>、ある</b>				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-0					
_				<b>「ほとんどない</b>										
	⑤	類似の事業は	)目的(対 ありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他の るものを含む。)	の事務	類似事業が 合の事務事業	5る場 第名等	霧島市	商工会	活動支援事業	業	
			類似σ	事業はない				霧島商工会調できない。	養所と霧	霧島市商:	工会の杭	艮拠法令が違	をうため	に連携に
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない		C 3. 6						
			類似σ	)事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	■業の手具 など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません; 或できませんか?	か?	商工会議所はめており、これに					ハ経費	削減に努
		-		きない										
C M			削減で	:: :きる										
20率生	(7)	□ 削減		没(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	·削減	本事業は、補。判断に必要な						
±	W.	-職員以	人外の対応	むや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		務改善による人					.,,,,	. 40 / 1
				きない										
			削減で		· * - =	±11.1.0		商工会議所に	- 4 XI \-	ては公昌	ふと 会選	男子:/#4·1171 ==	を表の	海岸に大
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が				てているが、入っている。商工	会促進	のために	非会員	にもサービス	スの提付	供をおこた
公平生			公平・	公正である				ン (4. の )   四工	· 大口 19	VIE СОХ	. III. 10 (C	· & ) / SIC · / .	4   4	.IL (8)-0
Ι			見直す	必要がある										
	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	<b>战决</b> 定)	【参考】前4	年度の改革	革改善の方向性≪		継続	やり方	改善	>	
1)	<b>事</b> 務	条事業の	かみ革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連	携	統	 合	休止		廃止
		方向性		0	0									
				平成26年度網	    霧島商工会議所	  活動補助金:6,1		/						_
2)	平山	₺27年ほ	隻の改	商工業者に対	けし、専門機関と	「活動補助金:6,7 として助言・指導を	行って	いただいている	ため市	として補	助金をろ	文付しており、	今後	益々商工
Ēά	女善(	の内容 むべき				孚上の核となると思った商工業者の打					<i>い</i> たり、そ	の制度向知	を図る	パよど 協力
48	Э МЦ.	ع. ب	IA KZ											
				国の進める「は	也方創生」は、は	也域の中小企業の	つ活性化	どが重要になって	てくると	思われる	ことから	、それらの企	:業を打	旨導・助言
				していく立場に	ある商工会議所	近とは、定期的な だとは、定期的な だ。	青報交担	ぬを行うない、絹	常密な通	直携を図り	)ながら†	易力体制を構 を は の は の は の は の は の は の は の は の は の は	<b>毒築し</b> つ	ていく。
3) 1性	平成 生•取	找28年♬ ₹組目標	度の方											
	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
1)	事務	8事業の	おおの	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連	携	統	合	休止		廃止
		向性								1,70				
					l					1			_1	
2)	総	評												

事務コ	条事業 一ド	0107010203020106	事 務 事業名		霧島商工	会議所活動支援	事業	担当担当		工観光部工振興課
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	医度 (対	+質)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	<u>、一二:17)</u> 酬	1 /2020	12 (1)	· (3F)	1 /2/21 1/3	. (4)		1 /2/20 1 /2	(пт ш /
2	 給							-+		
3		手 当 等								
4	共	済 費								
5		イ イ グ サ								
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
9	旅							+		
10										
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃食							_		
		程 <u>算</u> 刷製本費								
		熱水費								
	修	繕 料								
		材料費								
	飼	料費								
12	医 役	薬材料費 務 費			0			0		0
'*	_									
	広									
	手	数料								
	保									
13		託 料						_		
14 15		科及び賃借料 請 負 費						-+		
16		<del>「                                    </del>								
17		財産購入費								
18		購入費								
19		補助及び交付金			6,156		7	,306		7,306
20 21	扶	助費								
22		付 金 填及び賠償金						+		
23		利子及び割引料						-		
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	- 寄	附金								
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金						_		
20	計	11 NF			6,156		7	,306		7,306
		庫支出金			C			0		
財	岸県	支出金			C			0		
財源内訳	特定財源 国県地 そ	方 の 他			0			0		
訳	,	<u>の</u> 他 般財源			6,156		7	,306		7,306
		計			6,156			,306		7,306
,	甫助率	国								,
		県								
		基本額								
平成		【補正·流用も			平成26年	度特定財源内部	₹	カ tL		A +T
	当初	]予算  予算	6,	156 0		区分		名称		金額
	11 田介	- J´ <del>ガ</del>								
				$\dashv$						
				$\dashv$						
			1							

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報										
事務事	業	0107010	202020201	主	<b>坐夕</b> 巾	1.V.#	街地活性化事	紫/帝丁振師	津 /	担当部	商工観光部
	ド	010/010.	203020201	事 (力) 事 :	*10  T	- 10,111		未(间上1)处共	(木)	担当課	商工振興課
政策	名	03	活力	ある産業の	りまちづ	くり				グループ	商工観光政策G
施策	名	02	商工	業の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	02	買い	物のしやっ	ナい環境	きの確何	呆			内線番号	2515
子	会計	一般	会計					= **	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				事業 期間	□ 単年度繰返 (開始 <sup>4</sup>	F度 H	13 年度~)
予算科目	項	01	商工	費				25) [F]	■ 期間限定複数年度	(	~ 26年度)
目	目	02	商工	業振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	とび補助率に 関	<b>引する要綱</b>
評価区	7分		簡易語	平価	評価対	计象	1次評価	関連計画			

### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

<市の活動>中心市街地活性化のために霧島商工会議所が実施するタウンマネージメント事業について補助を行う。 <商工会議所の活動>

- < 岡上芸蔵所の店動> ・複合商業施設整備事業・・・国分パークプラザの施設運営を行い拠点地区の魅力向上を目指す。 ・タウン誌事業・・・中心市街地の情報、TMO活動等の紹介を情報誌に掲載し、配布やホームページを利用し情報発信を行う。 ・空き店舗対策事業・・・中心市街地の空き店舗増加の抑制のため、不足業種の誘致及び支援を行い、空き店舗を埋め、商店街の活性化を目指す
- 。 ・商業カレッジ事業…中心市街地の商業活性化への基礎を固めるために個店強化、競争力強化を図る。 ・商店街イベント事業…商店街組織である通り会等が、商店街活性化のために実施するイベント等に補助を行う。

Œ	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	空き店舗入居への補助申請件数		件	5	5	6	6	6
1	タウン誌発行部数		部/年	8,500	7,200	7,000	7,000	7,000
ゥ	ソーシャルメディア活用講座の開催		回/年	5	3	0	0	0
(2	2) 事務事業の目的							
	<b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	<b>24年度</b> (実績)	25年 <b>度</b> (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	市民	人口	人	127,475	127,283	126,773		
1	中心市街地の空き店舗	中心市街地の空き店舗への申請 件数	店	5	5	6		
ゥ								
	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	<ul><li>⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	買物や街に来やすい環境を整備する	月の第4日曜・月曜日の数値合計	人/日	6,059	6,490	3,631		
1	入居の促進をはかる	空き店舗への補助件数	件	4	4	6		
ゥ								
(3	B)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 とらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	商店街・通り回が賑わう	空き店舗率	%	17	19	21		
1	環境が整い買いものがしやすくなる	大規模小売店舗の売場面積	m²	135,490	136,936	138,345		
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成11年3月に策定した中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり機運の醸成と中心市街地活性化事業の円滑な推進のため、TM Oが設立された。TMOが活性化のための事業を実施するにあたり、事業に対し補助を行うものである。補助金交付は平成13年度から行っている。

る。 平成26年度については、建設部へのまちづくり 調整監配置に伴い、中心市街地活性化事業を 新たに立ち上げ、その中でタウンマネージメント 事業補助金として補助金交付を行って行くもの

4	車	生物	m±	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Τ.	-		,001	E1>			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入 量			_	般	財	源	千円	2,099	2,029	1,962	0	0
量		哥	業	費			千円	2,099	2,029	1,962	0	0

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

霧島商工会議所が実施する、タウンマネージメント事業に対し、補助金 1,962千円を交付した。 【事業実績】

・ 学のンま発行部数…7,000部 ・ 中心市街地の空き店舗への家賃補助件数…申請6件、合格6件

左記の取組を実施したことにより、商店街・通り会に賑わいが創出される とともに、買い物がしやすい環境が整備できた。

事	事務事業 コード	01070	10203020201	事 務事業名	中心市街地	活性化事業	(商工振興課)			見光部 長興課
6.	振り返り <	SEE>	•					理	由	
	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に網	吉びついています	たか?				
		結びつ	いている							
台		間接的	に結びついてに	<u> </u>						
的			いていない							
A目的妥当性	② :この事	業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	Dですか?					
111	一九亚也	妥当で	て達成する目的	ラですか?		_				
			<i>∞。</i>  ·必要がある							
	_			\						
		_		) はありませんか 	N. ?	_				
			る余地はかなり			_				
			る余地はある私							
			る余地はほとん			_				
B	④ 廃止・作	*止の影	/響はありません	<b>んか?</b>						
B有効性		影響が	ある							
1			ほとんどない							
	⑤ 類似の	目的(対 ありませ	†象・意図) 又は ∙んか?(市以外・	形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他 らものを含む。)	の事務 類合	似事業がある場 の事務事業名等			
		類似の	事業はない							
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない					
		類似の	事業があり、紡	i合又は連携で	きる					
	⑥ ·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?				
		削減で								
င္ဟ		削減で	きる							
C効率性	・事務事 ⑦ できませ	業の手段	设(やり方)を工夫	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減				
19	・職員以	外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?					
		削減で	きない							
	<b>事</b> 独市	削減で		++1-15	+11/40					
D 公	8 事務事また、受	素の内容	石が一部の受益 担の公平性が	き者に偏っている 確保されていま	すか?					
D公平性		公平・公	公正である							
		見直す	必要がある							
7.	1次評価結	果 < F	PLAN>(組制	(決定)	【参考】前	年度の改革改善	0方向性≪ 継	続・やり方改	善・コスト縮小	>
(1)	事務事業 <i>σ</i>	)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	きの方向性									
				1				<u> </u>		
(2)	平成27年度	その改 しゅうしゅう								
革引	女善の内容 り組むべき									
,	TT	- C -								
(3)	平成28年度 生・取組目標	の万								
8. :	2次評価結	果(担	当部長評価)							
(1)	事務事業 <i>σ</i>	)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
改割	善方向性									
									<u> </u>	
	to									
	V//\ =\tilde{\pi}									
(2)	総評									

事務	事業 -ド	0107010203020201	事 務 事業名	中	心市街地活	性化事業(商工	振興課)		当部出当課		□観光部 □振興課
9. ⊐2	ストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年	E度 (法	<b>(道</b> )	平成27年度	(当初予算)	)	平月	成28年度	(計画)
1	報	酬	1774==		1317	1772	(			7 1.2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	<del>拉</del> 給										
		手当等									
	共	済 費									
	<u>災</u>	デ補 償 費 金									
	<u>貝</u> 報	<u></u>									
	<u>版</u> 旅	<del></del>									
10	交	際費									
11	需	用 費			0			0			0
	燃燃	耗品費料費									
	食										
	印	刷製本費									
	_	熱水費									
	修										
	飼	料費									
	医	薬材料費									
12	役	務 費			0			0			0
		信運搬費									
	広手	<u></u> 告 料 数 料									
	保										
13	委	託 料									
		4及び賃借料									
		<ul><li>請負費</li><li>材料費</li></ul>									
		材 料 費 財産購入費									
		, 購入費									
		補助及び交付金			1,962			0			
	扶	助費									
	貸端偿摊	付 金 填及び賠償金									
		利子及び割引料									
24	投資	及び出資金									
	積	立 金									
-	寄	附   金     課   費									
	<u>公</u> 繰	<u>辞 貸</u> 出 金									
	計				1,962			0			0
4	寺 国	庫支出金			0			0			
財富	特定財原	支出金			0			0			
財源内訳	順を	方 の 他			0			0			
訳	_ `	般 財源			1,962			0			
		計			1,962			0			0
補	助率	国									
		<b>県</b> 基本額									
		<del>蓙 卒 좮</del> 【補正・流用も	P:0		亚中华	<mark></mark>	,				
┰⋏Ҳ∠		]予算 ]		,962	十八人〇千	区分 区分	`	名称			金額
		予算	-	0							
						+				_	
						+				+	
	流用	<ul><li>充用</li></ul>									

予算合計

1. 基本	情報										
事務事	業	0107010	103020201	車	<b>学</b> 夕	を 色 と	ふるさと祭実行委員	○ 注動 寸 ½	至車業	担当部	商工観光部
	ド	0101010	100020201	Ŧ17Ŧ:	*10   3:	穷四つ	いるこの大口女具	4五旧勤人1	女 尹 术	担当課	商工振興課
政策	名	03	活力	ある産業の	のまちぐ	ざくり				グループ	商工観光政策G
施策	名	02	商工	業の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	02	買い	物のしや	すい環境	竟の確	保			内線番号	2512
予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	手度 H	19 年度~)
予算科目	項	01	商工	費				261111	□ 期間限定複数年度		~ )
目	目	01	商工	総務費				根拠法令·条例等	務島巾側の金父竹規則、 に関する更綱	務島巾佣助金	寺の種類及び補助学
評価区	☑分		標準部	F価	評価対	付象	1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 〒30年末70歳ま(共作的ま、90、子順、計画に出版) 霧島ふるさと祭実行委員会に霧島ふるさと祭の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 会場はシ ビックセンターお祭広場で入場は無料。 (同実行委員会の活動)実行委員会の開催、霧島ふるさと祭の実施 ※同実行委員会は、商店街の活性化と住民の連帯感を得ることを目的に開催される霧島ふるさと祭の運営を行う団体。特産品協会が事務局で霧 島市商工会・霧島商工会議所や市内事業者を会員として運営されている。 開催日は毎年11月の第2土・日

ı									
Ī	<u> </u>	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
L	<u> </u>	<b>加到旧</b> 株(新扬事系》/伯勒里/		丰匠	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
	ア	出展者数		店舗	79	69	55	60	60
I	1								
I	ゥ								
ľ	(2	2) 事務事業の目的							
I	2	対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ı	(	誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	甲亚	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
	ア	事業者	霧島商工会議所·霧島市商工会加入者数	人	2,504	2,552	2,557	2,557	2,557
I	1								

					l				
I	ゥ								
I	4	意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ı	((	②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	中位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
I	ア	自社及び自分の店で製造・販売している特産品や工業製品を市民に販売・PRできる。	特産品や工業製品を市民に販売・PRできた 業者の数(出展者数)	店舗	79	69	55	60	60
I	1								
I	Ь								

ı	( )	り、上世の基本事業							
I	6	基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ı	(8	さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	半世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
	ア	商店街・通り会が賑わう。	空き店舗率	%	17.3	19.3	21.4	15.0	14.5
	1	環境が整い買い物がしやすくなる	大規模小売店の売り場面積	m²	135,490	136,936	138,345	140,000	140,000
I	ゥ	環境が整い買い物がしやすくなる	市民意識調査(買い物のしやすさ、回遊性)	%	68.8	62.8		67.0	68.0

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成17年11月の市町村合併で誕生した霧島 市の市民の一体感を高めることを目的に、平成 19年に商工会議所・商工会を中心とした実行委 員会により開始された。市は平成19年度より同 実行委員会の運営及び活動に要する経費の支 総を開始した。平成20年度の実行委員会で、 隔年で実施することとしていたが、商店街の活 性化等が見込めることから毎年開催を目指す。

												$\overline{}$
4.	事	<b>集費</b>	o į	隹移			単位	24年度 (決算)	<b>25年度</b> (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫 支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	方		債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	の		他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	3,325	3,325	3,207	3,500	3,207
投入量		事	業	費			千円	3,325	3,325	3,207	3,500	3,207
				•						_		_

### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

### (2)平成26年度の成果

地元産業と市民との交流・連携の場として、市内産業等の振興をも奥的 として霧島ふるさと祭を開催。 出展者の販売、市民等の参加によるステージイベント、姉妹都市等特産 品販売(海津市・雲仙市) 【出展者】 55店舗

霧島ふるさと祭実行委員会(事務局:特産品協会、霧島市商工会・霧島商工会議所や市内事業者を会員として運営)による商店街の活性化等を目指し開催。イベント等工夫をこらし祭が盛り上がるように努めた結果、来 場者からも好評であった。。

-	F務: コー	事業 <del>-</del> ド	01070	10103020201	事務事業名	霧島ふるさと		「委員会 業	<b>除活動支援</b> 事	担当部担当部		観光部 振興課
6.	振り	返り <	SEE>	•						理 日		MAD CHAIN
	_				事業の意図に終	詰びついています	ナか?			ド自分の店で集	と造・販売している により、商店街等	
			終すぶつ	いている					街・通り会が賑			*(C1)11C()-B))4 C
A				ででいる に結びついてし				1				
目的妥当性				いていない				1				
<b>妥</b> 当				ぜ市が行わなけ	わばならないの	Dですか?		市は	、霧島ふるさと	奈実行委員会(	の構成団体等と	重携し商店街の
性	(2)			て達成する目的		., ., ., .					の活性化を図る。 会が賑わうので妥	
			妥当で	:ある 				1				
			見直す	必要がある					# 1 D1 #1 m III		4) 4n 2 /n 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	41 - 43 Haalle
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ	٥, ١		者を増	やし霧島市の1		参加を促すなど らの参加が有るこ	
			向上す	る余地はかなり	lある			上宋地	!がある。			
			向上す	る余地はある程	建度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない			1				
R	4	廃止・(	木止の景	/響はありません	<b>か?</b>						なり、事業者が1 場がなくなるととも	
B有効性		_	影響が	 ぶある							会の賑わいもなく	
性		_		 「ほとんどない				1				
	(E)				形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場	各種農業祭	₩.	
	5	事業は	ありませ	んか?(市以外(				合の	事務事業名等		<del></del>	
				事業はない		-1.1.		- H ED	が異なるので紛	rucan.		
				事業はあるが、				-				
		- ***		事業があり、統			4, 0	心更	島低限の事業	豊で運営1 ても	らり削減できる余	地はたりがい
	6	・補助金	業の手段 など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	אמע:?	必安	収囚収の事業	貝(座占して	3万円級 くらの示	地は少ない。
			削減で	きない								
C 効 率			削減で	きる								
率性	(7)	<ul><li>事務事できませ</li></ul>	業の手見	役(やり方)を工夫で	することで、人件費	費(延べ業務時間)	を削減	補助お	よび補助金の	、実行委員会の 交付に係る最低	のオブザーバー 氐限な事務であり	、当日の運営の )、人件費の削
-				なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		減余地	はない。			
				きない 				-				
_	_	車	削減で	<sub>さる</sub> <mark>容が一部の受益</mark>	*老に使ってい	±++4.10.2		霧鳥	ふろさと祭け 雪		者及び全市民を	対象とした催し
D 公	8			担の公平性が							を交付すること ですることは催しの	
公平性			公平・岔	公正である				わない				
			見直す	必要がある								
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組制</th><th><b>快定</b>)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善の</th><th>方向性≪ 継</th><th>続・やり方改き</th><th>・コスト縮小</th><th><b>&gt;</b></th></f<>	PLAN>(組制	<b>快定</b> )	【参考】前	年度の改	革改善の	方向性≪ 継	続・やり方改き	・コスト縮小	<b>&gt;</b>
(1)	車系	多事業(	カ北茶	継続	やり方改善	コスト拡充	721	~縮小	連携	統合	休止	廃止
		方向性		0	0			714 3	~=103	190 🖂		
				多くの業者に参	L ≩加してもらうこと	    とが望ましいと考					▲ 欲がでると思われ	┃ hるので、来場
(2)	\ \17 =	戊27年月	⊭∧ઋ	者(市民)に出り	吉業者のPR等を	をして商店街など	で活性	化に繋	がるような策も行	īð.		
革	女善	の内容										
( <b>4X</b>	り組	むべき	<b></b>									
				同時期に行わ	カナいるイベン	トとの同時開催・	市権空/	カナナナ	·	が出め十分なが	テい帝庁先わびの	バチャイルリア車をぶ
						きふるさと祭のあ				<b>生培です寺</b> を1	J V '倒/占/は/なく V	ハロ1±1口に茶 <i>い</i> ・
		成28年月										
IPJ 1.	±-д	双組目標	7									
8	2 /b	評価結	里 (年	当部長評価)								
				継続							H, L	
		务事業の 向性	の改革	和企 形冗	やり方改善	コスト拡充	그자	縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)	総	証										
(2)	il4C)	μī										

事剂	多事業ード	0107010103020201	事務事業名	霧島	ふるさと祭	実行委員会活動	支援事業	担当担当		工観光部
9. =	コストの	推移						1	- HAIN	- 32()(12)(
		(単位:千円)	平成26年	度 (注	.質)	亚成27年度	ξ (当初予算)	)	平成28年度	(計画)
1	報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 75.20		<del>, 71-</del> /	1 1%21 +13	( 1 10 1 31 )		1 15,20 + 15	(11111)
2	<u>和</u> 給									
3		 負 手 当 等								
4	共	済 費								
5		F 補 償 費								
8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
9	<del></del> 旅	<sub>良</sub> 費								
10										
11	需	用 費			0			0		0
	_	耗品費								
	燃食							_		
		刷製本費								
		熱水費								
	修									
		材料費								
	飼医	料 費 薬材料費						_		
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手									
13	保 委	<u>険料</u> 託料								
14		<u></u>								
15	工事	事請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		場 入 費 補助及び交付金			3,207			3,500		3,207
20	扶	助費			0,201			,,000		- 0,201
21	貸	付 金								
22		填及び賠償金								
23		<sup>利子及び割引料</sup> 及び出資金								
25	積	<u> </u>								
26	寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金			9.007			F00		0.005
	計 国	庫支出金			3,207		ì	3,500 0		3,207
타		支出金			0			0		
源	財地	方 債			0			0		
財源内訳	_	**			0			0		
ш, с	_ :	般 計			3,207			3,500		3,207
		国			3,207			3,500		3,207
*	補助率	県								
補	助	基本額								
平成		₹補正•流用₺			平成26年	度特定財源内記	R			_
	当初	]予算   - ス質	3,	207		区分		名称		金額
	作出	予算		0						
				$\dashv$						
				_						
				$\dashv$						
			1							

流用・充用 予算合計

1. 基本	情報										
事務事	業	0107010	102020202	<b>車</b>	<b>坐</b> 夕	息色压	分夏まつり実行	<b>永昌今江勳</b>	<b>- 本本本</b>	担当部	商工観光部
<b>⊐</b> −l	ド	0107010	103020202	事 (力 事 :	木口   形	<b>务</b> 田 凸	1万及よ 29天门	女貝云伯勒。	又1次 学 禾	担当課	商工振興課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	ざくり				グループ	商工観光政策G
施策:	名	02	商工	業の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	02	買い	物のしや	すい環境	竟の確	保			内線番号	2511
予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ		
予算科目	款	07	商工	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>组</sup>	F度 S	42 年度~)
科	項	01	商工	費				79][F]	□ 期間限定複数年度		~ )
目	目	01	商工	総務費				根拠法令·条例等	務島巾側の金父竹規則、 に関する更綱	務島巾佣助金	等の種類及び補助率
1111年11日	7分		煙淮彭	正価	証価 🌣	け多	1次評価	朗連計画			

### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市国分夏まつり実行委員会に霧島市国分夏まつりの活動補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 (同実行委員会の活動)実行委員会の開催、まつり(神輿競争・市民総踊り・市中パレード等)の実施 ※同実行委員会は、商店街の活性化と地域住民の福祉を目的に開催される霧島市国分夏まつりの運営を行う団体。商工会議所や市内事業者を会員として運営されている。 会員として運営されている。 く関連計画>霧島市観光基本計画 実行委員会開催日:4~7月(5回開催)事務所開き:5月 決起大会:7月 祭開催日:毎年7月の海の日(第3月曜日)前後の土曜日・日曜日

ി	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	まつりに参加した踊り連の団体数		団体	93	91	90	90	90
1	神輿競争への参加者数		人	1,644	1,507	1,534	1,534	1,534
ゥ								
(2	?)事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	市民	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
1	事業者	商工会議所会員数	人	1,208	1,203	1,189	1,189	1,189
ゥ								
4	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	総踊り、神輿競争への参加、まつりの 見物、事業者のPRができる。	まつりの来場者数	万人	11	11	11	11	11
1	総踊り、神輿競争への参加、まつりの 見物、事業者のPRができる。	まつりの来場者数	万人	11	11	11	11	11
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	商店街・通り会が賑わう。	空き店舗率	%	17.3	19.3	21.4	15.0	14.5
1	商店街・通り会が賑わう	大規模小売店の売り場面積	m²	135,490	136,936	138,345	140,000	140,000
ゥ	商店街・通り会が賑わう	市民意識調査(買い物のしやすさ、回遊性)	%	68.8	62.8	61.4	67.0	68.0
_								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等 活改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

昭和42年度に旧国分市の人坂通り商店街の「 お祇園さあ」のお祭りが派生して、夏の風物詩と して現在まで霧島商工会議所が商店街の活性 化地域住民の福祉を図る目的で開始した事業。

4.	事	<b>类費</b>	<b>の</b>	<b>推移</b>			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			国	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	ち し	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	9,224	8,918	10,000	10,000	8,918
投入量		剚	業	費			千円	9,224	8,918	10,000	10,000	8,918

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

霧島商工会議所青年部を主とする実行委員会を立ち上げ、地元企業、 行政、学校、多くの有志ボランティアの協力のもと運営。 支出に関しては個社毎に交渉し支出額の削減に努める。

【総踊り】参加団体数:90団体 参加者数:約6,000人 【御輿】 参加者数:1,534人 【来場者】 延べ11万人超

霧島市の夏の最大イベントとして「霧島国分夏まつり」を実施。第50回の節目を迎え歴史を振り返るイベントを行ったり、市民総参加型の祭を目指し開催し、事業者の活性化および地域住民の福祉が図られた。

-	事務 事		01070	10103020202	事務事業名	霧島国分夏	まつり実 事		会活動支援	担当部		<u>観光部</u> 振興課		
6.			<see></see>	<b>•</b>	7-7/- 1					理 [		灰光味		
0.	(1) この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか?							や事業者が総設 Rができることで	踊り、神輿競争	へ参加し、まつり	)の見物、事業			
							49 (7) [1	1111 (9000)	、何心街で埋り	云かり取4フノ。				
A目的妥当性			結びついている 間接的に結びついている											
			簡接的に結びついている											
				なぜ市が行わなければならないのですか?					商工会議所・商	i店街等と連携	し商店街の活性	 化を図る必要		
	(2)	・税金	を投入し	入して達成する目的ですか?					まつりを開催する		い市街地や通り会	た、延いては霧		
			妥当で											
		□ 見直す必要がある						h	の進歴また	でいて見見せる	NOW-THE L	b アナナ塚と		
	3	成果が	が向上す	ける余地(可能性)はありませんか?					まつりの準備を行っている風景をSNS等で配信したり、工夫を凝らした物品の販売、その他工夫を凝らしたイベント等を企画することで、参加者や見物客が増える余地がある。					
			向上す	る余地はかなり	ある			、参加·	有で兄物各かり	官人の示地が	ා <sub>ට</sub> ු			
			向上す	る余地はある程	建度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止•	・休止の影響はありませんか?						補助金を廃止すれば、まつりが実施できなくなり、会場である歴史 の古い地元商店街や通り会の活性化が図れなくなる。					
B有効性		_	影響が											
性			- W - W - W - W - W - W - W - W - W - W											
	(5)			村象・意図)又は			の事務		事業がある場					
	9			たんか?(市以外の	の主体が実施する	るものを含む。)		合の	事務事業名等					
				事業はない	<i>**</i>									
				事業はあるが、										
	0	- 車		)事業があり、統 <mark>设(やり方)を工夫で</mark>			(.h) ?	地元	企業の景気が	もくなれば協者	・ 金の額も増え事	業費の削減は		
	6	•補助金	金など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	載できませんか?	0/3* .		あると考える。			2102		
			削減で	<b>ごきない</b>										
C効率:			削減で							14-14-14-1	III. Kall Kill	)		
率性	7	できませ	事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減せんか?						の事務としては の削減余地は		付に係る最低限	な事務であり、		
		・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか?												
			削減で	きない ***										
-				さる 容が一部の受益者に偏っていませんか?					には自助で開作	崖している夏ま	つりも多数存在し	ているが、霧		
D 公	8)			各が一部の受益者に帰っていませんが?					夏まつりは、霧 員会へ補助金	島市全市民をを交付すること	対象としたまつりは公平・公正で	)であるので、同 あると思われる		
公平性			公平•	公正である				0						
_	□ 見直す必要がある													
7.	1次	評価紀	課 <	PLAN>(組織	<b>快</b> 定)	【参考】前	年度の改	革改善の	方向性≪ 継	続・やり方改き	・コスト縮小	<b>»</b>		
(1)	<b>事</b> 彩	を 車 業	事業の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	統合	休止	廃止		
		事務争業の政		0	0				12.00					
					_	 ことから、イベン			 を検討し祭が更	<u>┃</u> 【に盛り上がる』	」 にう協議を行う。			
(2)	)平成27年度の改													
革	女善(	+ 放2/不長の改善の内容 善の内容  組むべき課題)												
(дх	り和	ر ۱۰ ک	* 体码/											
				宝行委員会及	が有志ボラン	ティアのもとに祭	が更にほ	茎り トが	ろよう協議を行	っていく また	引き続き事業費	の削減策につ		
	実行委員会及び有志ボランティアのもとに祭が更に いても検討する。						. 7 (-1	m. /	257 MARK C 11	> C	TICINEC TAS	(*>  1  000  (10-3		
		뷫28年♪ ス組目ホ	度の方											
11-3 1	I 4X	(小丘 口 1)	<b>不</b>											
8.	2次	評価紀	果(排	当部長評価)										
				継続	1611-4			(rb. 1	N== 175	A.L. A.	休止	廃止		
	事務事業の改選 手方向性		の改革	ጥድ ሳንር	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	NAT	元正		
												<u> </u>		
(2)	総	評												
-				1										

事務事第コード	0107010103020202	事務事業名	霧島国	]分夏まつり	リ実行委員会活	<b>動支援事業</b>	担当担当		C観光部 C振興課
9. コスト	の推移								
	(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年	度 (当初予算	)	平成28年度	(計画)
1 報									
2 給	料								
	員手当等								
4 共	済費								
5 災 7 賃	害補償費金								
8 報	<u></u> 償 費								
9 旅									
10 交	際費								
11 需	用 費			0			0		0
	消耗品費								
. ⊢	燃   料   費     食   糧   費								
. ⊢	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
I ⊦	賄 材 料 費								
	飼料費								
12 役	医薬材料費 務 費			0					0
				0			0		0
	広 告 料								
	手 数 料								
	保 険 料								
13 委	託 料								
	用料及び賃借料								
15 工 16 原	事 請 負 費 材 料 費								
	品購入費								
	2金補助及び交付金			10,000		1	0,000		8,918
20 扶	助費								
	賞補填及び賠償金 								
	資及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄	附 金								
27 公	課費								
28 繰計	出 金			10,000		1	0,000		8,918
	国庫支出金			10,000		1	0,000		0,918
拉	県支出金			0			0		
源 財	地 方 債			0			0		
財源内訳	そ の 他			0		-	0		
	般 財源			10,000			0,000		8,918
	計			10,000		11	0,000		8,918
補助	率 国 県						-+		
補助									
	F度補正·流用∜			平成26年	度特定財源内				
놸	<b>á初予算</b>	10,0	000		区分		名称		金額
補	正予算		0						
			$\dashv$			-			
			_						

流用・充用 予算合計

1. 基2	<b>卜情報</b>																			
事務	事業	0107010	203020205	主	坐夕	住宅11	フナー	ム支援事業							担当	部	商工	.観光部	5	
□-	-ド	0107010	203020203	+ /力+:	*1	圧七岁		ムス1及事末	•						担当記			[振興課		
政領	名	03	活力	ある産業の	のまち	づくり									グルー	プ	問 建 強	.観光以 .指道G	東G	
施領	名	02	商工	業の振興										1	電話番		45-5			
基本引	業名	02	買い	物のしや	すい環	境の確	保							-	内線番	:号	2511	1.2842		
予	会計	一般	会計						± **		単年	∓度の	み							
算	款	07	商工	費					事業 期間		単年	F度繰	返(開	始年月	ŧ					
予算科目	項	01	商工	費					7971日1		期間	間限定	複数年	F度(	H2	5	~	H26	)	
H	目	02	商工	業振興費					根拠法令·条例等	霧島	市住	宅リフ	オーノ	支援	事業補助	り金2	交付要	更綱		
評価	区分		簡易評	平価	評価	対象	1	次評価	関連計画											

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

建築資材の流通活用などによる地元経済の活性化及び、良好な住環境の整備を図るため、市内業者を利用して住宅のリフォーム工事(環境負荷の低減及び廃屋化の防止を目的とした長寿命化、省エネ化、バリアフリー化)を行う市民に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。 【事業実施期間】平成25年4月1日~平成27年3月31日 【補助対象住宅【1)個人住宅・併用住宅 【補助金の額】(1)長寿命化(個人住宅・空家住宅):助成対象経費の20%(上限20万円)(2)(1)に合わせて、省エネ化、バリアフリー化:助成対象経費の10%を加算(それぞれ上限10万円・2つとも該当する場合、合わせて上限10万円)※いずれも1回限り(3)リフォーム工事瑕疵担保任意保険に加入された方に対し、一律2万円の補助

a	) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	霧島市住宅リフォーム支援事業に係る	登録施工業者	事業所	***	144	158	***	***
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
2	対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(	誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	中位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市内の建築業者	リフォーム工事の受注業者(登録 施工業者)	事業所	***	74	69	***	***
1								
ゥ								
$\overline{}$	· .		1					

l	<mark>ゥ</mark>							
I	④ 意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
l	(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	丰区	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
I	アリフォームの工事の受注が増える	補助金申請者数	件	***	314	264	***	***
I	1							
I	<del>'</del>							

上位の基本事業

"	// エロツ坐や手木							
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	商工業者の経営が安定する	制度資金の借入件数(利子補給)	件	***	332	333	***	
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

長引く景気の低迷の煽りを受け、市内の建築業者の経営状況は厳しい傾向にある。そこで建築資材の流通活用などによる地元経済の活性化及び、良好な住環境の整備を図るために企画された。

画された。 議会より地域経済の活性化及び、良好な住環境の整備を図るために本事業の実施の要望が あった。

1	nte d	* 曲	on t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	,V) 1	<b>进刊</b> 罗			半位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	睁	千円	0	22,000	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	28,788	50,211	0	0
量			業	費			千円	0	50,788	50,211	0	0
_												

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

市内業者を利用して住宅のリフォーム工事を行う市民に対し、予算の範囲内において補助金を交付 【予算額】50,000千円 【申請者】289名 【決定者】264名 【総事業費】314,394,617円 【市内消費率】92.5%

建築資材の流通活用などによる地元経済の活性化及び、良好な住環境の整備を図るため、市内業者を利用して住宅のリフォーム工事を行う市民に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。その結果、老朽住宅の長寿命化や安心・安全に生活できる住環境が整備されたとともに、直接的な事業効果だけでも、補助金に対し6倍以上の事業費が使用されており、経済効果があったものと考える。

哥	事務事業コード	01070	10203020205	事務事業名	住宅!	ノフォー	ム支援	事業	担担	当当	部 課	商工観 商工振	
6.	振り返り	<see></see>								理	由		
	① この	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	<sup>-</sup> か?							
A			いている	_									
A目的妥当性			に結びついてし	る 									
妥当			いていない  ぜ市が行わなけ	 ・ればならないの	 Dですか?								
性	- 税金	を投入し	て達成する目的	ですか?									
		妥当で  見直す	である  - - - - - - - - - - - - - - -										
	_		る余地(可能性)	けありませんか	\?								
			る余地はかなり		•								
			る宗地はかる? 										
			る余地はほとん										
В	④ 廃止・	·休止の影	 /響はありません	か?									
B有効性		影響が	 「ある										
性		影響が	 「ほとんどない										
	⑤ 類似( ⑤ 事業):	の目的(対	対象・意図) 又は んか?(市以外の	形態(イベントや原の主体が実施する	啓発等)を持つ他の	の事務	類似事 合の事	事業がある場 事務事業名等					
			事業はない	>±11.00 > 0.00 > 0	700721307								
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
		類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	⑥ ·事務·補助	事業の手段 金など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	を削減できません 域できませんか?	か?							
		削減で	きない										
C 効		削減で	きる										
率性	(7) できま・	せんか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		費(延べ業務時間)を せんか?	を削減							
		削減で		T REMIN CC &	27073								
		削減で	きる										
D	8 事務!	事業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?								
D公平性		公平・公	公正である										
狸		見直す	必要がある										
7.	1次評価網	<b>課 &lt;</b> F	PLAN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改2	革改善の方	向性≪	継	続・や	り方改善		<b>&gt;</b>
	事務事業		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		休止	廃止
改善	善の方向性	Ē											
	平成27年 女善の内容												
	り組むべき												
(3)	平成28年 生•取組目	度の方標											
1001	工 424年日,	IN											
8.	2次評価網	吉果 (担	当部長評価)										
(1)	事務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	廃止
改善	善方向性												
(2)	総評												
(2)	יייטי דון												

事務事	事業 -ド	0107010203020205	事 務事業名		住宅リス		 業	担当担当		工観光部工振興課
9. ⊐7	ストの	 推移								
		(単位:千円)	平成26年	₽度 (決	·算)	平成27年	<b>支 (当初予算)</b>		平成28年度	(計画)
1	報		1774==		1317	1 774=1 1 7	~ \_		1 77== 1 72	. (11—)
	<del>™</del> 給									
		手当等								
	共	済 費								
		補償費			1 000					
	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費			1,068			0		
	+ix 旅	費								
	<u>///</u> 交	際 費								
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃金									
	食印	糧 費 刷製本費								
	光									
	修	<u>維料</u>								
	賄									
	飼	料費								
10		薬材料費			0					0
12	役 逼	務費			0			0		0
	広	告料								
	手									
	保									
	委	託 料								
		及び賃借料								
		請 負 費 材 料 費								
		M 科 貝 財産購入費						+		
		,購入費								
-		補助及び交付金			49,143			0		
	扶	助費								
	貸									
		填及び賠償金 利子及び割引料								
		及び出資金						_		
	<u>/^ // /</u> 積	立 金								
	寄	附 金								
	公	課費						$\Box$		
	繰 = L	出 金			E0 011			0		
	計園	庫支出金			50,211 0			0		0
<b>上</b>		支出金			0			0		
財原	地				0			0		
財源内訳	,	の他			0			0		
	<u> </u>	般 財 源			50,211			0		
		計			50,211			0		0
補	助率	国県								
補	助	基本額								
		補正・流用も	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		平成26年	度特定財源内	訳			
. /2/2		)予算		,068		区分	\	名称		金額
		予算		0						0
				-						
				=						
				$\dashv$						

流用・充用 予算合計

																_
1. 基本	情報															
事務事	業			古沙古	サカ	立士	七江 44 71	<b>、</b> 十松					担当部	商工観光	邹	
<u> </u>	<b>,</b>	01070102	03020206	争務争	耒名	冏店任	打活性化	之授事業					担当課	商工振興	課	П
政策:	名	03	活力	ある産業	のまち	づくり							グループ			
施策:	名	02	商工	業の振興									電話番号			
基本事	業名	02	買い	物のしや	すい環	境の確	[保						内線番号			
予	会計	一般	会計						± **		単年度の	りみ				
算	款	07	商工	費					事業 期間		単年度網	<b>嬠返</b> (開始 <sup>2</sup>	<b>手度</b>			
予 算 科 目	項	01	商工	費					79] [F]		期間限別	定複数年度	(	~	)	
B	目	02	商工	業振興費					根拠法令·条例等	霧島	市補助金	等の種類及	及び補助率に関	<b>引する要綱</b>		
評価区	分	,	標準部	平価	評価	対象			関連計画							

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

衛路灯の設置やLED化、修繕を行う商店街の通り会に対して事業補助を行う。また、商工会議所、商工会、地元商店街等と連携し、地元で買い物をする消費者が恩恵を受けられるような商店街独自の取り組みを支援する。 (補助率)イベント事業や、施設整備事業の経費のうち、補助対象経費の1/2 (1通り会1事業あたり上限:イベント事業 60万円、施設整備事業 600万円) (補助金交付の流れ):申請→交付決定→事業実施→実績報告→補助金支出

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	商店街・通り会への補助件数		件	4	5	2	0	1
1	商店街・通り会への補助額合計		千円	6,568	2,880	1,068	0	1,000
ゥ								
(2	と) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	商店街・通り会の事業者	各商店街・通り会の総店舗数	件	629	767	777	780	780
1								
ゥ								
_	意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
((	②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	商店街・通り会の活性化	各商店街・通り会の空き店舗率	%	17	19	21	21	21
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	商工業者の経営が安定する。	制度資金の借入件数	件	334	332	333	344	351
1	商工業者の経営が安定する。	セーフティネット保証制度の認定件数	件	59	16	10	64	66
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

市内の商店街・通り会については、その活性化に際して、街路灯の老朽化や防犯の面での課題を抱えているところが多くある。また、活性化ためのイベント事業を行うことについても予算面での課題があり、事業実施できないという声もある。そのことから市において商店街・通り会の特色を生かした活性化事業を支援する当事業を行っているところ。

4.	事	<b>类費</b>	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫支	え 出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	<b>ナ</b>	<del>-</del>	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	σ.	)	他	千円			0	0	0
投			_	般	財	源	千円			5,668	0	1,000
投入量		事	業	費			千円	0	0	5,668	0	1,000
										_		

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

商店街・通り会への補助件数 2件 商店街・通り会への補助額合計 1,068千円 ・街路灯のLED化(霧島中央通り会) 468千円

- ・参道灯籠まつり(神宮通り会) 600千円

市内の商店街・通り会について、街路灯の老朽化や防犯の面や活性化 のためのイベント事業に補助支援を行い商店街・通り会の活性化を図っ

틕	事務 コー	事業 -ド	01070	10203020206	事 務 事業名	商店往	街活性	化支援	事業	担当部担当課		観光部 振興課
6.	振り	返り <	SEE>							理由		
	_				事業の意図に終	吉びついています	<b>トか?</b>	とにより、	商店街・通り			業を補助するこ れ商工業者の経
		-	結びつ	いている				営が安気	<b>Eする。</b>			
音			間接的	に結びついてい	る			1				
的买			結びつ	いていない								
目的妥当性	2			ぜ市が行わなけ て達成する目的		のですか?				整備事業につい		業で行おうとし み切れないところ
			妥当で					が多い。 要である		寺色ある活性化	のためには市	こよる補助が必
			見直す	 ·必要がある				1				
	(3)	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	)\?						Cもらい、内容の ろであるが、他
		П	向トす		ある			の事例等	<b>∮もふまえ、実</b>		・バイスを行っ	ていくことである
				る余地はある程				1				
				る余地はほとん				-				
	<u>(4)</u>	盛止•位	太小の書	ジ響はありません	th?			商店後	・通り会が事	業実施できなく	なることにより、	賑わいが失わ
B有効性	•							ぼすこと	だけでなく、『が予想される』	寄店街利用者等 。	の女心女主	にも影響を及
性			影響が	'ळ  'ほとんどない								
					形能(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似国	事業がある場			
	5		ありませ	たか?(市以外の			-7-123	合の事	務事業名等			
			*****	事業はない								
				事業はあるが、								
		. 車 教車		事業があり、統		きる <mark>貴を削減できません</mark>	<i>t</i> ) 2	商店街	通り会が白主	事業として宝裕	ョナス・レができ	きるようになれば
	6	·補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	載できませんか?	)/J, :	、事業費	の削減を行う	ことが可能であ」となるよう指示	る。実施に際し	ても事業内容
			削減で	きない								
C 効率			削減で					十古光	1 抽出人の	を仕込む 士仏	₩1ヶ間- <b>ナ</b> フます	<b>务を行っており、</b>
半性	7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		貴(延べ業務時間):	を削減		り事務量となっ		守に関りる事4	労を11つ(わり、
		49,90		きない	I SERVING CE S	27073						
			削減で	きる				=				
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が				事業実施	布により商店往	fが活性化する	ことは商店街、	丁っている。また 通り会事業者の
公平				公正である	TE PRE 10 CO O	, , , ,		受益のみ	yならず、利用 受益となりうる。	者にとっても利	便性が増すも	のであり、市民
性			見直す	必要がある				1				
7.	1次	評価結	果 く!	PLAN>(組織	決定)	Fath att Tab	t to the	革改善の方	- W //			,
				継続	1.11±-1.*	1				/± ^	休止	廃止
		务事業の 方向性		0	やり方改善 〇	コスト拡充	175	縮小	連携	統合	FI-III	ж
						  を提出してもらい	)、内容	 の精査を	おこなうことで	 補助の適正化	 を図るとともに、	他の事例等も
(0)	. <del></del> -	+07/=5	= 0.7-			えを行っていく。		- ,,,,				12 - 7 - 7 - 7 - 7
革司	女善(	成27年月の内容										
(拟	り組	むべき	<b></b> 議題)									
				宇宙に際] で車	で重要内容	を提出してもらい	) 内突	の結本を	おこからこしで	補助の適正化	を図るとともに	他の車例等も
						/スを行っていく。		V2/11 II. €	400,4700	III 97 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	E MACCOIC.	Eペンカ 1/14-0
		成28年月 双組目標										
11.31.	1/	<b>чи ш</b> 12										
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)								
(1)	事系	务事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
		向性										
					<u> </u>	I				L	<u> </u>	ı
(2)	総	評										
				<u> </u>								

事務コー	事業 -ド	0107010203020206	事 務 事業名		商店街	活性化支援事業	<u> </u>	担当担当		C観光部 C振興課
9. ⊐.	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	F度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報		1774=		1317	177-172	. (= 1,5 3 51 7		1774 172	(H) —/
	給	料								
3	職員	手当等								
	共	済 費								
		補償費								
7	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
-	旅	<u>P</u>								
	交	際費								
11	需	用 費			0			0		0
	_	耗品費								
	燃食	<u>料費</u> 糧費								
		刷製本費								
	光									
	修	繕 料								
	賄									
	飼	料 費 薬材料費								
12	<u> </u>	条 M 科 負 務 費			0			0		0
'-		信運搬費			- 0					
	広	告 料								
	手	数料								
L	保									
	委	託 料 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は								
15		請負費								
		材料費								
17		財産購入費								
		購入費								
	<sub>負担金</sub> 扶	端助及び交付金 助 費			5,668			0		1,000
	<u>坏</u> 貸									
		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
		利子及び割引料								
		及び出資金								
	積	立 金								
26 27	<u>寄</u> 公	附金課費								
	<del>丛</del> 繰	出 金								
	計				5,668			0		1,000
	持国	庫支出金			0			0		
財	定児	支出金			0			0		
財源内訳	持定財源 国 県 地 そ	方 の 他			0			0		
訳	,	段 財源			5,668			0		1,000
		計			5,668			0		1,000
雄	助率	国								
		県								
補		基本額	b. 4—				_			
平成2		<b>補正・流用</b> *  予算	大 <b>况</b> 	0	平成26年	医特定財源内部 区分		名称		金額
		<u>                                      </u>	6.	,201		<b>企</b> 刀		10 1/10		亚俄
	補工	E第1号		600						
	補工	E第3号		133						
	補工	E第5号		468						

流用・充用 予算合計

	平成	27年度	耳	事務	事業振	返りシ-	<b>-</b>  - (:	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
1. 基本情報										10 11 40	the state of	
事務事業コード	9105010203040101 事務事業	名 丸岡会	会館	等省	理運営事	業				担当部 担当課	商工観光音 商工振興調	
政策名	03 活力ある産業の	まちづくり								<u>ループ</u> グループ	山工业	×
施策名	04 雇用の促進									電話番号		
基本事業名	01 地域の特色を活	かした雇用	の促	進_				単左中の1		内線番号		
	一般会計 05 労働費					事業		単年度のA 単年度繰返		ŧ		
算 款 科 項 日	01 労働諸費					期間		期間限定複		H24	<b>~</b> H28	)
	02 労働施設費	T   T   1   67				根拠法令・条件		<b>丸岡会館の設置及び</b>			術研修館の設置及び	管理に関する条例
評価区分		平価対象		1₹	大評価	関連計	画  霧島	市公共施設	マネジメント	計画		
	<b>D概要・目的・指標</b> <b>の概要</b> (具体的なや	<mark><do></do></mark> n方 手順	1210	囲を調	記述)							
施設:丸岡会館、	、霧島市横川農村勤労	福祉センタ				勤労者技	術研修館	Ĭ				
開館時間:午前9	横川町上ノ3201番地54 9時から午後10時まで(	食堂:午前	9時/	3354	午後8時まで	、食事は	11時から	)				
会館日:定休日 利用料金	毎週火曜日(ただし、	火曜日が初	兄日の	り場	合はその翌	日)						
	小研修室:290円 技術	所研修館:1	50円	研	修室:90円(	単位:時間	間)					
0 X 2 1 1 1 1 1	(+************************************						34 IT	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 沽勁指標	(事務事業の活動量)						単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 指定施設数							施設	2	2	2	2	2
1												
ウ												
	*											
(2) 事務事業 ② 対象	その日的 一	③ 対	会非	扫				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	にしているのか)				の大きさを表	きす指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア施設利用者		施設を利用	した。	人数			人			33,274	33,440	33,607
1										,	,	<u> </u>
ウ												
<b>④ 意図</b>	( de la goda)	<b>⑤成</b>			· * * * *	= _}_ H< b== \	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうして 研修及び各種会	したいのか) ☆合等や保養と福祉の増進に	利用者アンケ	~— \ [ \f	公合金	達成度を表 的な施設の印象		0/	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア利用することによ	とって充実する	た以上によか	った」	等の書	9合	. ,,,,,,,	%			54.5	55.0	55.5
1												
ゥ												
(3) 上位の基	本事業											
⑥ 基本事業の					の成果指		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような	な成果に結びつくのか)	(左記	⑥意	図 $\sigma$	達成度を表	長す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア *	******		*		cksksksksk							
1												
<mark></mark> ტ												
3. 事務事業の	)環境変化・市民意	見等						24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	参く環境変化、市民や議会などが		4.	事美	<b>美費の推利</b>	3	単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
	進んでおり、修繕費等				国庫	支出金	千円			0	0	C
ート結果について	る。施設利用者に対す ては、「施設設備の充実	1		事	75	出金	千円			0	0	C
美観の維持」が	半分以上を占めている	D		事業費	内上	方 債	千円			0	0	C
			投	~		の他	千円			10.505	0	10.516
			八		一 版 事業費	財源	千円	0	0	10,565 10,565	10,518 10,518	10,518 10,518
			量.		尹木其		1 17	0	0	10,505	10,018	10,010
					-							
5. 平成26年度	きの実績及び成果											
(1)平成26年	度の実績(取組)	<取組内容を数	数値等	により	具体的に記載			F度の成果		巴の実績(取組)		
指定管理料 H26.4~H27.3月		_						施設を管理し				
10,495,542円						来た。		C   III   III * ノ *	_ ~_ (⊖: ˈ3/1J	, 5-01-0	- 170/57	

施設利用者数 33,274人

-	事務		01050	10203040101	事務事業名	館等管	理運営	営事業	担扣	当当	部課		観光部 長興課	
6.	_		SEE>		7-7/- 1					125	理	由	[D] — ]	以兴林
					事業の意図に終	古びついています	トか?		用が研修及び				養と福祉の増	進に利用する
				いている	4- >/C 4-> /C (E-1)	10 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			こって充実する。 この基本事業に	-	いけず	2		
A				いている 」に結びついてし	<u> </u>				·V/巫冲于未に	- V = V =	169			
目的				いていない	·.o									
目的妥当性				ぜ市が行わなけ	ればならないの			施設利	用者(市民等)	の労働	動環境	や生活	舌などの充実	を図ることは市
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			は行わ	なければならた	ないのつ	で妥当	<b>áである</b>	5.	
			妥当で											
H			見迫す	·必要がある 				施設の	維持管理につ	いて今	-D1 F	に行い	、従業員の私	肝修等を充実さ
	3	成果が	(向上す)	る余地(可能性)	はありませんか	), <u>S</u>			向上の余地は		<u>~</u> т	10-111	、风采泉	がはなる元大で
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	≧度ある ─────									
			向上す	る余地はほとん	どない			Line and a		> 18 Lat. 1		b dide t.C.	58. 19.1 AZJE	± 107711 4 1 −
艮	4	廃止∙	休止の影	/響はありません	か?			施設を 祉の増	廃止・休止すれ 進等ができず!	1は地域影響が	吸に↑ ある。	弋替施	設かなく利用	者が研修や福
B有効性			影響が	<b></b> ある										
狸			影響が	「ほとんどない										
	⑤			対象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等	市内	の各対	施設		
				事業はない		2011/2/2017								ければならず利
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない		用する	には難があるた	このが行行	ゴはも	B-3 2071	LV	
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	=====================================								
	6	-事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	費を削減できません 或できませんか?	か?	現在は	施設の維持管	理に事	業費	がかか	いっており削減	対はむずかしい
		THE LEAD TO	削減で		、中の異性と問題	% CE& E7077 .								
C 効		_	削減で											
率		-事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		補助金交付や	修繕等	い 委	託業科	务を行うだけた	こので削減の
性	7	できませ・職員じ		なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		余地は	7£1 \ <sub>0</sub>					
			削減で	きない										
			削減で											
Ď	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	を者に偏っている 確保されていま	ませんか? ∶すか?		利用者	に制限は設け	ていな	いの	で公平	・公正である	
D公平:			公平・公	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組織</th><th>t 決定)</th><th>[delin</th><th>年度の改</th><th>本本等の</th><th><b>生态性《</b></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th><b>»</b></th></f<>	PLAN>(組織	t 決定)	[delin	年度の改	本本等の	<b>生态性《</b>					<b>»</b>
	z	ر د جا بالد	o =/- ++	継続	やり方改善				ı	T	(± ^		休止	廃止
		多事業の 方向性		0	-	コスト拡充	17/	·縮小	連携	1	統合			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
					O が進んでおり、4	 今後の施設の在	り方につ	いて給	計する.					
(0)	\ जर <del>।</del>	<del>+</del> 07/=	± 0.74	725		7 00 - 700 00			,,, 00					
革	收善(	成27年月の内容												
( JX	り組	むべき	<b></b>											
				施設の雨漏り	空調の修繕かり	どの課題があり今	後の施	設の在り	方を検討のう	え必要:	<i>†</i> >\$\0	)け対!	広する	
				NEW *> HIS WIS > \	工	_ +> 10(AZA 05)	EX*>1/16	X + >   L	))) CIXIII->),	/62.2	. & O +	×165/1/	·u· / •	
(3)	平月	成28年月 双組目標	度の方											
1-31	_ ~	<b>хин ш</b> и	K											
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
		多事業(		継続	やり方改善	コスト拡充	776	·縮小	連携	-	統合		休止	廃止
改善	善方[	の性	ル以甲		7/7级音	- AT JAJU	4/1	41D.1.	足乃	1	196 13			
					<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>					L
(2)	)総	評												

事務事業コード	0105010203040101	事 務事業名		丸岡会館	官等管理運営事	≨業 ¦	担当部担当課		□観光部 □振興課
9. コストの	推移								
	(単位:千円)	平成26年	F度 (決	·算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	酬								
2 給	料								
	手当等								
4 共 5 災害	済 費 補 償 費								
<u> </u>	金								
8 報	償 費								
9 旅	費								
10 交 11 需	際   費     用   費			0			100		100
	耗品費			0			0		100
燃	料 費								
食	糧 費								
	刷製本費 熱 水 費								
修	然 小 負 繕 料			0			100		100
	材料費						100		
飼	料 費								
	薬材料費						70		70
12 役	務 費 信運搬費			69			73		73
広	告 料								
手	数料								
保	険 料			69			73		73
13 委 14 使用料	託 料 及び賃借料			10,496		10	,345		10,345
	請負費								
16 原 木									
	才産購入費								
	購入費								
19 負担金袖 20 扶	<sup>輔助及び交付金</sup> 助 費								
21 貸	付 金								
22 補償補	填及び賠償金								
	引子及び割引料								
24 投資及 25 積	及び出資金 立 金								
26 寄	附 金								
27 公	課費								
28 繰	出 金								
計	庫支出金			10,565 0		10	,518 0		10,518
対	支出金			0			0		
財地	方 債			0			0		
=-	の他			0			0		
<u></u> — 舟	<sub></sub> 計			10,565			,518		10,518
	国			10,565		10	,518		10,518
補助率	県								
補助	基本額								
	補正 流用状				度特定財源内				
当初 補正	予算	10	,677		区分		名称		金額
作用止	了异		0						
			$\neg$						

流用・充用 予算合計

_									_ • •			
ı	1. 基本	情報										
I	事務事	業	01070103	2020 40101	車 数 車 :	<b>学</b> 夕	息白.74	Þうあい人材バンク	中类		担当部	商工観光部
ı	그ㅡト	*	0107010.	003040101	尹/力尹:	木口 形	今四">	P 7 00 V 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ず未		担当課	商工振興課
I	<b>政策名</b> 03 活力ある産業のまちづくり										グループ	企業振興室
I	施策律	名	04	雇用の	の促進						電話番号	45-5111
I	基本事業	業名	01	地域の	の特色を泊	舌かした	雇用	の促進			内線番号	2561
I	予	会計	一般	会計					<del>+</del> *	□ 単年度のみ		
ı	算	款	07	商工犯	費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>生</sup>	F度 H	18 年度~)
ı	予 算 科 目	項	01	商工	費				MIL	□ 期間限定複数年度	(	~ )
ı	目	目	03	企業語	誘致推進	費			根拠法令·条例等	職業安定法第32条の14、	第33条の4	
	評価区	分		標準評	延価	評価対	付象	1次評価	関連計画			
=												

## 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 市内企業への情報(履歴書)提供		п	2	3	4	5	5
1							
<mark>ੈਂ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	<ul><li>3 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度
ア 市内へのU・Iターン希望者	市内へのU・Iターン希望者(既存の人材バンク登録者含む)	人	36	38	4	5	5
1							
<mark>ゥ</mark>							
<ul><li>② 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
		<b>単位</b> 人					(目標)
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標) 5
(②対象をどうしたいのか) ア 人材バンクに登録する。	(左記④意図の達成度を表す指標) U・Iターン希望者及び市内の求職者のうち人材バンクに登録した人数	人	(実績) 0	(実績)	(実績) 2	(目標) 5	(目標) 5
(②対象をどうしたいのか)       ア 人材バンクに登録する。       イ 斡旋回数       ウ       (3) 上位の基本事業	(左記④意図の達成度を表す指標) U・Iターン希望者及び市内の求職者のうち人材バンクに登録した人数	人	(実績) 0	(実績)	(実績) 2	(目標) 5	(目標) 5
<ul><li>(②対象をどうしたいのか)</li><li>ア 人材バンクに登録する。</li><li>イ 斡旋回数</li><li>ウ</li></ul>	(左記④意図の達成度を表す指標) U・Iターン希望者及び市内の求職者のうち人材バンクに登録した人数	人	(実績) 0	(実績)	(実績) 2	(目標) 5	(目標) 5
(②対象をどうしたいのか)       ア     人材バンクに登録する。       イ     斡旋回数       ウ     (3) 上位の基本事業       ⑥ 基本事業の意図	(左記④意図の達成度を表す指標) U・Iターン希望者及び市内の求職者のうち 人材バンクに登録した人数 市内企業への斡旋回数	人回	(実績) 0 2 2 24年度	(実績) 2 2 2 25年度	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(目標) 5 5 5 27年度	(目標) 5 5 28年度 (目標)
(②対象をどうしたいのか)         ア       人材パンクに登録する。         イ       斡旋回数         ウ       (3) 上位の基本事業         ⑥ 基本事業の意図       (さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記④意図の達成度を表す指標) U・Iターン希望者及び市内の求職者のうち人材バンクに登録した人数 市内企業への斡旋回数  ② 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	上	(実績) 0 2 2 24年度 (実績)	(実績) 2 2 2 2 25年度 (実績)	(実績) 2 2 2 26年度 (実績)	(目標) 5 5 5 <b>27年度</b> (目標)	(目標) 5 5 28年度

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

2012年度後半以降アベバシクス効果により、日本経済が復調の兆しを見せ、国内の製造業等においても設備投資を増強させる企業が増えてきており、雇用情勢においても求人倍率が大きく改善されるなど、地域経済も緩やかな回復傾向にあるため、企業が求める求人と求職者のマッチングを図るために、ハローワーク国分と連携しながら、事業を推進し、就労を図る。

А	事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+	777		,VJT	生物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	酒				金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	源内	地	地 方 債		千円	0	0	0	0	0	
	費	訳	み の 他		千円	0	0	0	0	0		
投入量			_	般	財	源	千円	80	82	85	121	121
量		事	業	費			千円	80	82	85	121	121
_												

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

職業紹介責任者講習 平成27年3月5日東京都において受講

履歴書等の保存期間である2年間を経過されている、ゆうあい人材バンクの登録者について、状況把握調査を実施し、履歴書処分について電話連絡や文書にて通知した。

登録者2名が新たな就労に繋がった。

Į		事業 一ド	ŧ	01070	10303040101	事 務 事業名	霧島ゆき	 うあいノ	材バン	 vク事業	担	当	部		観光部
6	_			SEE>		争耒石					担	当 理	課由	商工	振興課
٥.	_					事業の音図に約	古びついています	t 4\ 2	U·Iঠ	アーン希望者に	_  人材/	ベンク	に登録	录していただき	た、市内の誘致
						争未の息凶に	古のプいていまり	יאינ	企業に に繋が	、いただいた る余地がある	青報(履	を を と と と と と と と と と と と と と と と と と と	等)を こ結ひ	:斡旋すること べついている。	で、新たな就労
Α	_				いている	. 7			-						
目的	_				に結びついてし	, <b>`</b> 'る									
目的妥当性	_		の事		いていない <del>ぜ声が行わない</del>	ければならないの	Dですか?		市は、	地域雇用の促	准(厚/	1 学信	動省が	進めている世	1域雇用創造支
性	(2)	• 移	党金を	投入し	て達成する目的	りですか?			援事業	(内発的な雇) 雇用の促進」を	用創出	策))	を進め	つていくため、	総合計画にお
	_			妥当で											
				見直す	必要がある				△光:	計明 同米より	ار اد	i □ π±L /	屋麻=	ま)   本却ナ、マナ	めに紹介するこ
	3	)成:	果が	向上する	る余地(可能性	)はありませんか	٥, ١			が同回数を増 が成果向上の分			/復/][空電	<b>骨川報を</b> こま	めにおり 9 句に
				向上す	る余地はかなり	りある									
		ı		向上す	る余地はある和	程度ある									
	_			向上す	る余地はほとん	<b>しどない</b>						- `	l.e	LL WINE & SA	\h. ( \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
В	4	廃.	止・俳	・止の影	響はありません	<b>んか?</b>			本市に思われ	に就労を希望 <sup>、</sup> る。	するU・	Iター	ン者の	の就労機会が	減少するものと
B有効		ı	•	影響が	ある				1						
性				影響が	ほとんどない										
	(5)					形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場 事務事業名等					
			<b>—</b>		事業はない				ハロー	ーワークは、国	の機関	であ	るため	統合できない	が、連携を図る
				類似の	事業はあるが、	、統合又は連携	できない		-21C3	り成果の向上	.(よ別付	きつ も	<b>ు</b>		
				類似の	事業があり、紛	た合又は連携で	きる		1						
	6	・事	務事	業の手段など、交換	と(やり方)を工夫	することで、事業費 て、市の負担を削減	貴を削減できません 載できませんか?	か?							所講習受講の 、削減はできな
	H		19) W	削減で		(1)00美型芒南加	2 (		۱» ۱»	0197,001114	onn ()		×-1× ;	12 (0) 0/2->	(maxica e C ac
C 効				削減で					-						
率		・事	務事	業の手段	と(やり方)を工夫	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減						人情報保護の	観点から外部
性	(Z	)でき ・ಾ	ません	んか? 外の対応	でや委託により人	件費を削減できま	せんか?		安託は	できないため	削侧宗	地(よ	/£V '°		
		I		削減で	きない										
				削減で					ts and	er ten		4. (			a la malla lata a la la
Ď	8					益者に偏っている 確保されていま				希望の万から できるため、受					は求職者であれ
D公平				公平・∕	公正である										
性				見直す	必要がある										
7.	13	で評価	話結	<b>果 &lt;</b> F	PLAN>(組制	<b>歳決定</b> )	[##]#	年度の改	革改善の	f向件≪	継	練・七	り方i	<b>火姜</b>	<b>&gt;</b>
(1	/ 車	<b>攻</b>	要の	ンルギ	継続	やり方改善	コスト拡充		~縮小	連携		統合		休止	廃止
		方向 方向		改革	0	0		٦٨١	.448.1.	<b>产</b> 15		וויו ם			
							 犬況確認と就労3	   	量に伴うな	 企業斡旋におり	 ける状?	兄調3	<b>企実施</b>	iを上期と下期	<b>┃</b> 月で検討する。
(2	) जट	成の7	午 由	の改											
革	<b>次</b> 善	の内	容	果題)											
(4)	くつか	πО.	<b>`</b> C n	不起)											
							者及び市内居住							ゆうあい人材	バンクへの登
					録を促すととも	に、立地協定を	締結した企業と	求職者の	りマッチ	ングを図り、就	労に繋	げる	0		
		成28 取組		の方											
8.	23	で評句	話結	果 (担	当部長評価)										
(1	)事	務事	業の	改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
		70 F		<b>→</b> , <del>-</del>											
						1	I.	<u> </u>		l					1
		評													

事務事業 0107010303040101		事 務 事業名		霧島ゆうる	あい人材バンク	 事業	担当担当		上観光部 上振興課	
9. =	コストの	 推移						7	HAIN 11-3	- 30C > C 10 N
		(単位:千円)	平成26年	E度 (決	(質)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	· M	1 1220		<del>, 31-</del> /	1 1921 - 13	. (10) 7		1 1%20 + 1%	(пгш/
2	給									
3		手当等								
<u>4</u> 5	共 " 章	済 費 詳補 償 費						_		
7	<u>火 =</u> 賃	金								
8	報	償 費								
9	旅	費			51			88		88
10 11	<u>交</u> 需	<u>際 費</u> 用 費			20			19		19
' '		<u>///                                  </u>			20			19		19
	燃									
	食	糧 費 刷製本費								
		熱水費								
	修	繕 料								
		材料費								
	飼医	料費 薬材料費						+		
12	役	務費			0			0		0
		信運搬費								
	広手									
	保									
13	委	託 料								
14		料及び賃借料								
15 16		請負費材料費								
17		財産購入費								
18		購入費								
19		補助及び交付金			14			14		14
20 21	<u>扶</u> 貸	助   費     付   金								
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
23		利子及び割引料								
24 25	<u>投貨</u> 積	及び出資金 立 金								
26	<u></u>	<del></del> 附 金								
27	公	課費								
28	繰計	出 金			0.5			191		101
		庫支出金			85 0			0		121
月才	特 県	支出金			0			0		
財源内訳	財地源	庫支出金支出金方債の他			0			0		
訳		の 他 般 財 源			0 85			0 121		121
		計			85			121		121
*	甫助率	国								
		<b>基本額</b>								
		<del>莖                                    </del>	<b>大</b> 況		平成26年	度特定財源内記	R			
1 14	当初	]予算		121		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				-						
			ĺ	- 1	1					

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報									
事務事	業	01070103	202040201	事務事	<b>坐夕</b>	誘致対策事業			担当部	商工観光部
I	ド	0107010.	03040201	<b>尹</b> 孙尹。	<b>木石</b> 正来	防以刈水学未			担当課	商工振興課
政策:	名	03	活力	ある産業の	つまちづくり				グループ	企業振興室
施策:	名	04	雇用	の促進					電話番号	45-5111
基本事	業名	02	企業	の誘致					内線番号	2561
予	会計	一般	会計				+ *	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費			事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 S	45 年度~)
予 算 科 目	項	01	商工	費			79][F]	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	03	企業	誘致推進	費		根拠法令·条例等	特になし		
1111年11日	7分		煙 淮 🏻	亚価	<b>亚</b> 価 対象	1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

当該事業は、本市の工業団地や土地開発公社所有地等に企業誘致を積極的に推進し、もって本市における工業の振興及び雇用の増大を図ることを目的としています。現在、県産業立地課をはじめ関係機関等と連携し、立地を計画している企業や市内に立地され、増設を計画している企業の情報の収集を行い、積極的に訪問活動を展開しております。また、本市の恵まれた立地条件や工場等立地促進補助金制度等の各種優遇制度でいてのパンプレット等を作成する等してPR活動も行っております。アベノミクス効果により、昨今の日本経済は輸出産業の業績が大幅に改善されるなどの効果を反映し、国内の製造業等においても設備投資が増加傾向にあり、雇用情勢においても求人倍率が大きく改善されてきており、地域経済も緩やかな回復傾向にあります。本年度の企業誘致については、関係機関との情報の共有や連携により企業の設備投資の情報を収集し、4社の企業と立地協定を結ぶ事が出来ました。今後も、毎年4社との立地協定の締結を目標にして、企業誘致活動を展開していきます。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	市外企業延訪問数		社	13	20	19	20	20
1	市内企業延訪問数		社	168	100	101	180	180
ゥ	市内企業訪問数(実)		社	84	84	88	90	90
(2	:) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 惟、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	別地域へ立地を希望している市外の 企業	別地域へ立地を希望している企業(情報入 手した企業)	社	11	11		10	10
1	増設を計画している市内企業	増設を計画している市内企業	社	7	8		5	5
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	霧島市の立地条件・優遇制度等の情報を知ってもらう	市外企業訪問時パンフレット配布数	社	13	20	19	20	20
1	優遇制度等の情報を知ってもらう	各種支援制度の情報提供数	数	84	84	88	90	90
ゥ								
(3	)上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	市内に立地してもらう。 市内企業に増設をしてもらう	新規立地協定締結企業数(増設を含む)	社	3	6	4	3	3
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

2012年度後半以降アベノミクス効果により、日本経済が復調の兆しを見せ、輸出産業の業績が 大幅に改善するなどの効果を反映し、国内の製造業等においても設備投資を増強させる企業が増えるなど景気の持ち直しにより、企業における景況感は、改善の方向へ向かいつつある。住民から、企業誘致することによる雇用の機会の増加が期待されている。議会からも雇用の増大や地域の活性化を図るためには、企業誘致は重要であるという意見がある。以上のことから、新たな優遇制度を設置することになった。

4.	事美	<b>类費</b>	の	<b>推移</b>			単位	(決算)	(決算)	(決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
			国	庫3	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費		県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	業	地 方 債		債	千円	0	0	0	0	0		
	費別		そ	0	0	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	3,149	2,344	120,456	4,599	4,599
量		耳	業	費			千円	3,149	2,344	120,456	4,599	4,599
	1										_	

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

- ・市内外への企業訪問(120社)

- ・ 市内外への企業前間(120代) ・パンフレット1000部作成、専門紙への広告掲載(年2回) ・関係機関との連携(県産業立地課及び県東京事務所等) ・新たに立地企業等の設備投資に伴う補助金支援について(条例制定) ・企業立地促進法に伴う同意企業立地重点促進区域における乙種区域
- の緑地率を緩和(条例改正) ・国分上野原テクノパーク及び久留味川工業団地内除草作業業務(調整池含む)約145万円
- ・土地開発公社からの用地取得費 約96,213千円

市内外の企業を継続的に訪問し、本市の地理的優位性及び優遇制度並びに県の補助金等も併せて説明するなどして、本市への立地を促した

0.4左帝 | 0.5左帝 | 0.5左帝 | 0.7左帝 |

その結果、本市地協定を締結した 本市へ進出した企業1社と市内企業の増設3社の計4社と立

工業団地の除草整備により、団地内の交通の安全等に繋がった。 工業団地の除草整備により、団地内の交通の安全等に繋がった。 土地開発公社から、岩坂特定住宅用地及び上ノ地区企業誘致用地を 取得したことに伴い、企業誘致用地を確保することが出来た。

Ę	事務事業 コード	01070	10303040201	事務事業名	企業	<b>美誘致</b>	対策事	<del></del>	担扣	当当	部課		観光部 振興課
6.	振り返り	<see></see>	•					125			向土	· ] 从 <del>火</del> (木	
	_			事業の意図に終	昔びついています	か?				る市	外の分		の立地条件・優 している市内の
		結びつ	いている				企業に		つ情報	を知	っても	らうことで、市	i内への新規の
A		間接的	に結びついてい	<b></b>									
的影		——結びつ	いていない										
A目的妥当性	② ·==	り事業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの	つですか?			事業は本市の産 ため妥当である		性化、	、雇用	の増大及び	脱収の確保に直
Œ	· 代:	妥当で		C9 70 ?			加りる	にの女コでの。	) <sub>0</sub>				
			· · · 必要がある										
H	_		る余地(可能性)	はありませんか	٧.خ								を達成すること 5及び関係機関
		向上す		<u> </u>			との情報		隽によ	り多く	の企	業を訪問し、	青報収集等に努
			る余地はある程										
			る余地はほとん										
В	4 廃止	・休止の影	/響はありません	か?			本事が霧島	業を廃止した場 市の活性化に	·合、盾 多大な	雇用の よ影響	)促進 §があ	、将来的な税 る。	収の確保等及
B有効性		影響が	<b></b> ぶある				- 377.4	, ,,,,,,,,,,					
性		影響が	 「ほとんどない										
			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他の	の事務		事業がある場 事務事業名等					
		類似の	事業はない						ı				
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
		類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	⑥ ·事剂	8事業の手段 力金など、交	设(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	けることで、事業費 、市の負担を削減	gを削減できません 成できませんか?	か?		業は、情報収集 必要な事業費/					であり、接触する kない。
		削減で	きない										
C 効		削減で	きる										
率性	(7) できま	せんか?			<b>貴(延べ業務時間)を</b>	削減	職員		を託に	つい			ない。 質関係もあること
_			さや委託により人作	井賃を削減できま	せんか?		から、タ	ト部委託等はそ	くわた	\$V.			
			きない 										
Н	◎ 事務	事業の内	容が一部の受益										ながら、企業ニ
D 公 公	672		負担の公平性がで ひまずれる	確保されていま	すか?		正であ		へに沿	った	他東る	ど実施してい	るため、公平・公
公平性			公正である  <sup>-</sup> 必要がある										
_				A S.L. artin's									
7.	1次評価	結果 <	PLAN>(組箱	(決定)	【参考】前年	度の改	本改善のプ	方向性≪	継	続・弋	り方		<b>&gt;</b>
	事務事業		継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合			廃止
以音	当の刀叫	<u> </u>	0	0									
			・優遇措置に伴	う対象業種につ	ついて、時代のニ	ーズに	合った見	し直しを検討する	る。				
	平成27年 女善の内												
	り組むべ												
			る企業を積極的	」に訪問を行う等	隽を図り、情報収 等、新設した設備								
	平成28年		図り、PR活動を ・新たな工業団	:実施する。 地確保に伴う情	<b>青報収集を図り、</b> 値	戻補地の	つ選定を	検討する。					
向性	生・取組目	標											
8	2次評価	結里 (生	当部長評価)										
			継続				(d. )			41		休止	廃止
(1) 改書	事務事第 5方向性	美の改革	<u> </u>	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		NAT	<b>アドエ</b>
(2)	総評												

事務事業	0107010303040201	事 務 事業名			透致対策事業		担当部		工観光部
コード	0107010303040201	事業名		近来記	资致刈束争耒 —————		担当課	商	工振興課
9. コストの	推移								
	(単位:千円)	平成26年	年度 (決	算)	平成27年周	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	西州			36					
2 給	料								
	手当等								
4 共	済費 豊								
5 <u>災</u> 害 7 賃	音補 償 費金								
<u>, 頁</u> 8 報	賞 費								
9 旅	費			817		1	,200		1,200
10 交	際費								
11 需	用費			356			380		380
消燃	耗品費 料費			281			282		282
食				75			98		98
	刷製本費			- 10					30
光									
修									
鮪									
12 役	務費			520			545		545
_	信運搬費								
広				520			545		545
手									
12 禾	: 険 料     託 料			2 204			220		2 220
13 委 14 使用#	武 科 料及び賃借料			2,304			50		2,229
	請負費								
	材 料 費								
	財産購入費			116,223					
	品購入費 補助及び交付金			105			195		195
20 扶	助 費			195			195		190
<u>20 次</u> 21 貸	付 金								
	填及び賠償金								
	利子及び割引料								
	及び出資金								
25 積 26 寄	<u>立</u> 金 附 金			+					
27 公	課費								
28 繰	出 金								
計				120,456		4	,599		4,599
特温	庫支出金			0			0		
特定財源   円   円   円   円   円   円   円   円   円				0			0		
財源内訳を対象を				0			0		
歌	般 財源			120,456		4	,599		4,599
	計			120,456		4	,599		4,599
補助率	国								
	基本額								
		20		₩ choo⊄ :	<b>在杜宁以海土</b>	ю			
	<b>E補正·流用状</b> D予算		,702		<b>支特定財源内</b> 区分		名称		金額
	F 予算		,223	L	-/3		Fi Ja.		<u> </u>
	正第7号		,223						

三	4,702
補正予算	116,223
補正第7号	116,223
流用・充用	1
予算合計	120,926

区分	名称	金額
	合 計	0

1. 基本	情報										
事務事	業	01070103	102040202	事務事	<b>坐</b> 夕 ₹	노빠소	業支援事業			担当部	商工観光部
П	<b>'</b>	0107010.	03040203	<b>尹</b> 孙尹:	*1	TTE II	二未入16. 尹未			担当課	商工振興課
政策	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	づくり				グループ	企業振興室
施策	名	04	雇用の	の促進						電話番号	45-5111
基本事	業名	02	企業の	の誘致						内線番号	2561
予	会計	一般	会計					声 **	□ 単年度のみ		
算	款	07	商工	費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	7 年度~)
予 算 科 目	項	01	商工	費					□ 期間限定複数年度(		~ )
目 03 企業誘致推進費								根拠法令·条例等	務局巾工場等立地促進に 素皀市工場等立地促進に	- 関する余例 - 関する条例施	行担則
評価区分 標準評価 評価対象 1次評								関連計画			

#### <Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内に工場等を新設、増設、移転しようとする事業者に対しての助成支援事業。(工場等用地取得費補助金及び設備投資補助金) 補助金対象者は、以下の要件を満たす必要があります。 (1)工場等用地取得費補助金については、工場等の用に供する土地を2,000㎡以上取得した後、3年以内に工場等の操業を開始しており、操業開始時かつ補助金交付申請時に新規地元雇用者(霧島市在住者)が5人以上いること。 (2)設備投資補助金については、2億円以上の増設設備投資後、2年以内に当該工場等が操業を開始しており、補助金交付申請時に新規地元雇用者(霧島市在住者)が10人以上いること。 (3)各補助金については市の誘致企業として立地協定を締結し、当協定に定める義務等が履行されていること等。 ※各種補助金の周知を図り、企業の助成支援に努める。

(1) 活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
<b>○ 石動拍標</b> (事務事業の活動車)		甲四	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 補助金の優遇制度を説明した企業数		社	2	0	1	4	4
1							
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	中世	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 市内に立地や増設を希望している企業	市内へ立地や増設を希望している企業の情報	社	3	6	4	4	4
1							
<mark>ゥ</mark>							
④ 意図	⑤ 成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	中世	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 本市の補助金の概要を説明し、候補 地の一つとして捉えてもらう。	本市の補助金が誘致へのきっかけとなったと 回答した企業	社	2	0	1	4	4
1							
<mark>ੈਂ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	丰山	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ア 市内に立地してもらう

ゥ

市町間の誘致競争が激化している為、本市への企業 誘致を有利に進めるため、平成7年度に企業誘致優遇 制度が始まった。5年前は、景気回復に伴い企業誘致優遇 制度が始まった。5年前は、景気回復に伴い企業誘 致は活発になりつつあった。2008年後半以降の世界 的不況のあおりを受けたものの2012年度後半以降、 景気の持ち直しにより、企業における景況感は、改善 方向へ向かいつかる。しかしながら、東南アジア等の 新興国の台頭により、製造業を中心に厳しい状況にあ る。また、雇用情勢についても依然厳しい状況にある。 企業誘致には、優遇制度・企業支援は欠かせないも のであり、立地を希望する企業より、もっと拡充すべき であるとの意見もある。 太陽光の施設も企業誘致の対 象業種に加えるべきではないか。

4.	事美	<b>类費</b>	の‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	J	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	39,300	0	6,410	56,527	56,527
量		哥	業	費			千円	39,300	0	6,410	56,527	56,527

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組)

新規立地協定締結企業数

#### (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

工場等用地取得費補助金及び雇用促進補助金の支出実績(1社) 国分電機株式会社 補助金額 6,410千円 (内訳) 工場等用地取得費補助金 3,810千円

でおい、工場等中心取得資権的金3,610十円 雇用促進補助金2,600千円 (新規地元雇用者13人) 立地協定企業数4社(新規1社、増設3社) 立地企業等の設備投資に対する助成支援について(条例制定)

国分電機㈱の増設に伴う助成支援措置を実施したことに伴い、雇用の

6

3

創出や企業支援に繋がった。 立地企業等の設備投資に対する新たな助成支援制度を設けたことに 伴い、本市の企業誘致活動におけるセールスポイントが拡充された。

Ę		事業 ード	01070	10303040203	事 務 事業名	立均	也企業	支援事	業	<u>担</u> 担		部 課		現光部 長興課
6.	_		SEE>	<b>&gt;</b>	776					125	理		[D] <u>— 1</u>	K <del>ye</del> nk
	_		務事業の	の目的は、基本	事業の意図に網	古びついています	か?		立地や増設を利候補地の一つ		ている	企業に、		
		_	結びつ	いている					してもらう。		. 17272 (	. 0 0 . (	20,10,11,10	IN NEW ZOOK
A				りに結びついてい	 \る			1						
的亞			結びつ	いていない				-						
A目的妥当性	(2)	・この	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?			が立地し、生産 重要な政策とし					
ı	0	• 祝玉:	を投入し	<mark>て達成する目的</mark> なる	109707				めに、操業後の					未の性者女だ
				 				-						
	<b>②</b>			る余地(可能性)	けなりませんか	\ 2		補助智	額、補助金の種	類の担	広大に	より、成っ	果向上の糸	≑地がある。
	9					• •								
				る余地はかなり										
				る余地はある程				-						
	(			る余地はほとん				自治化	本の優遇制度に	は、企業	業が立	地するた	こめの判断	材料の重要な
B 有	4)	廃止・	休止の影	ど響はありません	<i>ω</i> か? 				であり、廃止した					
B有効性			影響か					-						
		* 新小の		ばまとんどない	形能(ノベントル)	カみ生〉とせつル	の車み	<b>业</b> ≠ /n1	車業がセフル	<u> </u>				
	5	類似の事業は	ありませ	内家・息凶)又は たんか?(市以外の	が態(イベントや)の主体が実施する	啓発等)を持つ他( ものを含む。)	の事務	対似合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似σ	事業はない										
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
				)事業があり、統				++:	NJMTH 45 /H d	> 1 ++	Mr +. <del>≥</del> .	: <del></del>	그	きばよっては
	6	•事務事	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	か?	あるが、	の地理的条件や 補助金も含め; ないので削減で	たトー	タルで			
			削減で	きない				- 茶がり	よV ·Vノ C 日170丈 C	. C14V	·o			
C 効			削減で	きる										
C効率性	7	) できませ	んか?			費(延べ業務時間) る	を削減		から支出までの るわけでなく、肖				は、特に業績	
_				さや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?								
			削減で	きない 										
_	0	事務事	業の内	容が一部の受益					市工場等立地仍					
D公平性	(8)	また、!		担の公平性が	確保されていま	すか?			促進に関するst さなければ適用					
平性				公正である  <sup>-</sup> 必要がある				-						
	_													
7.	1次	〈評価結	果 <	PLAN>(組箱	決定)	[争考]前:	年度の改	革改善の力	向性≪	継	徳・やり	力改善		<b>&gt;</b>
		務事業(		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		休止	廃止
以至	<b>雪</b> ()	方向性		0	0									
				昨年、新たに制	定した設備投資	資に伴う支援措置	置につい	さまさアィ	まな方法で企	業等~	<b>〜</b> の周5	印を図る	0	
(2)	平月	成27年 の内容	度の改											
		むべき												
				、補助金の充実	を図ってきてま	に企業立地を判 3りますが、今後も	、積極的	りな企業	訪問を通じて命	*業二	ことか ーズに	ら、その 沿った値	都度、補助	」要件を拡充し 検討していく
(3)	平	成28年原	度の方	必要がある。	また、用地取得	費補助金の取得	面積等	の要件に	こついて検討す	<b>る。</b>				
向怕	ŧ• Ĕ	取組目標	<b></b>											
			EE	and the second										
8.	<b>2</b>	(評価結	果(社	当部長評価)										
		務事業( 向性	の改革	継続 ————————————————————————————————————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		休止	廃止
~^ E	. / ]	1.3 IT												
(2)	総	評												
	,													

事務コ	事業 ード	0107010303040203	事 務 事業名		3	<b>上</b> 地近	· 上業支援事業				工観光部工振興課	
9. =	コストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F 使 (3	土質)	T	平成27年度	(出知名質)		377	成28年度	(計画)
1	#B		十7,020-	十及(ル	人 <del>开</del> /	_	十八八十尺				火20千尺	
2	<u>報</u> 給											
3		手 当 等										
4	共	済 費										
5		F 補 償 費										
7	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費										
9	<del>¥</del> X 旅					+						
10												
11	需	用 費				0			0			0
		耗品費										
	燃食											
		型型										
		熱水費										
	修	繕 料										
		材料費										
	飼					$\dashv$						
12	医 役	薬材料費 務 費				0			0			0
'^	_	信運搬費										0
	広											
	手	数料										
	保											
13	_ 委	託 料				+						
14 15		科及び賃借料 計 負 費				+			$\dashv$			
16		材料費										
17		財産購入費										
18	備品	購入費										
19		補助及び交付金			6,4	110		56	,527			56,527
20 21	扶	助 費										
22		付 金 i填及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24	投資.	及び出資金										
25	積	立 金										
26	- 寄	附金										
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金										
20	計	14 NF			6,4	110		56	,527			56,527
		庫支出金				0			0			
財	岩県	支出金				0			0			
財源内訳	特定財源 国県地 そ	方 の 他				0			0			
訳		の 他 般 財 源			6.4	0 110		56	,527			56,527
	1	計				110			,527			56,527
<del>,</del>	甫助率	国										
		県				T						
	助											
平成		E補正•流用も		015	平成2		医特定財源内訳		h +'			A #T
	当初	]予算 予算	6	,810 0		Σ	区分		名称			金額
	上出 工	- I <del>JT</del>										
				$\blacksquare$								
				-								

流用・充用

予算合計

1. 基	本情報										
事務	事業	0105010	104050201	主	<b>坐夕</b> 働/	2 <del>1 .   </del>	の家維持管理	車業		担当部	商工観光部
□-	ード	0103010	104030201	ずがずっ	****	\ 及 圧	1073个胜时日日生	尹禾		担当課	商工振興課
政策	策名	04	育み	磨きあうま	ちづくり					グループ	商工観光政策G
施统	策名	05	学習	機会の充分	実					電話番号	45-5111
基本	事業名	02	学習	活動の推済	進					内線番号	2511
子	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	05	労働	費				事業 期間	■ <b>単年度繰返</b> (開始 <sup>9</sup>	F度 S	62 年度~)
科	項	01	労働	諸費				初申	□ 期間限定複数年度		~ )
	目	01	働くす	女性の家事	工業費			根拠法令·条例等	務局巾側く女性の多の設 く女性の家の設置及び答	直及り官埋に	関する余例、務島巾側
11年1日	区分		煙淮部	平価	評価 対 3	象	1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

「霧島市働く女性の家」に係る管理運営事業。「霧島市働く女性の家」は、女性労働者及び勤労者家庭の女性の福祉の増進を図るため設置された施設であり、(1)職業に関する相談及び指導、(2)職業生活及び家庭生活に関する講習会等の開催 (3)グループ活動、クラブ活動、スポーツ及びレクリエーション等余暇のための便宜の供与、(4)その他女性労働者の福祉を増進するために必要な事業を実施している。当施設は、市が直接管理し、施設の維持管理等の保守点検を民間の専門業者に委託している。委託内容:各種設備の保守点検業務、清掃業務、空調機保守点検業務、浄地は機能性等理業をない。 し、施設の維持官共立の体内の形式の形でよう。 ・ (本種維持管理業務など ・ ○開館時間 平日:9時00分~21時00分、土曜:9時00分~17時00分 ○休館日 日曜、祝日、年末年始 ・ ○施設の利用方法 使用許可申請 ・ ○1時間当たりの利用料 会議室:80円、相談室:80円、研修室(和室):120円、研修室(洋室):120円、軽運動室:120円、調理実習室:140円

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	開館日数		日			293	293	294
1	職員の雇用数		人			3	3	3
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	女性労働者	施設利用者のうち、女性労働者の数	人			3,852	4,000	4,100
1	勤労者家庭主婦等	施設利用者のうち、勤労者家庭主婦等の数	人			9,936	10,000	10,000
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	職業に関する相談及び指導を行う	女性相談の件数	件			89	90	90
1	グループ活動、スポーツ及びレクリエ ーション等余暇のための便宜の供与	自主グループ数	団体			49	50	51
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	自分のテーマに合った学習機会が得 られる	字督沽動を行わない埋田として目分のアーマに合った学習機会がないことをあげている 市民の割合	%	16.3	14.3	12.8	12.7	12.1
1	自分のテーマに合った学習機会が得 られる	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	%	21.8	17.0	17.0	22.8	22.8
ゥ								

## 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むこことで節減に努め、また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとされている。

4.	事訓	美費	のŧ	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫 支	出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	方		債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	の		他	千円			56	49	49
投 入量			_	般!	財	源	千円			7,734	9,271	9,271
量		哥	業	費			千円	0	0	7,790	9,320	9,320

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

霧島市働く女性の家の管理運営。 施設の維持管理、保守点検。 軽運動室の排煙窓の修繕 利用者数:14,806人

適切な管理運営を行ったことにより、利用者数が前年度より増加した。

哥	務コー	事業	010501010405020	事 務 事業名	働く女性	の家	維持管理	事業	担	<u>当</u>			観光部				
6			<see></see>	尹禾石					担	当理	課由	問工	振興課				
ο.	_			大東紫の奈岡に	はびついています	<i>t</i> v 0	女性労	働者及び勤	労者家	庭主	婦等に	こ対して、職	業に関する相談				
	<b>W</b>		務事業の目的は、基本	◆事業の息凶[〜前	治のついています	איר	のための	便宜の供与	(活動)	の場の	)提供	及びレクリエ・ )を行うことで	ーション等余暇 ご、自分のテーマ				
Α			結びついている	rı . 7			に合つに	学習機会が	守りれ	. ( / %	o.						
A目的妥当性			間接的に結びついて	いる													
妥当			結びついていない 事業をなぜ市が行わな	1+40 1#+>C +>1 \	カズナかっ		<b>-</b>	働考及び勤	学考索	存の	ナ性の	つ短針の曲が	生に特化した施				
性	2	·税金	事業をなど 市が打わる を投入して達成する目	的ですか?	7) (9 %) :								として必要であ				
			妥当である				J **										
			見直す必要がある														
	3	成果が	バ向上する余地(可能性	生)はありませんだ	<b>ዕ</b> ላ ?		一ズに合	った形で実力	施する	など、	柔軟に	こ対応するこ	を、利用者の二とが出来れば、				
			向上する余地はかな	りある			一僧、巾	民の利便性	と問め	、利月	月有か:	増スる可能作	生かある。				
			向上する余地はある	程度ある													
			向上する余地はほと	んどない													
В	4	廃止•	休止の影響はありませ	: !んか?				が働者及び勤 る場がなくな		家庭0	)女性	の福祉の増	進」に特化した				
B有効性		_	 影響がある				T	2/11/10 - 5 ( - 5	. 00								
性		_	影響がほとんどない	·			1										
	<b>(</b>		)目的(対象·意図)又I		啓発等)を持つ他の	の事務	類似事	業がある場	Ø Til∙	.E.V	日 400 00		<u>+</u>				
	5	事業は	ありませんか?(市以外	外の主体が実施する	るものを含む。)			務事業名等				管理運営事業 *******					
			類似の事業はない				されてい	るため、現時	点でに	は難し	いが、	そこを見直つ	の女性」に限定けるとで、実施し				
		_	類似の事業はあるか				はある。	来守には里/	ての型が	TO O.	うり、形に	古人は埋挽	ができる可能性				
			類似の事業があり、				団め旧	笠の揺出場!	キパナチ	ノ車	*光串/	カルエト・ノー じょくご	### ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##				
	6	· 事務 · 補助 ·	事業の手段(やり方)をエラ 金など、交付先に働きかけ	天することで、事業的 トて、市の負担を削減	質を削減できません。 域できませんか?	か?	理費と人	寺の補助制!	さめ、肖	小減余	・来負い	ない。	施設の維持管				
			削減できない														
C 勃			削減できる				職員は、平日:昼間2名と夜間1名、土曜:1名で対応しており、										
C効率性	(7)	・事務等できませ	事業の手段(やり方)をエラ	夫することで、人件登	費(延べ業務時間)を	削減							対応しており、				
ΙΞ	•		以外の対応や委託により、	人件費を削減できま	せんか?			るので、体制					, , , , , ,				
			削減できない				-										
			削減できる				A	olm +v =	- J 2.	o, 1 LL:	ode) _ 46	-38.2 THE					
Ď	8		事業の内容が一部の受 受益者負担の公平性が					N用者に、C を行っている		10 大	直(こ)地	匹政を利用し	ていただけるよう				
公平性			公平・公正である														
1生			見直す必要がある														
7.	1次	評価結	果 <plan>(組</plan>	織決定)	[金素]前6	F BF (O PA)	革改善の方向	in Act: «					<b>»</b>				
(1)	<b>-</b>	<b>发声</b> ***	の北京 継続	やり方改善	コスト拡充		~縮小	連携	I	統合		休止	廃止				
		<sub>分争来</sub> 。 方向性	の以平	での方以書	コストがんだ	7/1	- WE 11,	建拐		机口							
				   	     、軽運動室の排炉	亜宏修:	<b>継につい</b>	て、迅速に対	広する	<u>.                                    </u>							
				文 1 奔に川上した	- V HE CENTRAL OF THE PARTY OF	王心(9)	NO CO	C. VENETCA!	//L' ) .σ	,							
革改	大善	の内容															
(取	り組	むべき	課題)														
			引き続き、記	果等で所管する各	ト事務事業を円滑	に実施	<b>i</b> するため、	本事業を行	ってい	<i>ا</i> <.							
(3)	平原	成28年月	度の方														
向性	ŧ•耶	双組目標	票														
8.	2次	評価結	课 (担当部長評価	1)													
		多事業(	の改革 継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止				
以君	5力	向性			<u> </u>												
,	٨																
(2)	総	評															

事務事業	0105010104050201	事 務 事業名	働く女性の家維持管理事業	担当部	商工観光部
コード	0105010104050201			担当課	商工振興課

9. =	コストの推移			
	(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報 酬			
2	給 料			
3	職員手当等			
4	共 済 費			
5	災害補償費			
7	賃 金	3,797	5,597	5,597
8	報 償 費			
9	旅費			
10	<u>交際費</u>	0.700	0.004	2.224
11	需 用 費	2,783	2,284	2,284
	消耗品費	26	26	26
	燃 料 費 食 糧 費			
	食 糧 費 印刷製本費			
	光熱水費	1 020	1,158	1 159
	修繕料	1,020 1,737	1,100	1,158 1,100
	期 材料費	1,737	1,100	1,100
	飼料費			
	医薬材料費			
12		103	101	101
'-	通信運搬費	60	57	57
	広 告 料		5.	
	手 数 料	36	36	36
	保 険 料	7	8	8
13	委 託 料	1,093	1,323	1,323
14	使用料及び賃借料	14	15	15
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄附金			
27	公 課 費			
28	<b>繰 出 金</b> 計	7,700	0.000	0.000
	見由士山石	7,790	9,320	9,320
	特 国庫支出金 県 支 出 金	0	0	
財	特                   	0	0	
財源内訳	が   で 方 恒   そ の 他	56	49	49
訳	一般財源	7,734	9,271	9,271
	計	7,790	9,320	9,320
	·   =	1,190	7,020	5,320
*	補助率 場 県			
	助 基 本 額			
TH	1 9 坐 中 识			

## 平成26年度補正•流用状況

当初予算	9,606
補正予算	-1,621
補正第7号	-1,621
流用・充用	5
予算合計	7,990

#### 平成26年度特定財源内訳

1 1/220 - 1/2 (1) / 2/1/1/1/1 (1)											
区分	名称	金額									
その他	雑入(働く婦人の家自動販売機電気料・手数料)	43									
その他	働く女性の家使用料	13									
	合 計	56									

1. 基本	情報													
事務事	業	01050101	0.4050000	車	<b>娄夕</b>	h/+-	州の宮慧	トの字建応即爆車光				商工観光部		
	*	01050101	mouson <mark>事務事業名</mark> 働く女性の家講座開催事業								担当課	商工振興課		
政策	政策名 04 育み磨きあうまちづくり										グループ	商工観光政策G		
施策	施策名     05     学習機会の充実										電話番号	45-5111		
基本事業名 02 学習活動の推進								内線番号	2511					
予	会計	一般	一般会計							□ 単年度のみ				
算	款	05	労働	費					事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始年	年度 S 62 年度~)			
予算科目	項	01	労働	諸費					79] [F]	□ 期間限定複数年度(	(	~ )		
目	目	01	働くす	(性の家)	事業費				根拠法令·条例等	霧島市働く女性の家の設置及び管理に関する条例、霧島市働く女性の家の設置及び管理に関する条例施行規則				
評価区	分	7	漂準評	7価	評価対	计象	1次	評価	関連計画					

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

豊かな生活と女性の地位向上のために家庭や職場に必要な知識・技術を取得できるよう、スポーツ、レクリェーション、グループ活動等を通じて女性の福祉の増進を図ることを目的とした各種講座を開催している。

【定期講座前期】5月~9月 8講座 受講料:1講座につき1,000円 【定期講座後期】10月~2月 8講座 受講料:1講座につき1,000円

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 講座数		講座	18	17	17	17	17
イ 事業(講座)参加者(実人数)		人	463	457	449	457	449
ウ 事業(講座)参加者(延べ人数)		人	2,820	2,888	2,697	3,000	2,697
(2) 事務事業の目的							
<ul><li>② 対象 (誰、何を対象にしているのか)</li></ul>	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア 市内に居住または勤務する18歳以上 の女性	18歳以上の女性(市内居住)(4月1日時点 の数値)	人	54,952	55,002	54,897	55,002	54,897
1							
<mark>力</mark>							
<ul><li>④ 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 昼間、夜間に、親子講座等を含む 多様な講座を受けることができる	講座への参加率	%	71	71	74	75	75
1							
<mark>力</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 自身のテーマに沿った学習機会が得られる。	学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機 会がないことをあげている市民の割合	%	16.3	14.3	14.3	12.7	13.0
1							
<mark></mark> ქ							

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和62年度開館当初より、豊かな生活と女性の地位向上のために家庭や職場に必要な知識・技術を取得し、また、スポーツ、レクリエーション、グループ活動等を通じて、女性の福祉の増進を図ることを目的とした各種講座を行っている。開館当初からすると社会事情が変化しており、市民の学習機会平等の観点から女性のみならず、男性も対象とすることを検討する必要が出てきている。しかし、男性も対象に含めると公民館講座と同一条件となり、館の存在意義が失われてしまう。 れてしまう。

А	事業費の推移					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
+	777	R IR	יייי	进物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	ち し	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	411	420	419	325	325
投 入量			_	般	財	源	千円	409	398	316	383	383
量		哥	業	費			千円	820	818	735	708	708
ı												

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

全講座において開講することができ、女性の福祉の増進を図ることができた。

哥	豚	事業 -ド	0105010	104050202	事 務 事業名	働く女性	生の家	講座開催	<b>崖事業</b>	担扣	<u>当</u> 音 当 部		工観		
6 :			<see></see>		- 予不日					1년	理日		打振	<b>門</b> 林	
J.	_			3的(十二基本)	事業の音図に終	古びついています	-tv2		居住または難		る18歳り	以上の女性だ			
	U				事業の息凶に前		אינ	親子講座沿った学	座を含む多様 学習機会が得	な講座 られる。	を受け	られることに。	より 自身	のテーマに	
Α			結びつい		_			-							
A目的妥当性				:結びついてい	\გ										
妥当			結びつい		م ريان ۾ جونان ما	2-4-1-0		夕 舗 執	素成なない高		生体十二	ステレル 兄月	月の謎ば	ばかける司	
性	2	·この ·税金	事業をなせ を投入して	市が行わなけ 達成する目的	ればならないの ですか?	りですか?		各種講座を安い受講料で実施することは、民間の講座では不可能である。受講料を低価格で実施することにより、女性が気軽に受講しスキルアップが図れるので妥当である。							
			妥当であ	る				神レハイ	ルノツノが区	14 (2)()	ノく女ヨ	(8)30			
			見直す必	要がある											
	3	成果が	「向上する	余地(可能性)	はありませんか	١٠?			かる か率の向上を				ことで参	加者の増加	
			向上する	余地はかなり	ある				. , ,,			_ 0			
				余地はある程				-							
				余地はほとん				-							
	<b>(A)</b>			とはありません				女性の	学習の機会	が減る。					
B有効性	4)	<b>斧</b> 业。			י יעני										
効性			影響があ												
_			***	とんどない	T. 45					Lon	A.d. / → 11m	-46-d 00 -n -d	olle av E	- Ad- d- 11m -4h	
	5	類似の事業は	つ目的(対象	₹・意図)又は ,か?(市以外の	形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他( ものを含む。)	の事務	類似事合の事	事業がある場 事務事業名等		館短期 設事業	講座開設事	業、公臣	R.館定期講	
			類似の事	業はない				対象が	ぶ18歳以上の	女性と	限定され	ι、公民館講	座とは	異なるため。	
			類似の事	業はあるが、	統合又は連携	できない									
			類似の事	業があり、統	合又は連携で	<b>≛</b> る									
	6	·事務事	事業の手段(・	やり方)を工夫す	することで、事業費 、市の負担を削減	きを削減できません ずできませんか?	か?	講師調	対金が大部分 運営費につい	を占め ヽても最	講座回数	数を見直すた 費用で実施	など経費している	削減に努め	
		110-93 2	削減でき		( 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,	2000000		1	2121	107	C	20,10 020,00			
С		_	削減でき					-							
C効率性					することで、人件看	貴(延べ業務時間)る	た 削減		講座の募集・				属託職員	員3名で対応	
性	7	できませ	せんか?		井費を削減できま			しており	、これ以上削	減余地	」がない。				
		•	削減でき	ない				]							
			削減でき	る											
D	8				者に偏っている			女性の福祉の増進を図ることを目的とした事業であり、事業対象 者全ての方に門戸を開いており公平公正である。							
公平性		また、	公平・公		確保されていま	9 11 1		THE CONTRACTOR CAN DE LA CONTRACTOR CANDRACTOR CAN DE LA CONTRACTOR CANDRACTOR CANDR							
性				要がある											
7.	1次	評価結	果 <pl< th=""><th>AN&gt;(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前:</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th>継</th><th>続・やり</th><th>方改善</th><th>&gt;</th><th>•</th></pl<>	AN>(組織	決定)	【参考】前:	年度の改	革改善の方	向性≪	継	続・やり	方改善	>	•	
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	-	統合	休止		廃止	
改割	<b>事の</b> 7	方向性		0											
			3##	例年、同じ講	座を開講してい ・ 久謙成 レォ. 古	るが、平成26年月 民のニーズがあ	度より講	座回数が	・ 1回減少した	ものの	、全講四 会 後 オ	至とも10名以 木事業を継	上の応	募があり、開	
(2)	平月	戊27年月	度の改	*(CT.) (1	。 T 時/王C 0 III	1,000	JCV -):	1日1示(6)	12C-7 7CO4 0	J/C0/	7 100	ヤチボでルバ		· \ 0	
		の内容 むべき													
						のニーズがあるた	-め、よ!	の多くの人	、に講座を受り	ナていけ	ただける	ように、周知	方法や	市民のニー	
			ズ	に合わせた開	開催日程など工	夫を図っていく。									
		戊28年月 双組目標	度の方												
8.	2次	評価結	果(担当	(部長評価)											
(4)	古る	女事 ***	のみせ	継続	やり方改善	コスト拡充	771	~縮小	連携	T .	統合	休止		廃止	
		多事業( 向性	の改革		でツク以苦	コヘトがエ	171	- W目 / J /	<b>建</b> 捞		NI D	,, ==			
(2)	総	評													

事務事業 01050101040	事 務 事業名	働く女性	の家講座開催事業	担当部     商工観光部       担当課     商工振興課
9. コストの推移				1-2 - 305 X (B)
(単位:千	円) 平成26	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1 報	西州			
	料			
	等 			
	費			
	費			
	<u> </u>	691	65	4 644
	<del>克  </del> 費	031	00	
	<del>************************************</del>			
	費	13	1	3 13
	費	13	1	3 13
	費			
	費			
印刷製本 光 熱 水				
	<u>質  </u> 料			
	<del>***  </del> 費			
	<del>戏  </del> 費			
医薬材料				
12 役 務	費	31	4	1 41
通信運搬				
	料			
l —	** <del>*</del>			
	料 料	31	4	1 41
13 委 託   14 使用料及び賃借				
15 工事請負				
	<del>改  </del> 費			
17 公有財産購入				
18 備品購入	費			
19 負担金補助及び交付				
-	費			
	金			
22 補償補填及び賠償 23 償還金利子及び割引				
24 投資及び出資				
	<del>业</del> 金			
	<del></del> 金			
	費			
	金			
計		735		
特国庫支出		0		0
特に   特に   東 支 出   地 方 の	<u>金</u> 債	0		0
大	他	419		
=	源	316		+
計	-	735		
<b>抽</b> 助家 国				
補助基本	<u> </u>			
平成26年度補正・流	用状況		度特定財源内訳	
当初予算		748	区分 名和	
補正予算		0 その他	雑入(働く女性の家	定期講座受講料) 419
		<del></del>		
		-+		
		-	+	

当初予算	748
補正予算	0
流用・充用	-5
予算合計	743

区分	名称	金額
その他	雑入(働く女性の家定期講座受講料)	419
	合 計	419

1. 基本	情報											
事務事	業	01070103	00000001	車 数 車	<b>坐夕</b> △坐	企業誘致関係各種協議会等参画事業				担当部	商工観光部	
	<b>'</b> '	01070103	9999901	争伤争:	来有 正来	正未奶以肉你行俚励哦云寺多四ず未					商工振興課	
政策	政策名 03 活力ある産業のまちづくり										企業振興室	
施策	策名     04     雇用の促進									電話番号	64-0903	
基本事	業名	02	企業の	の誘致						内線番号	2561	
予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ			
算	款	07	商工	費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始年	F度 S	61 年度~)	
予 算 科 目	項	01	商工	費				初申	□ 期間限定複数年度		~ )	
目	目	03	企業	誘致推進	費			根拠法令·条例等				
評価区	分	,	標準評	2価	評価対象	1沙	欠評価	関連計画	-			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

①鹿児島県企業誘致推進協議会(開始年度S61〜)・・この協議会は県産業立地課企業誘致課内に事務局をおき、構成市町村へ県内外企業からの誘致を積極的に推進するため、必要な連絡調整、調査、広報、企業折衝等を実施するための協議会への負担金支出である。 主な事業として、都市圏での企業立地懇話会の開催や企業誘致に伴う事務研修会を実施し、企業誘致担当職員の能力向上等の活動をおこなっている。

②かごしま企業家交流協会(開始年度H19~)・・関西及び中部地域等都市圏区域の企業等とのネットワーク化を図り、自治体・教育機関・企業等がお互いに連携し、企業の誘致及び人材育成並びに雇用の促進を行う、かごしま企業家交流協会に負担金を支出する。 主な事業として、関西・中部圏への企業訪問の実施や誘致に関する情報提供など。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)		
ア 協議会及び交流会における担当職員の	D事務研修会等	□	***	2	2	2	2		
イ 協議会及び交流会に関連するする県内	7外の企業訪問件数	社	***	5	4	5	5		
ウ 都市圏における企業立地懇話会等開催	É	回 *** 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
(2) 事務事業の目的									
<ul><li>② 対象 (誰、何を対象にしているのか)</li></ul>	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)		
ア 企業誘致担当者	事務研修会開催回数	口	***	5	4	5	5		
イ 企業(賛助会員)	かごしま企業家交流協会賛助会員	会員	***	124	125	130	130		
<del>j</del>									
<ul><li>④ 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度		
ア 事務研修会に出席することにより能力 が向上する	事務研修会出席回数	П	***	4	4	5	5		
イ 接触及び訪問する	賛助会員企業等との接触	社	***	40	66	70	70		
<mark>ゥ</mark>									
(3) 上位の基本事業									
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)		
ア市内に立地してもらう	市と立地協定を締結した誘致企業の数	社	3	6	4	3	3		
1									
<del>j</del>									

## 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

特になし

4	重 4	<b>計画</b>	n t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	777	R IR	,V) 1	上19			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	0	300	300	300	300
量		哥	業	費			千円	0	300	300	300	300

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【鹿児島県企業誘致推進協議会】

- 平成26年5月(県庁) 平成26年8月(県庁) ・総会及び講演会 ・県企業誘致事務研修会
- ・企業立地懇話会 平成26年11月(東京都内ホテル) 【かごしま企業家交流協会】

- 加二した正来永文加勝云 ・担当者研修会 平成26年4月 ・総会及び会員企業との懇親会 平成26年5月(大阪市内ホテル) ・進出企業工場見学会 平成26年9月(ワールド工業(株)) ・関西地区企業訪問 平成26年5月(フジッコ(株)) ・東海地区企業訪問 平成27年1月(東海合金工業(株)外1社)

#### (2)平成26年度の成果

・鹿児島県誘致推進協議会が主催する鹿児島県企業立地懇話会に参加し、首長自らのトップセールス及び霧島市の企業誘致関係のプースを設け、誘致におけるPRの実施と立地企業との情報交換を行った。 (県関係及び15市町村の首長及び担当者、参加企業等 86社・・114名)

・かごしま企業家交流協会の主催する関西地区の会員との懇親会 (市町村 11市町・19名、県・1名(大阪事務所)、企業会員36社・40人・かごしま企業家交流協会の主催する東海地区の会員との懇親会 (市町村 10市町・・18名、企業会員等 26社・・26名)

哥		海業 ード	01070	10399999901	事 務 事業名	企業誘致関係	<b>各種</b>	協議会	等参画事業	担担	<u>当</u> 当	課		二観光音 二振興語	
6.		-	SEE>	<b>&gt;</b>	7 714 14					120		由	101-1	- JAC <del>JC</del> 1	<u> </u>
	_				事業の意図に網	昔びついています	か?	図られ、	致担当者が、₃ また、かごしま	企業:	F修会/ 家交流	こ出席	の替助会員	(企業)	との接触
			結びつ	いている				や訪問	をすることによ ことが出来る。	り、企	業が市	内に	立地するこ	とに結び	べつく情報
A			間接的	ーーーー りに結びついてい	る			•							
<b>A目的妥当性</b>			結びつ	いていない											
当性	2	・この ・税金	事業をなを投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならない <i>の</i> ですか?	つですか?			誘致は、第一と の中の雇用の						
		<b>=</b>	妥当で					であり、	協議会及び交	流協:	会に参	:画す	ることは当然	*である	と考える。
			見直す	必要がある											
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?			や交流協会を ることにより、企						間等を
			向上す	る余地はかなり	<u></u> ある			/	J-21 013 ( I		,		1,12,1111111		
			向上す	 る余地はある程	度ある										
			向上す	る余地はほとん	どない										
R	4	廃止・	木止の影	じ響はありません	か?				や交流協会を 集が得にくくな						
B有効性		_	影響カ	<u></u> 「ある				0	>/cw 141- ( ( )	. , , 111	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		.x_0/E/11.	VC~=N	E40 84
性			影響カ	「ほとんどない											
	(5)	類似の	目的(対	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや原	啓発等)を持つ他の	D事務	類似	事業がある場事務事業名等						
		<b>→ / / /</b>		)事業はない	7工件70天旭,6	000/2 840.7		П	TWT N I I						
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない									
			類似σ	)事業があり、統	合又は連携でき	<u>き</u> る									
	6	•事務事	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	けることで、事業費 、市の負担を削減	と と と と と と と と と と と と と と と り と り と り	か?	県企業 それに。	誘致推進協議 より多くの広報	会は、 活動、	負担	金を県 収集等	と県内市町 を行ってお	「村等で らり、これ	負担し、 以上の
		-	削減で	きない				削減は	難しい。 かご 村については	しま企	業家3	を流協	会の負担会	をついて	た、県及
C 熱			削減で	きる											
C効率性	(7)			役(やり方)を工夫で	けることで、人件費	と (延べ業務時間)を	·削減		は、情報収集を						
11	•	・職員以	外の対応	むや委託により人作	‡費を削減できま	せんか?		わない。			200	.0-, .	, , , , , , , , , , , , , , , , ,	-1.2.10	,,,,,,
				きない											
		車	削減で	きる <mark>容が一部の受益</mark>		きせんか?		県企業	誘致推進協議	수へ	の参加	負扣	金は. 人口.	立 批 生	≦結等の
D 公	(8)			担の公平性が				割合に	応じての負担金は 等の負担金は	金であ	り、かく	ごしま	企業家交流	協会に	
公平性			- :	公正である											
				<sup>-</sup> 必要がある 											
7.	1次	〈評価結	果 <	PLAN>(組箱	決定)	【参考】前年	度の改	革改善の方	ī向性≪	継	続・や	り方は	大善	>	
		務事業の		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止		廃止
改善	雪())	方向性		0	0										
				15市町村の首	長自らトップセー	施された鹿児島県 ールスを実施する	企画を	実施した	ため、本年度	、大阪	市内	で開催	単予定である	5鹿児島	場果企業
		成27年月	度の改			業家交流協会が と情報交換しなが						こ参加	ル、県企業	誘致推	進協議会
		むべき	課題)												
						業誘致推進協議 ついても提案して		かごしま	企業家交流協	会の	事業に	積極	的に参加し	、情報で	交換を密
		成28年月													
同性	Ĭ•;	取組目標	#												
8	2次	(評価結	果(排	3当部長評価)											
				継続	カリナンギ	771#**		经 ds	`##		4六へ		休止		廃止
		務事業の 向性	の改革	435 456	やり方改善	コスト拡充	1	縮小	連携		統合		, p		
										<u> </u>					
(2)	総	評													

事務事業コード	0107010399999901	事務事業名	企業	<b></b>	各種協議会等参	画事業	担当部担当課	商工観光部 商工振興課
9. コストの								
	(単位:千円)	平成26年	年度 (決	質)	平成27年度	(当初予算)	<u> </u>	平成28年度(計画)
1 報		1 /2020	1/2 (//	<del>3</del> F /	17%27 17%	(40)		1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 2 1 2
2 給								
	 員 手 当 等							
4 共	済 費							
	害補 償 費							
7 賃	金							
8 報 9 旅								
10 交								
11 需	用費			0			0	0
洋	<b>耗品费</b>							
燃								
食								
	]刷製本費 : 熱 水 費							
	,							
食								
	薬材料費							
12 役	務費			0			0	0
	值信運搬費							
広								
13 委	託 料							
14 使用:	料及び賃借料							
	事請 負 費							
	材料費							
	財産購入費品購入費							
	in 期 八 貨 :補助及び交付金			300			300	300
20 扶	助費			000			000	000
21 貸	付 金							
	博真及び賠償金							
	利子及び割引料							
24 投資 25 積	及び出資金 立 金							
26 寄	<u> </u>							
27 公	課費							
28 繰	出 金							
計				300			300	300
特馬	庫支出金			0			0	
財源内 財源内				0			0	
財源内訳を対象を				0			0	
訳	般 財源			300			300	300
	計			300			300	300
補助率	国							
補助	県							
		k.em						
	<b>度補正・流用</b> セ 切予算	<b>へ</b> :元	300		度特定財源内訳 区分		名称	金額
補工	<del>201 年</del> E予算		0				- 17	
					+			
)** E	. 去田							
流用	・充用			1				1 1

300

予算合計

合 計

1. 基本	情報										
事務事	業	01050101	99999911 <b>3</b>	1	<b>を</b> 働くか	性の家関係各種協	力議へ生会	<b>町車</b>	担当部	商工観光部	
<u>П</u>	*,	01000101	- T	可力于木	) ) ) )	1工*/3/15/15/11/11/11	加成云 寸沙	四尹术	担当課	商工振興課	
<b>政策名</b> 4 育み磨きあうまちづくり											
施策	名	5	学習機	会の充実	Ę				電話番号	45-5111	
基本事	業名	2	学習活	動の推進	Ė				内線番号	2511	
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ			
算	款	05	労働費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始年	F度 S	62 年度~)	
予算科目	項	01	労働諸	費			79][F]	□ 期間限定複数年度(		~ )	
Ħ	目	01	働く女性	生の家事	業費		根拠法令·条例等	鹿児島県働く女性の家連	絡協議会規約		
評価区	分	1	簡易評価	Hi i	評価対象	1次評価	関連計画				

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

「鹿児島県女性の家連絡協議会」という県内にある女性の家7館が加盟している協議会で、各女性の家相互の連携を密にし、運営内容の充実を図るとともに交流を通じて女性の家の振興発展に資し、女性労働者の福祉増進と地位の向上に寄与することを目的としている。事務としては、負担金の支払い、年に1~3回ある定例会、研修会への出席、それに向けての情報提供などがある。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	定例会、研修会の開催回数		回	1	1	2	1	1
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	<ul><li>③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	鹿児島県内にある女性の家							
イ								
ゥ								
	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	運営内容の充実を図る							
1								
ゥ								
_	3) 上位の基本事業							
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	女性労働者の福祉増進と地位の向上							
1								
Ь								

#### 3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

女性労働者や勤労者家庭の女性を対象とした施設ではあるが、加盟する館の中には、その枠組みを取り払って、より広い方々に使ってもらえるようにしたところも出てきている。

4	車	生物	ທ‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
-	402		,001	E1>			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	金	千円			0	0	0
	事	財	県支出金			金	千円			0	0	0
	事業費	源内	M — — — —		債	千円			0	0	0	
	費	訳			他	千円			0	0	0	
投入量			ı	般	財	源	千円			10	10	10
量		耳	業	費			千円	0	0	10	10	10
_												

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

#### (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

定例会1回、研修会2回を実施した。また、会長館として、負担金支払 いの案内や研修会の企画運営、定例会の資料作成など事務局としての 役割を担った。

定例会及び研修会は、今まで鹿児島市でのみ開催してきたが、平成26 年度は本市で研修会を一度開催し、参加した館の方々に実際に施設を 見てもらったり、本市にある企業の施設を訪問するなど、今までに無い取 り組みを行い、協議会の取組として、より良いものになるよう工夫を行った

胃	務コー		01050	10199999901	事 務事業名	働く女性の家	関係各		会等参画事	担担		部 課		観光部 振興課	
6.	振り	返り 〈	SEE>	•							理	由			
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	結びついています	か?								
			結びつ	いている											
A目的妥当性			間接的	かに結びついてし	<b>\</b> る										
要				いていない											
醒	2	・この ・税金:	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ければならない( ]ですか? 	のですか? 									
			妥当で												
L			見直す	<sup>-</sup> 必要がある 	_	_									
	3	成果が	向上す 	る余地(可能性)	はありませんだ	ή·?									
			向上す	る余地はかなり	Jある 										
				る余地はある程											
			向上す	でる余地はほとん	<i>」と</i> ない										
B 有	4	廃止•	休止の 	ジ響はありません 	しか? 										
B有効性			影響カ	<b>、ある</b> 											
		## /N 0		「ほとんどない	TZ 台ビノフ ジャー は3	*****************	の声数	# <b>E</b> /N :	***						
	5	事業は	ありませ	か?(市以外の	の主体が実施する	啓発等)を持つ他( るものを含む。)	の事務	母の 合の	事業がある場 事務事業名等						
			類似σ	事業はない											
				)事業はあるが、 											
H	0	. 東 教 耳		事業があり、統			t) 2	負担4	とは一律10,000	0円上泊	たまつて	「おり :	各加盟館	からの負担金	÷σ
	6	•補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	貴を削減できません <mark>喊できませんか?</mark>		みを財活	原として、運営	してい	るため	、削減の	の余地はた	い。	7.
				きない											
C効率		. 市 35 首	削減で		ナスニレズ しみま	貴(延べ業務時間)を	F. 出口 运击	定例名	会や研修会への	り出席	が主て	あり	人件費けね	らまりかかって	てい
性	7	できませ	んか?	さいる)をエス・ なや委託により人(			ご月179以	ないが、	指定管理者制	度を	算入す	れば、	その時間	分は削減可能	能。
			削減で	きない											
			削減で	きる											
Ď	8			容が一部の受益 負担の公平性が											
D公平性			公平・	公正である											
吐			見直す	必要がある											
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前:	年度の改善	革政善の方	向性≪					<b>»</b>	
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	廃止	
改割	きの ス	方向性		0											
				いう意見から、	各会長館が工ま	負担金を減らす 長を凝らして研修	事業等?	を実施し	ている。平成27	7年度	は、鹿	凡島市	が会長館	であり、業務し	に
			度の改	役立ちそうな冊 いる問題などを	├子を各館2種類	頁、試験的に1年 上げて、当協議会	間購読す	ナることか	『定例会で決定	Eしてい	る。今	`後も、	日頃、女性	ŧの家で抱え	こて
		の内容むべき		て行く。											
				なる。「繰越額の	の解消」ではなく	る冊子の年間購ま く、より充実した活									
(3)	平成	28年	度の方	ていく必要があ	<b>うる。</b>										
问性	E·取	組目相	#												
8.	2次	評価結	果 (担	3当部長評価)											
				継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	,	統合		休止	廃止	
		6事業( 句性	の改革		トラカ以音		-1\r	네타(1,	<b>建防</b>	1	ואַנ 🗖				
					<u> </u>									1	$\dashv$
(2)	総	評													
															1

事務事業コード	0105010199999901	事務事業名	働く女性の影響	家関係各種協	議会等参画事業	商工観光部 商工振興課	
9. コスト	の推移					担当課	
	(単位:千円)	亚世26年	 ■度 (決算)	亚战	27年度 (当初予算)	\   7	平成28年度 (計画)
4 ±p		平风204	- 及 (	干风。	27年及(ヨ彻卫昇)	, -	一
1 報 2 給							
	員 手 当 等						
4 共	済 費						
	害補償費						
7 賃 8 報	<u>金</u> 償 費						
9 旅	費						
10 交	際費						
11 需	用 費			0		0	0
	消耗品費 燃料費						
I –	<u>然                                    </u>						
	印刷製本費						
	光熱水費						
I	修 繕 料 賄 材 料 費						
I -	財材料費       飼料費						
	医薬材料費						
12 役	務 費			0		0	0
	通信運搬費						
	<u>広 告 料</u> 手 数 料						
	于 <u>数科</u> 保除料						
13 委	託 料						
	月料及び賃借料						
	事請負費						
16 原 17 公	材 料 費 有財産購入費						
	品購入費						
	金補助及び交付金			10		10	10
20 扶	助費						
21 貸 22 補償	付 金 補填及び賠償金						
	金利子及び割引料						
	資及び出資金						
25 積	立 金						
26 寄	附金						
27   公     28   繰	課 費 出 金						
計	т ж			10		10	10
结	国庫支出金			0		0	
財産	県支出金			0		0	
財源内訳 一	<del>地 方 債</del> そ の 他			0		0	
訳	般 財源			10		10	10
	計			10		10	10
補助率	国						
	県						
補助		b.2m	h		7E et 20		
	· <b>度補正·流用</b> 》 初予算	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	10 平成2	26 <b>年度特定財</b> 区分	源り訳 タイプログラス	名称	金額
	<u>物で昇</u> i正予算		0	四月		- 🗀 ግጥ	並領
			_				
流月	用・充用						
予	算合計		10		合 計		0

			平月	<b>龙27年</b> 月	ŧ		事利	务事	業振	返りシ	·—ŀ	• (:	平成26年度	実施事業(	の振返り)		
1. 基本	情報			1 1	$\tilde{}$				-1			Ì	111111	74%B 7 744	7,34,277		
事務事			市水市	<b>** A</b> 37: =	T 4	ᄯ	- GB 1	88 <i>1</i> 76	夕红山	5 3 A AA	· 4> ==	<del>: +: </del> 44	۵.		担当部	商工観光音	ß
	ド	01070102999999	事 份 争	業名 商	L₹	<b>来</b> 协		判除	<b>谷性</b> B	)	* 参世	尹 耒	Ę		担当課	商工振興調	果
政策		03 活	りある産業の	のまちづく	り										グループ	商工観光部	『政策G
施策			L業の振興												電話番号	0995-64-0	912
基本事		1	L業者に対	する経営す	支技	爰						_			内線番号	2515	
予	会計	一般会計								事美	業	I	単年度のみ				,
算	款	07 商	- 1							期間		_	単年度繰過	_ ()-4- (- (- (-	隻 S	40 年頃	· .
予 算 科 目	項	17.4	工費							IT IN A			期間限定初	夏致年度(		~	)
評価図	<u> </u>   <u> </u>		L業振興費 評価	評価対象	<b>\$</b>		1	次評	<b>/</b> ##	関連 関連							
						_	1	八計	./ Ш								
			目的∙指標		_												
			(具体的な														
市は鹿児	はい 無り	中小企業区	団体中央会 ト企業団体	に対し、負由中全の値	.担 鱼±	金を	*支	仏ので	こいる。 *								
(団体の	活動概	要) 中小4	企業等の協	同組合を会		<u>ま</u> ぎし	てに	受立る	っ された団	]体であり	、組つ	合の部	と立・運営の	支援等、中	小企業支援	のうち特に組	l織化政策
について	支援を	分ってい 内組合数	る。														
			:∠3回俗 請→交付沒	中定→事業	実	施-	→実	績報	告								
(1113-)4-111	, , , ,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	#II > CI TO	7,71				- T									
													24年度	25年度	26年度	27年度	20年度
① 活動	助指標	(事務事	業の活動量	<u>(</u> )							È	单位	1		1		28年度
													(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア市内	加入組	合等団体数									[	団体	23	24	25	25	25
1																	
-1																	
ウ																	
(2)事	務事	業の目的															
② 対象		ACCO MAN		(3)	水	· 会:	指標						24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		はにしてい	ろのか)						きさか	表す指標		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
			D. > 14 )	V-				****		X / 11 //		_	()	()	()	()4.2)	()4.2/
ア市内	組合等	411世															
1																	
ウ																	
④ 意图	2			5	成	果	指標	ļ			ı	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	象をどう	したいのた	)7)	/ (左	記	141	意図	の達	成度を	表す指標	)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア加入	数の増	加、組合活!	動の活性化														
1																	
ゥ																	
	はの	基本事業	,		_												
	_	の意図		(7)	-	-	古岩	± Λ Ι	<b></b>	<del>1</del> =	_		24年度	25年度	26年度	07年度	28年度
			ナナドへくのよ								. 1	単位	1			27年度	
			吉びつくのか	3) (左	ΞĒC	KO:	思凶	の達	以及 ど	表す指標	:)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア商工	業者の	経営が安定	する														
1																	
ウ																	
2 車数	(主学/	の環情を	化•市民	音目笙	7								24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			市民や議会な		5-1	4.	. 事	業費	の推	多	È	単位	1		1		
			司様、国の『						田庫	支出金		<b>5</b> .m	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			引候、国の「 れた団体で					_م			_	千円 一			0	0	0
加入企業			金を当市な			1	事業	財	県 3		_	千円			0	0	0
ている。 昨年制	定され	た小規模	企業振興基	本法等に	.		業	内	地	方值	-	千円			0	0	0
おいて、	中小企	業、特に	小規模事業	者へ各自	- [	۔. ا	費	内訳	そ	の fl	也 =	千円			0	0	0
			ら盛り込ま 1合等が加		f I	投入量	ξ		一 船	段 財 派	京 -	千円			150	150	150
		下可欠とな		. • / 이미단	<b>-</b> [	[     	ì	1	事業費		=	千円	0	0	150	150	150
						╽┹	Т										
I					- 1		1	-						<b>.</b>	+		

## 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

#### <左記の実績(取組)による成果を記載

- 東児島県内での同団体活動 ・創業連携人材養成等支援事業(実地指導) 1,169件 (新設組合等指導事業) 12件 (監査指導) 20件 ・中小企業連携組織等支援事業(セミナー等の開催) ・地域産業実態調査事業(郵送調査)

各組合の運営円滑化、未組織事業者に対する組織化指導、組合制度の 普及が図られた。 また、セミナーによるものづくりや創業に関しての指導により人材育成が 図られた。

哥		務事業 一ド	01070	10299999901	事 務事業名	商工業振興	関係各 <sup>規</sup>		会等参画事	担担	当当	部 課		観光部 振興課
6.	振り	り返り <	(SEE>	•							理	由		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に網	古びついています	か?							
			結びつ	いている										
A				に結びついてい	 າລ									
Ы				いていない										
A目的妥当性		<u>-</u>		・ こ・な。 ぜ市が行わなけ	 ・ればならないの	 )ですか?							_	
性	(2)	'・税金を	投入し	て達成する目的	ですか?									
			妥当で	ある 										
_			見直す	必要がある										
	3	)成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	١?								
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
L	4	 ) 廃止•ℓ	木止の影	響はありません	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>									
B有効性	)		影響が											
性														
				ほとんどない	形能 (ノベ) よめき	整発等)を持つ他(	の車扱	米百小	事業がある場			-		
	(5)	事業は	ありませ	んか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)	∪ <b>,</b> ∓1π		事務事業名等					
			類似の	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携でき	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	と(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	gを削減できません 域できませんか?	か?		加入数に応じて できない。	負担:	金の酢	己分が決	た定するもの	であり、負担の
		•	削減で	きない										
င္ည			削減で	 きる										
C効率	7	・事務事	業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)る	を削減		業は、負担金支 以上の削減の余			る最低	限の事務を	:行うものであり
性	7	) できませい 職員以	かか?	でや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		, CA 02	スユーック日 100K ックオ	()E(A)	φ.Λº			
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 l担の公平性がi										
D公平性			公平・公	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	マ評価結	<b>果 <f< b=""></f<></b>	PLAN>(組箱	快定)									
		VIII 11-11-11-11				【参考】前:							# .L	廃止
(1) 改章	事の	務事業の 方向性	)改革	<b>継続</b>	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	<b>発工</b>
		,,,,, <u>,</u>		0										
		成27年度 の内容	きの改											
		組むべき	課題)											
(3)	亚	成28年度	₹ <b>の</b> ‡											
向性	<b>±</b> •1	取組目標	2077]											
8.	2次	と評価結	果(担	当部長評価)										
(1)	事	務事業の	)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
改善	<b></b>	向性												
					l	<u> </u>			<u> </u>	1				
(2)	総	評												

事務	事業 ード	0107010299999901	事 務 事業名	商	工業振興関係	系各種協議会	等参画事業		当部	商工観光部 商工振興課
9. 🗆	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	度(》	夬算)	平成27:	年度 (当初予算	<u>(1)</u>	平成2	8年度(計画)
1	報	栖								
3	給	料								
4	<u> </u>	<u>于 ヨ 寺</u> 済 費								
5	災害	子補 償 費								
7	賃	金								
9	報 旅	<u>償</u> 費								
10	交									
11	需	用 費			0			0		0
	消燃	耗品費 料費								
	食									
		刷製本費								
	光修	熱 水 費 繕 料								
	順 期							_		
	飼	料 費								
10		薬材料費								
12	役 诵	務 費 信運搬費			0			0		0
	広									
	手									
13	保 委	険料     託料								
14										
15		請負費								
16		材料費								
17		財産購入費								
19		補助及び交付金			150			150		150
20	扶	助費								
21	貸補償補	付 金 i填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金								
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計	<b>库 土 川 ム</b>			150			150		150
	特別県	庫支出金 支出金			0			0		
財源	財地	方 債			0			0		
財源内訳	_				0			0		
	<u> </u>	<ul><li>般 財 源</li><li>計</li></ul>			150 150			150 150		150 150
4-	# 114 755	国			100			100		100
	助率	県								
補		基本額	h ve				± 2n			
半成		<b>▼補正・流用</b> ∜ □予算		150	平成26年	度特定財源 区分	N訳	名称		金額
				0		<u>=</u> /J		-U 1/h		业识
				-						+
				-						+
	<u></u> -									
		・充用 [合計		150			合 計			0
	J 71						H H1			U